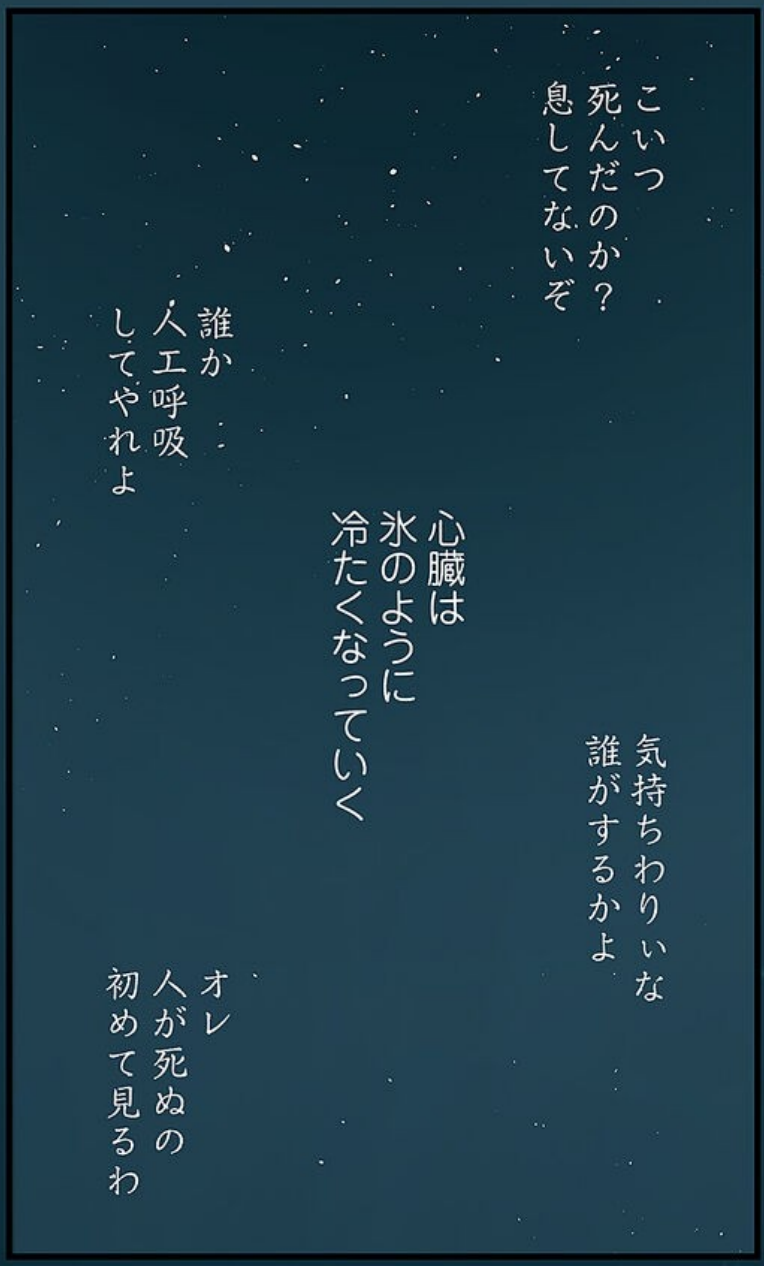
SEIZAN TOBAKU | Vol.01

volume
1
CONTENTS
第1話　ブルーヒルマンション1101号室
第2話　王国
第3話　僕の女王
第4話　男はあんただけじゃない
生贄!
SEIZAN TOBAKU
Vol.01

僕は今
死んで水中に
沈んでいる

息はとうに
止まっていて

指一本
動かすことも
できず


オレ
人が死ぬの
初めて見るわ
誰か
人工呼吸
してやれよ
心臓は
氷のように
冷たくなっていく
気持ちわりぃな
誰がするかよ
こいつ
死んだのか？
息してないぞ

少し前まで
聞こえていた
人々の声も

全て
消えてしまった

ここは
あまりにも
静かで平穏だ

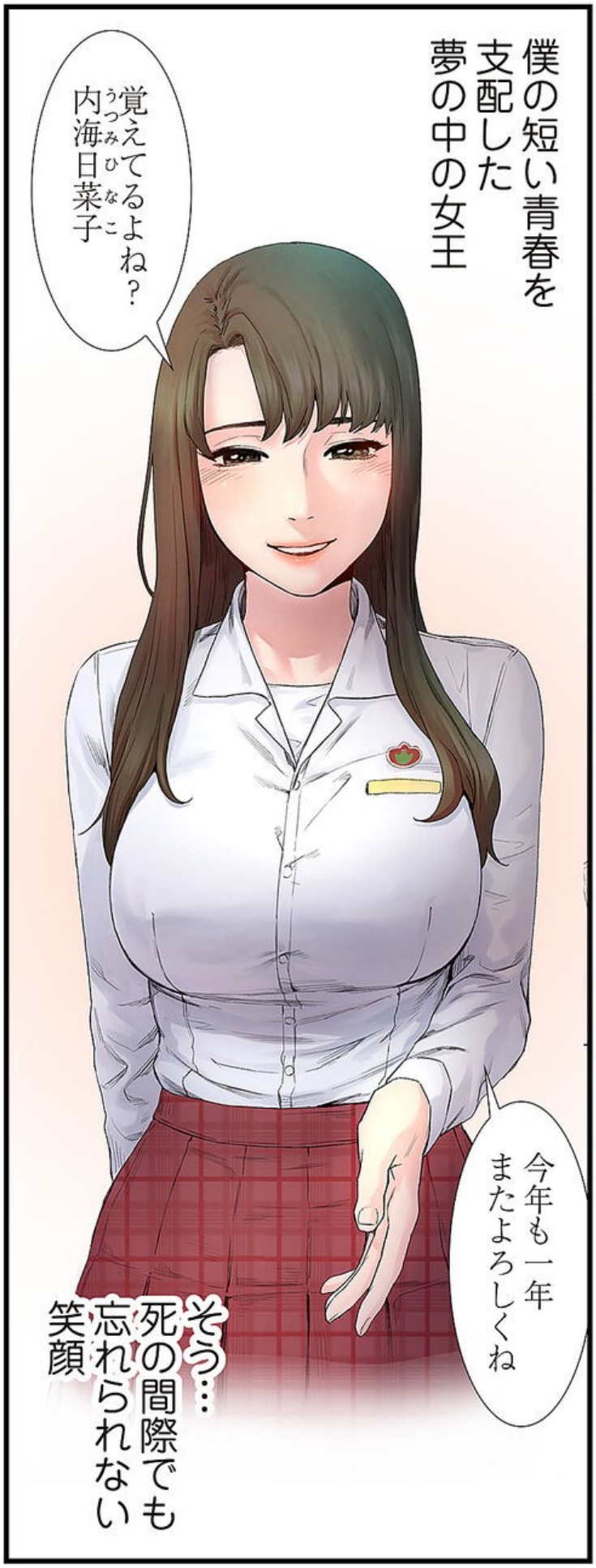
僕はこのまま
なんの後悔もなく

19年の人生を
終えることが
できそうだ

ねえ…
宮下賢司くん
だよね？

二年の時も
同じクラス
だったよね
それなのになぜ
あの子の顔が
思い浮かぶのだろう

うん…
そ そうだね…


僕の短い青春を
支配した
夢の中の女王
覚えてるよね？
内海日菜子
今年も一年
またよろしくね
そう…
死の間際でも
忘れられない
笑顔

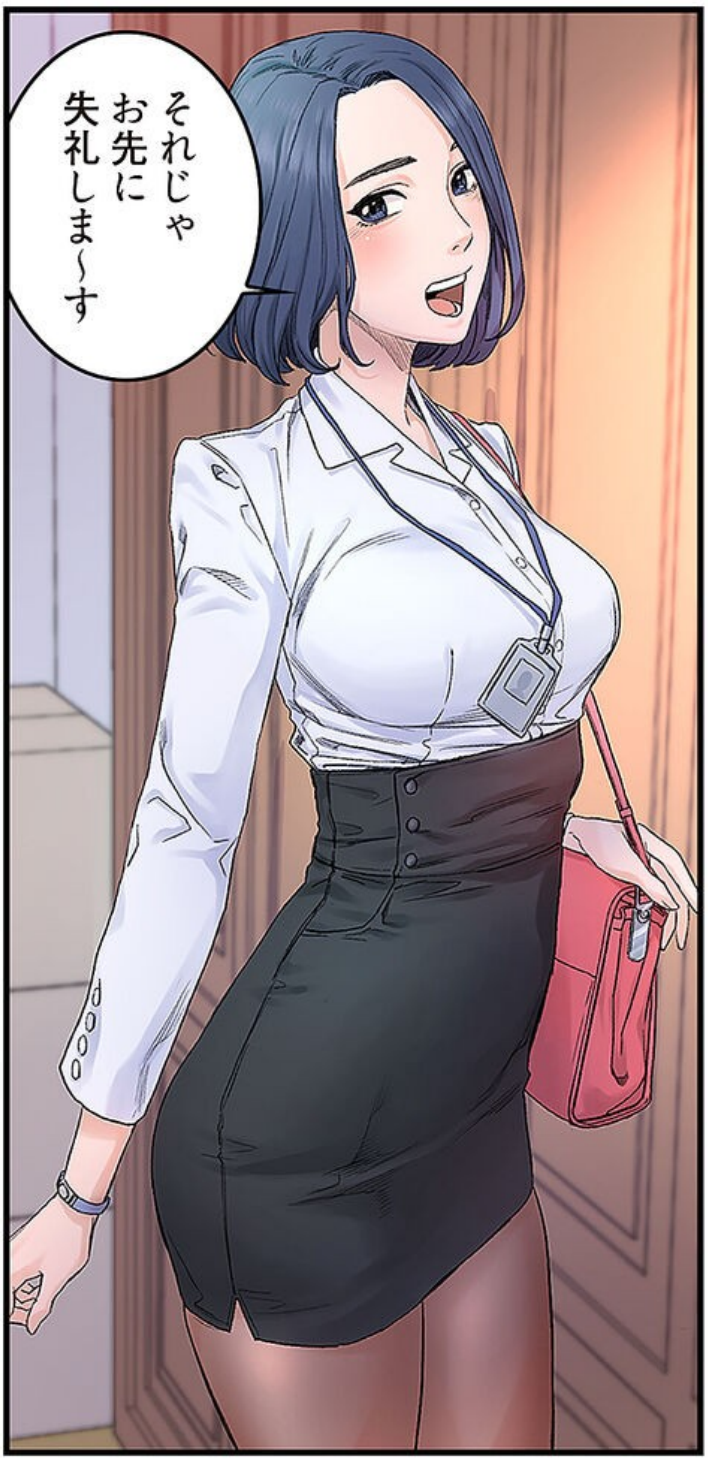
なぜかそれが
思い浮かんでしまう

このまま安らかに
死を迎えたいのに…

みんな
何してるのよ!!

賢司!!

賢司!!
しっかりして!!
賢司！


それじゃ
お先に
失礼しま～す

木下先生
お疲れ様～
また
明日～

一緒に飲みに
行けなくて残念～
でも先約があるんじゃ
仕方ないわね
ガラガラ

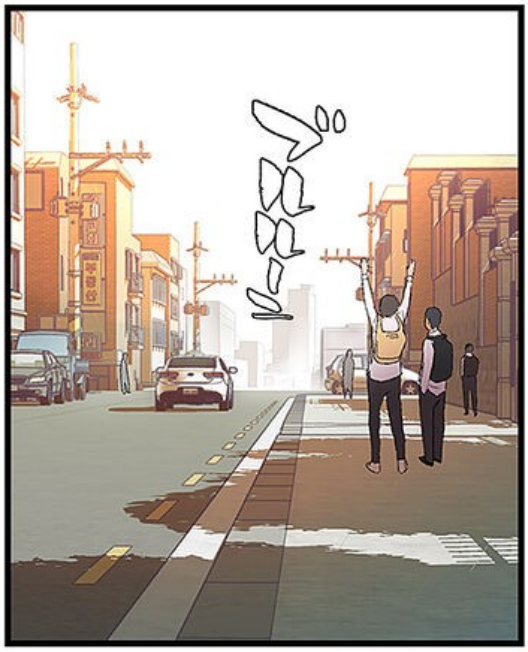
パタ
……
…木下朱莉先生
彼氏とかいるのかな？
今年で28だろ？
あの美貌で
公務員だもののね
そこらの男じゃ
太刀打ち
できませんよ
さぁ…
誰か心当たり
あります？
心配
ご無用ですよ～
才色兼備は
引く手あまたに
きまってるもの

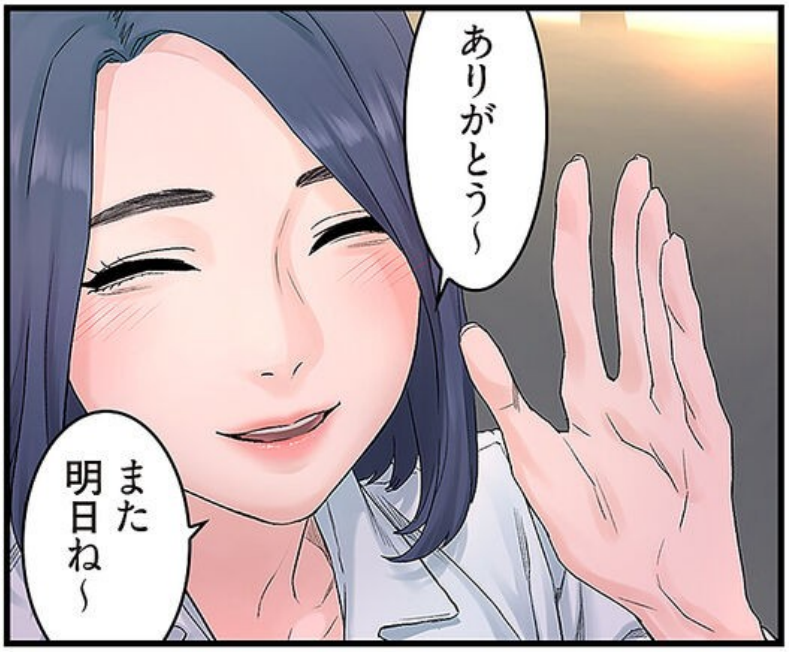
木下先生
さようなら！

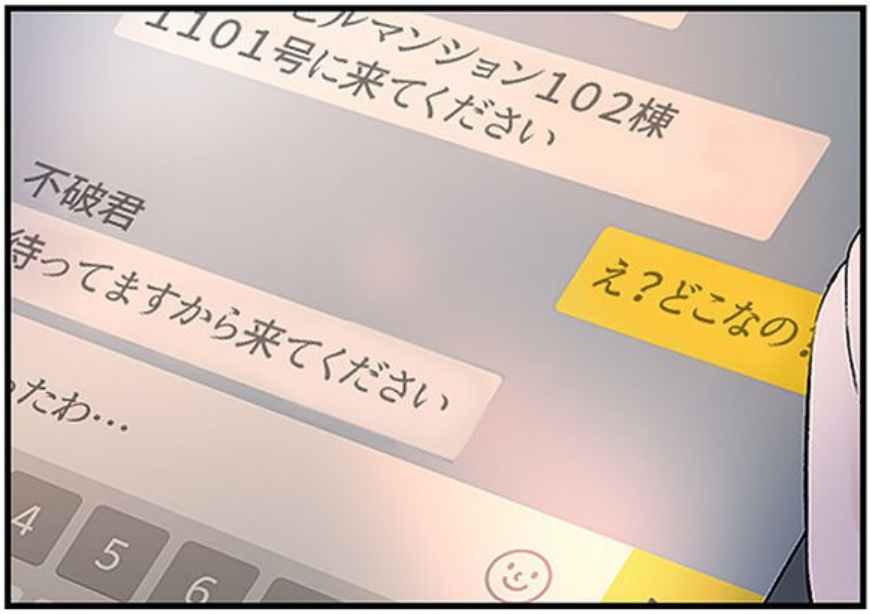
…!?

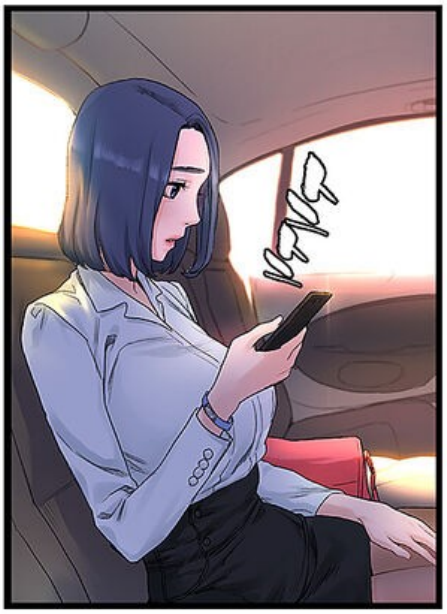
先生今日も
めっちゃ
キレイです！

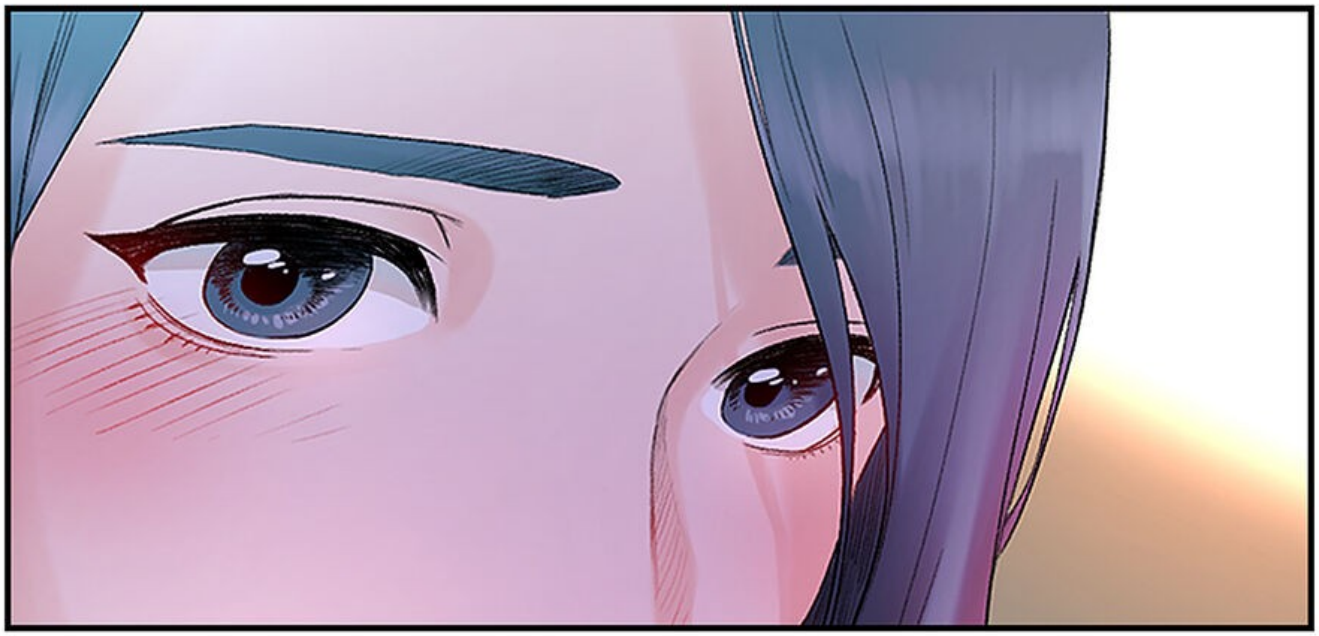
また明日
会えるの
楽しみに
してます！


ブロロロ


ありがとう～
また明日ね～


1101号に来てください
不破君
待ってますから来てください
え？どこなの？


ピロリン



ブルーヒルマンションまでお願いします

うっ…！

うっ…

うっ…

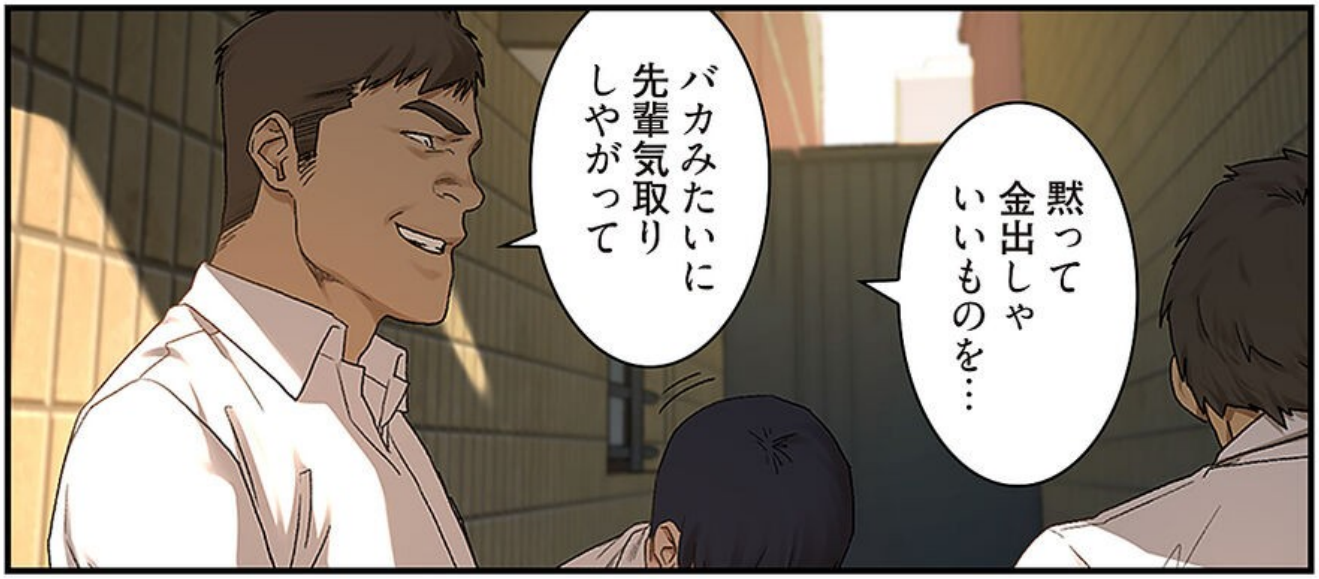
年上のくせに情けねぇな

俺だったら後輩にやられたなんて人に言えねぇわ

だろ？www

手加減してやれよ～

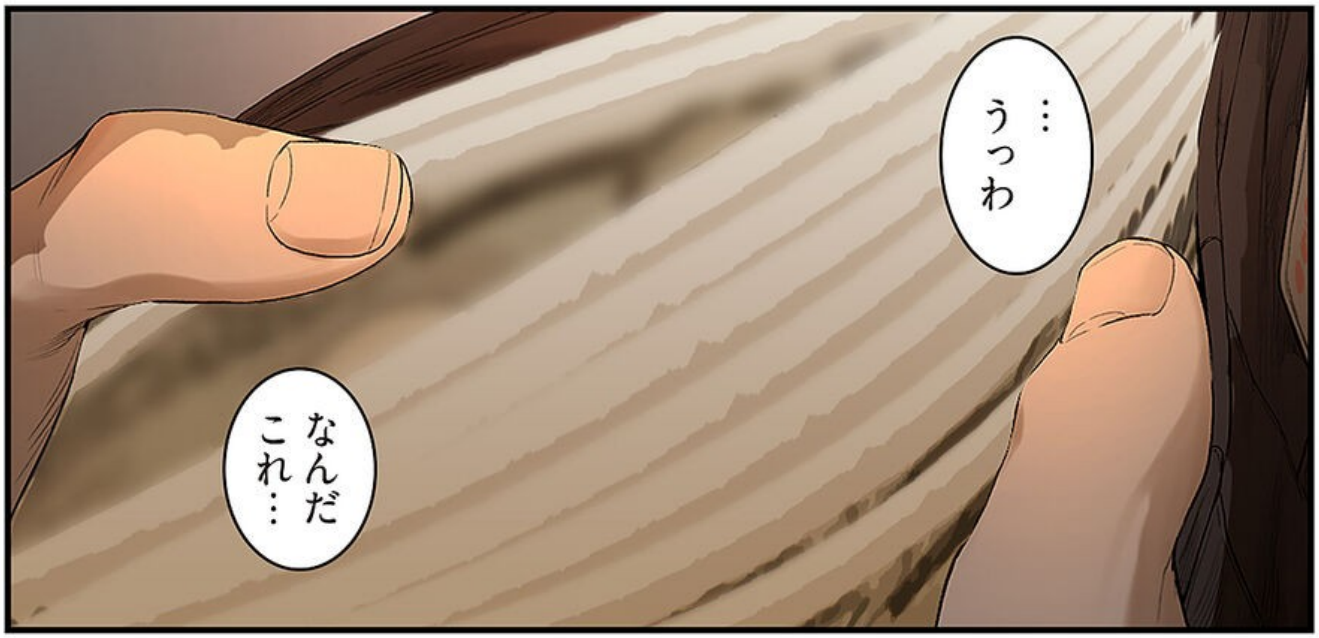
19にもなってなんにも知らねぇんだな
はぁっ
はぁっ
クソったれの先輩よ～
うぐっ！
ぐっ…

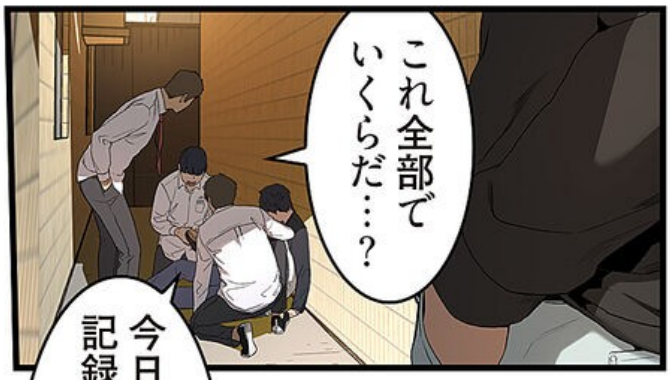

黙って金出しゃいいものを…
バカみたいに先輩気取りしやがって

それじゃさっさと財布出して消えてくださいよっと

お～分厚いぜ？

マジかよ開けてみろよ


…うっわ
なんだこれ…



いやぁ…先輩金持ちっすねぇ

今日でカツアゲ記録更新じゃね？

すげえ！これなら原チャリ買えるぞ

おいおい また クソ先輩様かよ

この路地にゃ餌でもまいてあんのか？

獲物が自分から寄ってきやがる

今日はもう十分だ

見逃してやるよ さっさと逃げろ

ケケケ

最近のガキは楽しそうだなぁ

なんだと…？

ガキ？

死にてぇのかてめぇ!!

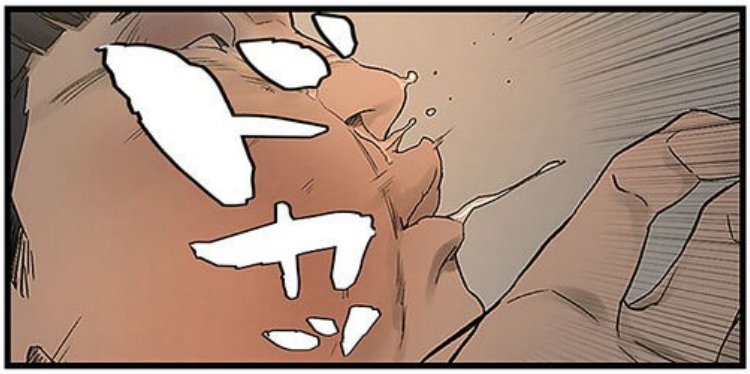
この野郎…

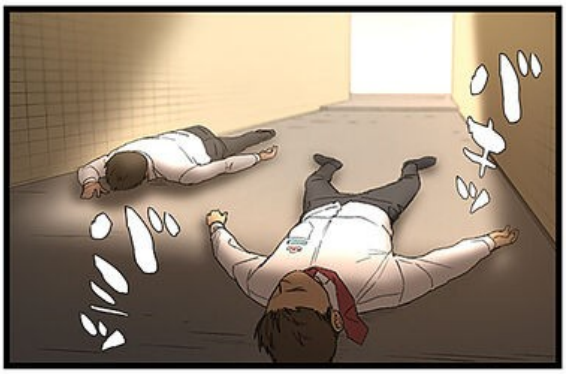
ガシッ
…！
ガシッ
この…
生意気なガキが！

なに一丁前に不良ごっこしてんだよ

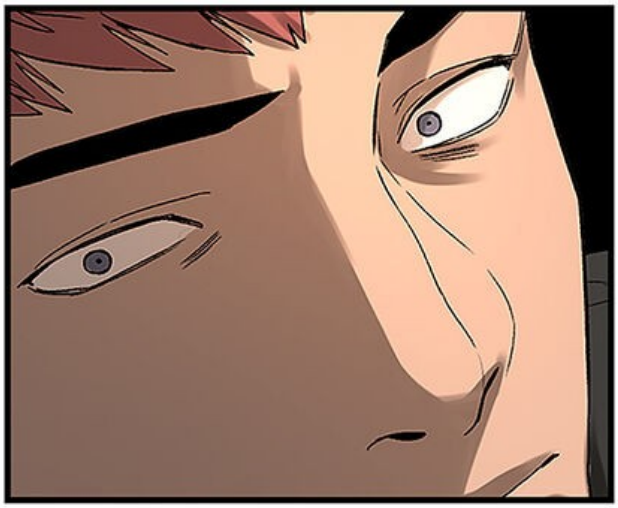
ケケッ

鼻たれ小僧が

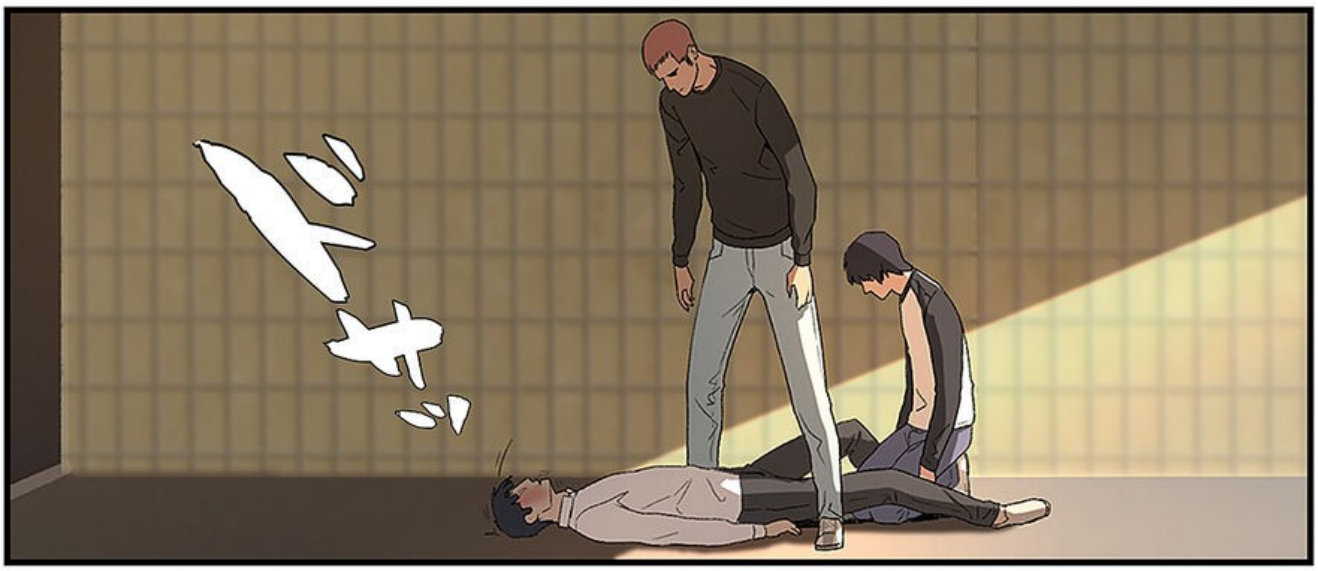




哲矢…
もうやめろ…
子供じゃないか…

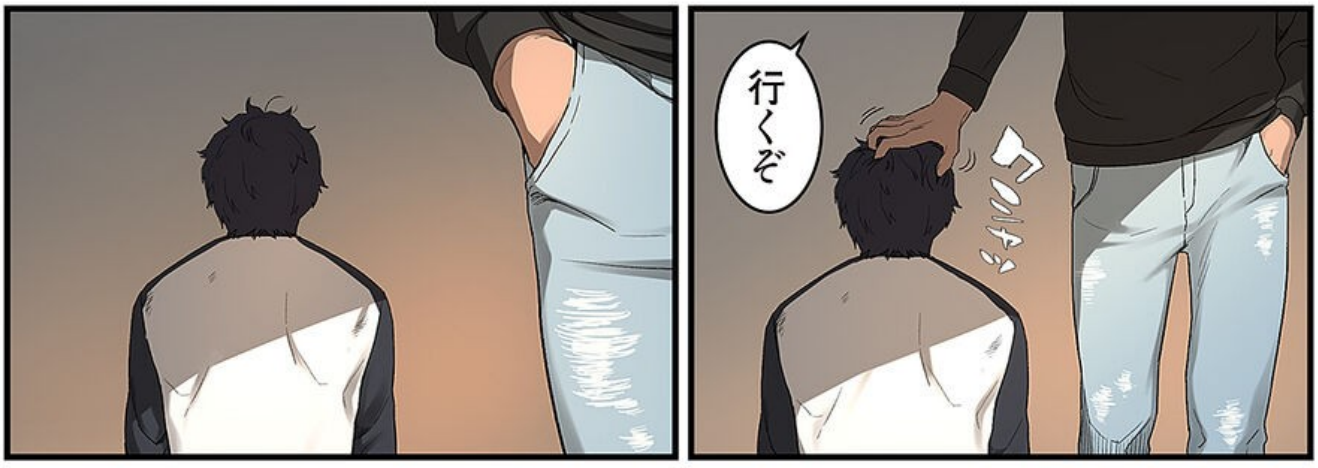


ゲホッゲホ


ドサッ

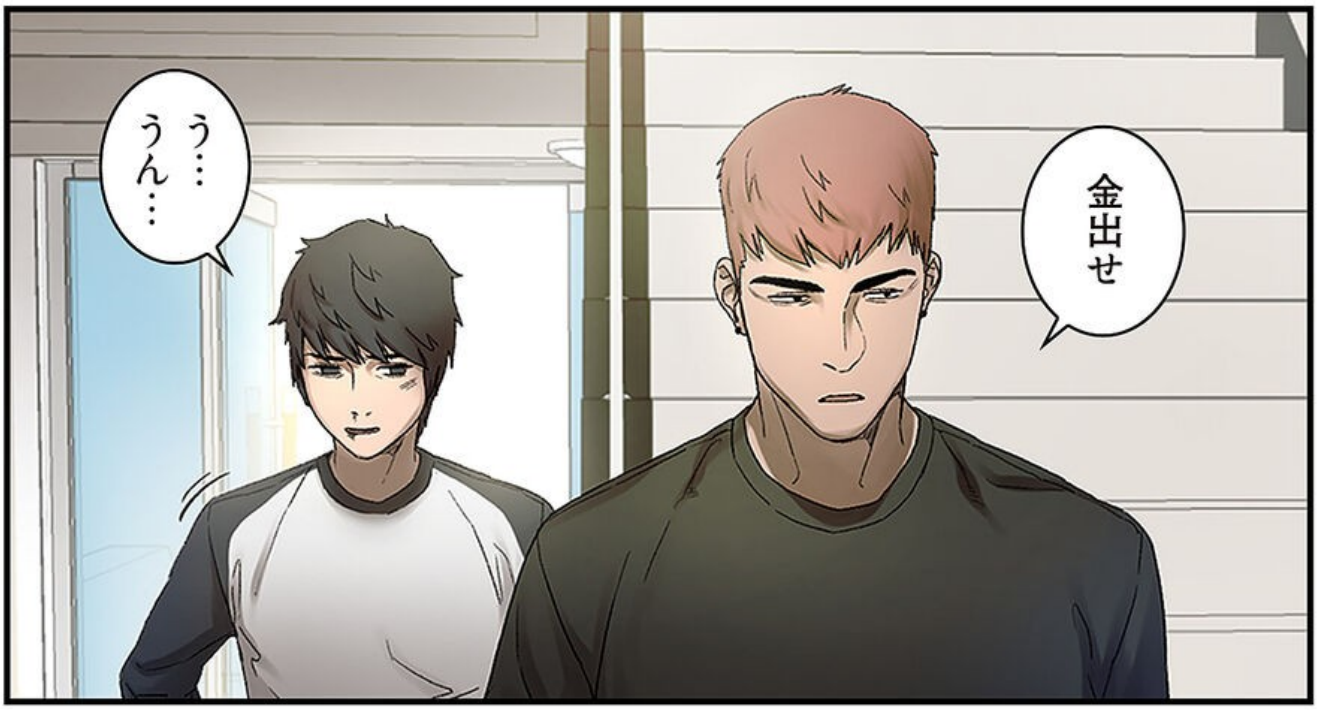
はっ
お前が言うのかよ笑えねえな

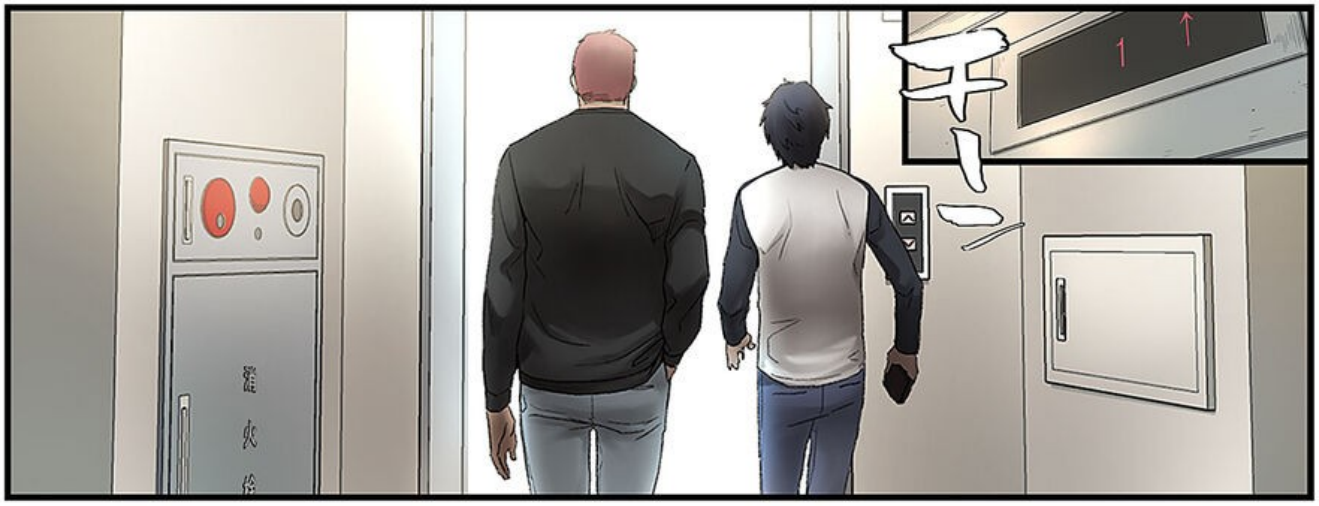
年下にやられてんじゃねえよ情けねえ
……
パシッ
パシッ


行くぞ
ワシッ

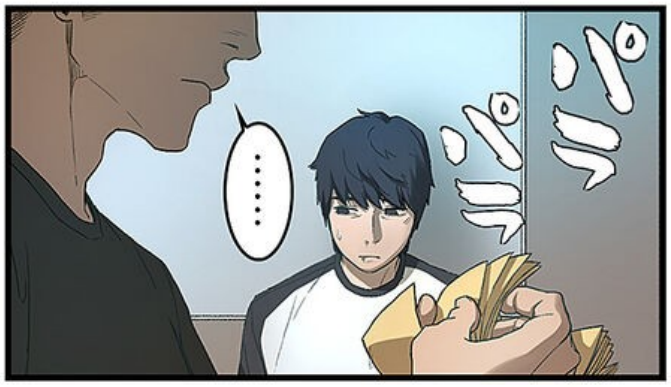
ㅋㅋㅋㅋ!!!
……

ブルーヒルマンション
BLUE HILL MANSION


う…
うん…
金出せ

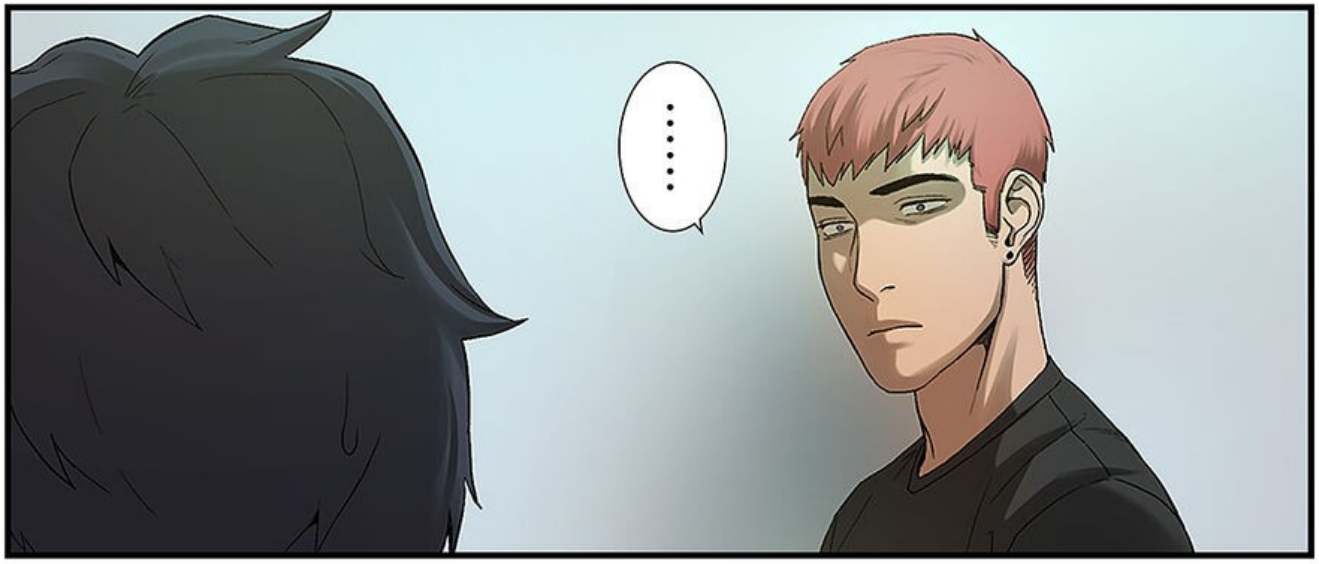

チーン
1

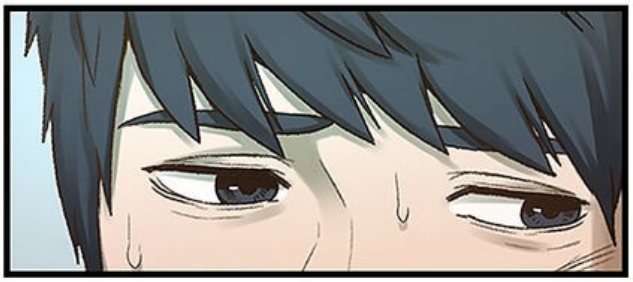
ガチャ
ピ
こ…これ
おう


パラパラ
……

パラパラ
なんだよ昨日これしか稼げなかったのか？

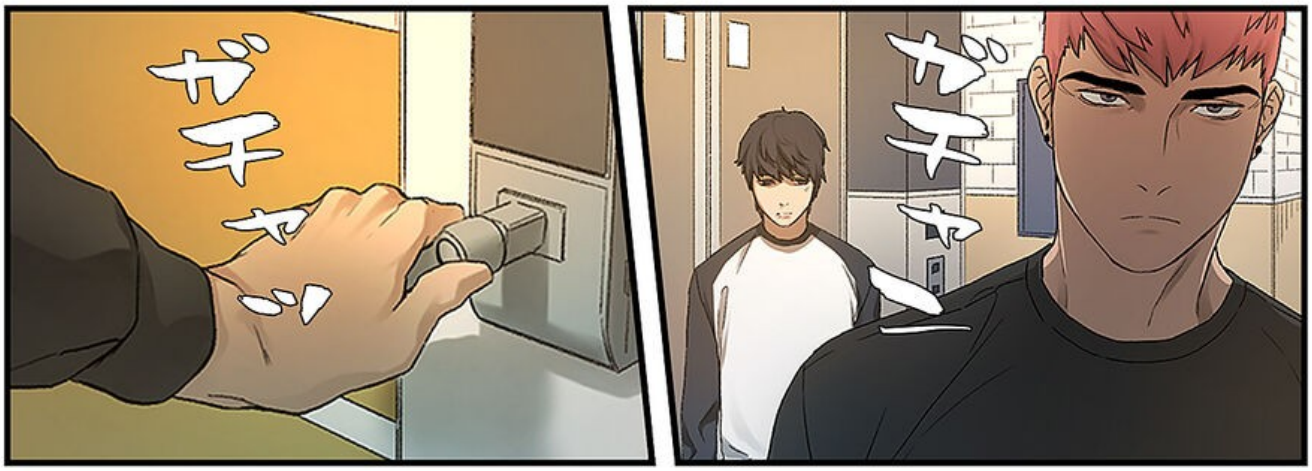
そ…それは
昨日はちょっと…的が外れたんだ


……



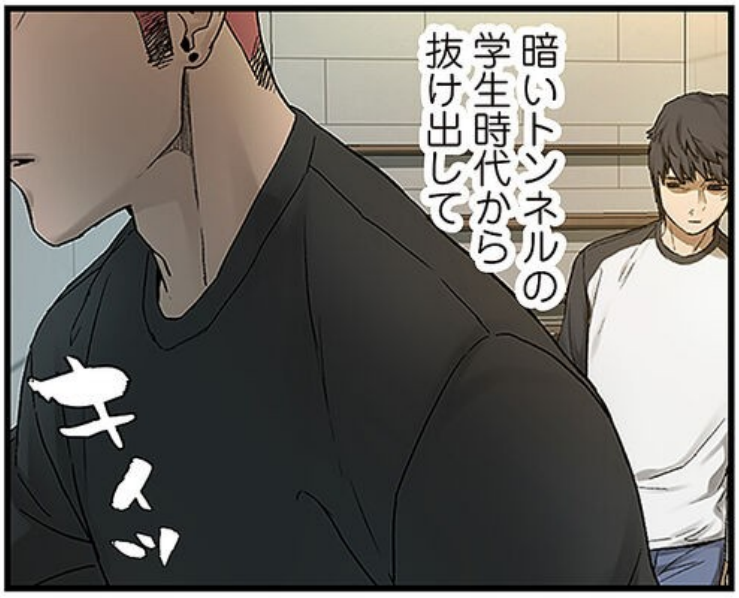
チーン
11

まあいい
お前だって毎回当てられるワケねえよな
……


ガチャ
ガチャ

高校を卒業して
19歳になれば
光輝く世界が
僕を迎えてくれると
信じていた

ガチャ
ズカ
ズカ


暗いトンネルの
学生時代から
抜け出して
キィ

本当の大人の世界に行けると信じていたのだ

お～哲矢

遅かったな

ああ

このAVヤベぇぞ～

昔あいつとヤッたことあんだよ

マジかよ!?

しかし19歳になっても僕は相変わらず…

このアリの巣のような世界に閉じ込められている

見すぎだお前ら

この部屋イカ臭えよ

誰にも見つからず誰も入り込めない

雅人(まさと)!

なんだよ

ファブ●ーズしとけ客が来るから

…わかったよ

テーブルも片づけろよ

僕ら全員を踏みつけたった二人の王だけが君臨するアリの巣

僕はここに
完全に
閉じ込められた

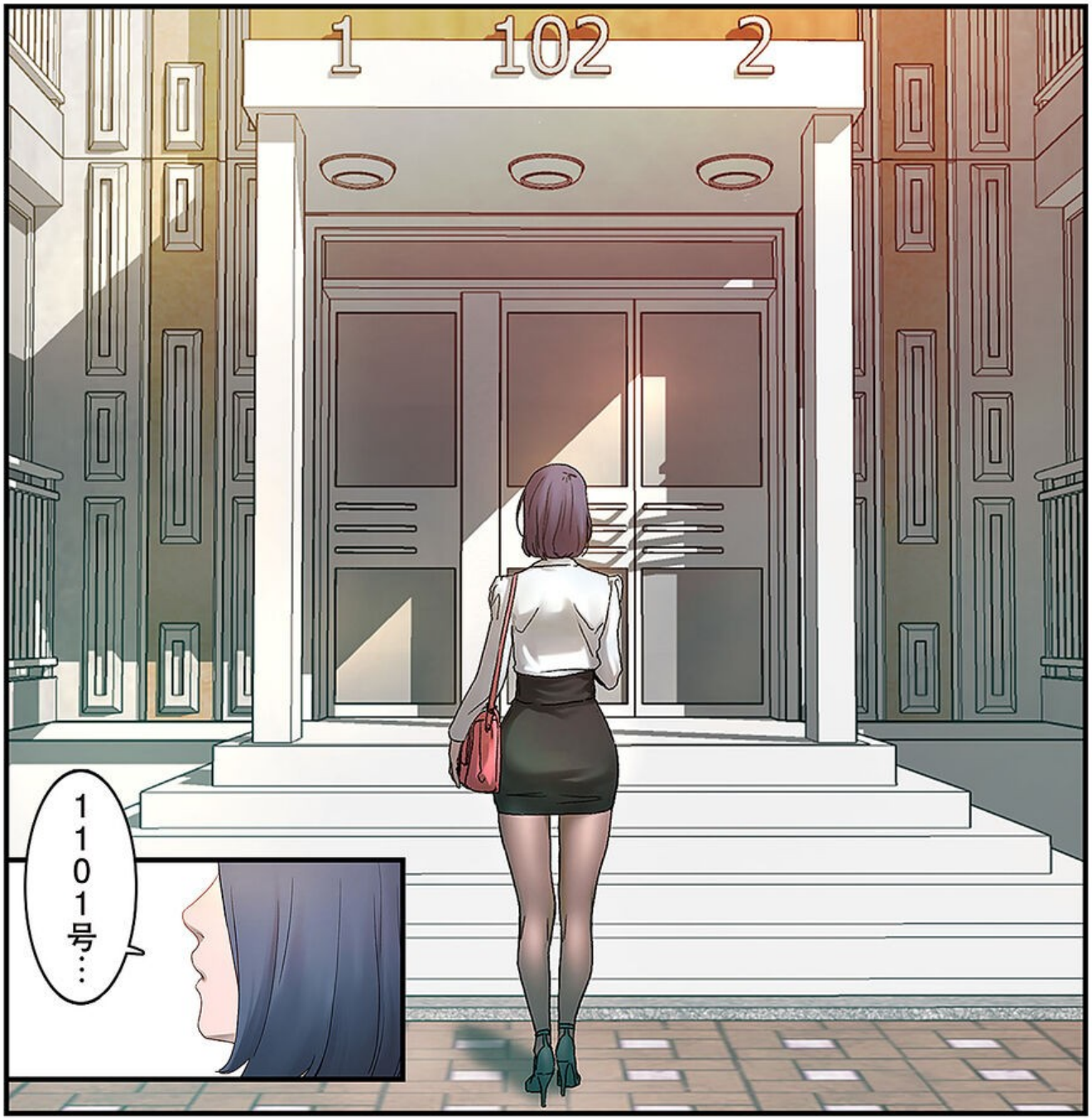
客が来たら
静かにしてろよ
もしも
ふざけたマネ
しやがったら…
殺すぞ

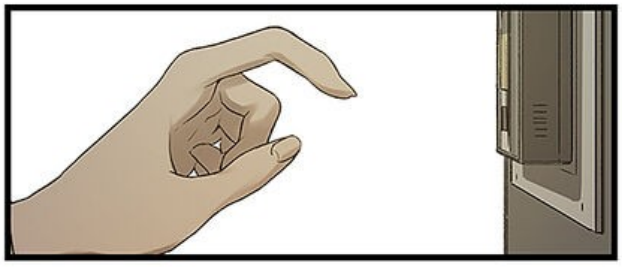
僕は囚われの身
ゴーン

僕は鉄の鎖で
引きずられる奴隷

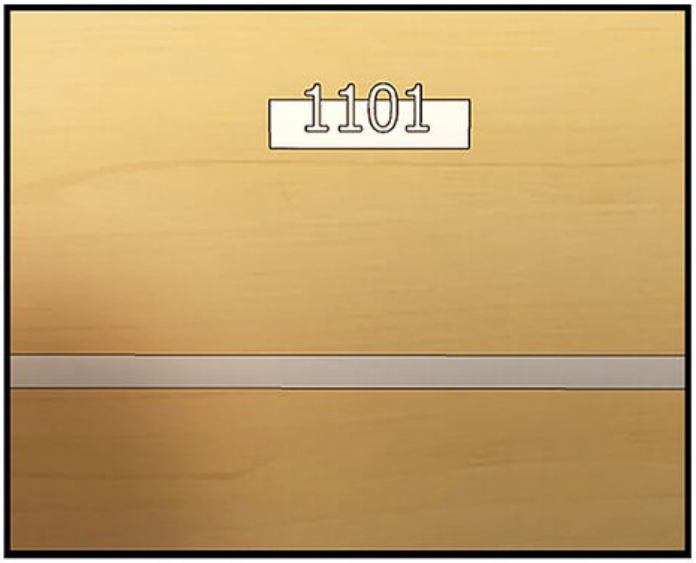
銃を向けられた捕虜

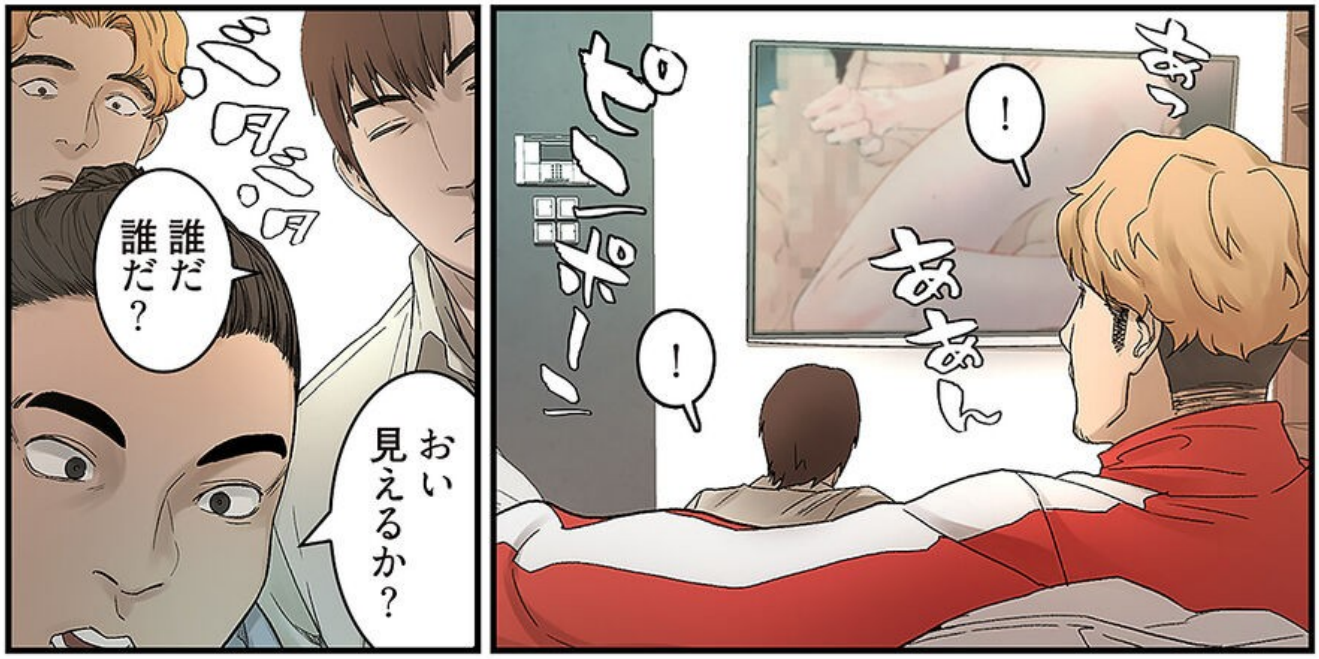
蜘蛛の巣にかかった虫


1 102 2
1101号…

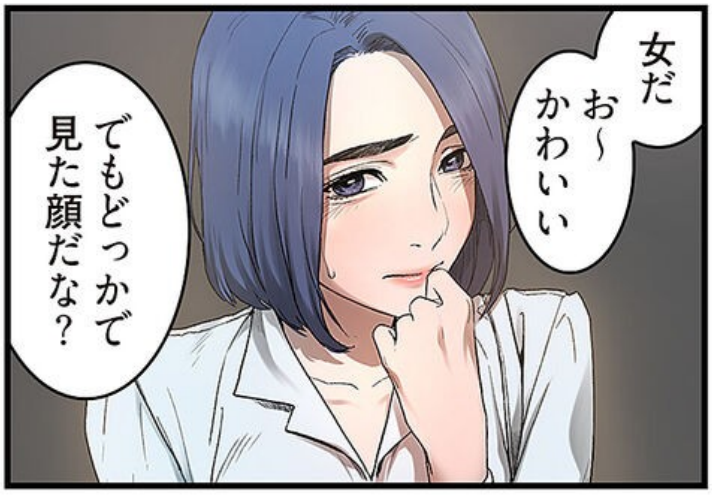


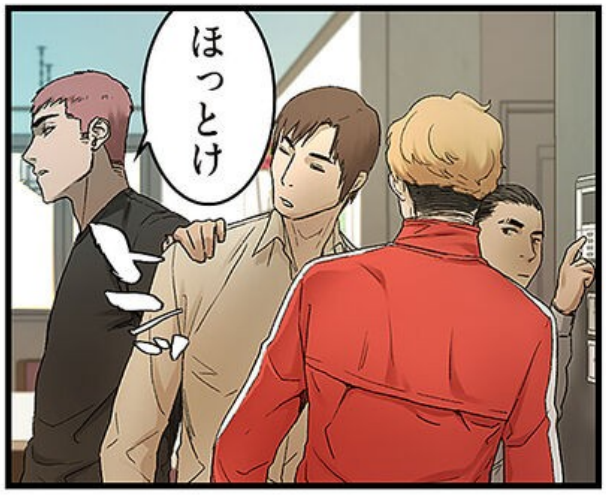
……


1101


ふっ
！
ふふん
ピンポーン
！

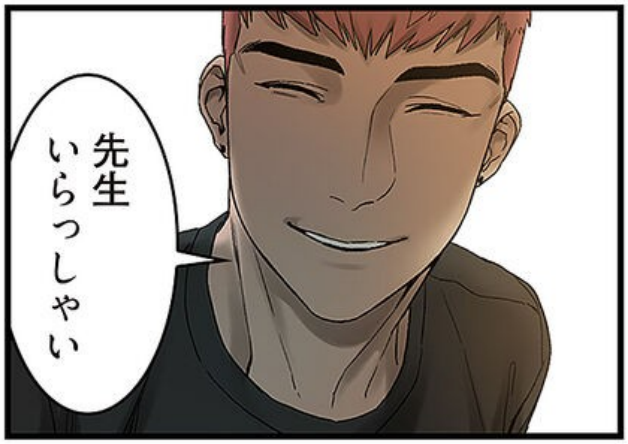
ざわざわ
誰だ誰だ？
おい見えるか？

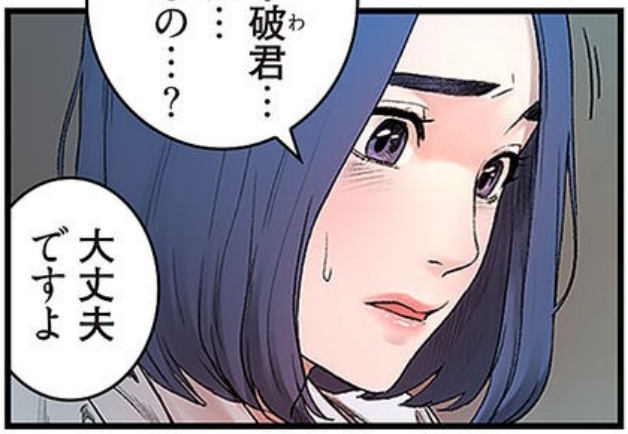

女だ
お～かわいい
でもどっかで見た顔だな？

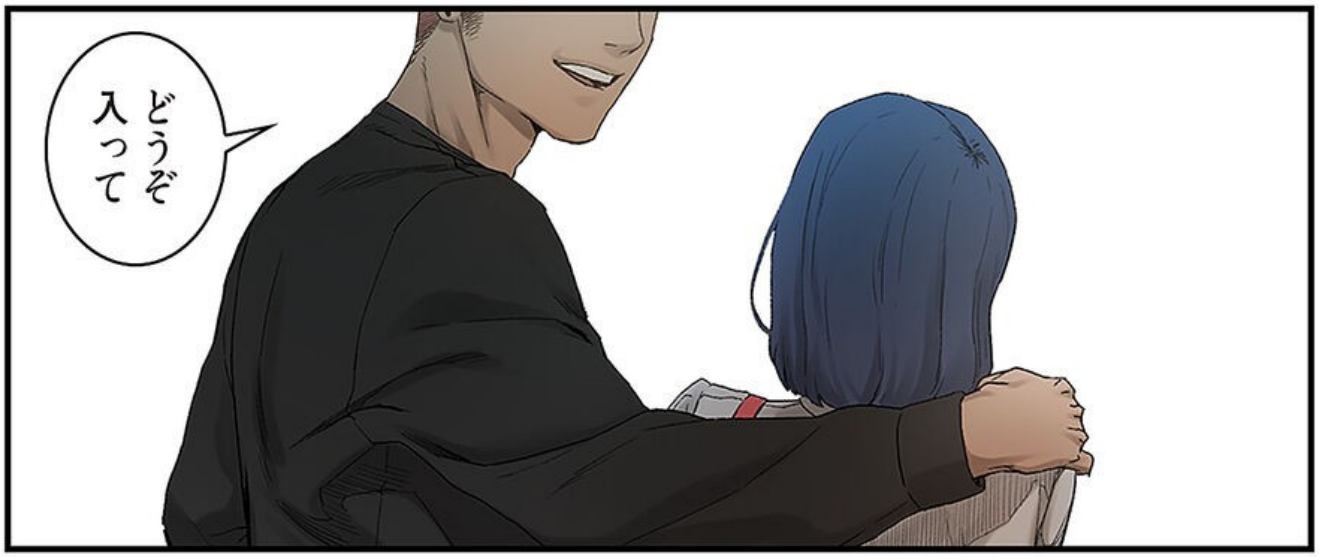

ほっとけ

ざわざわ
テレビ消せてめえら

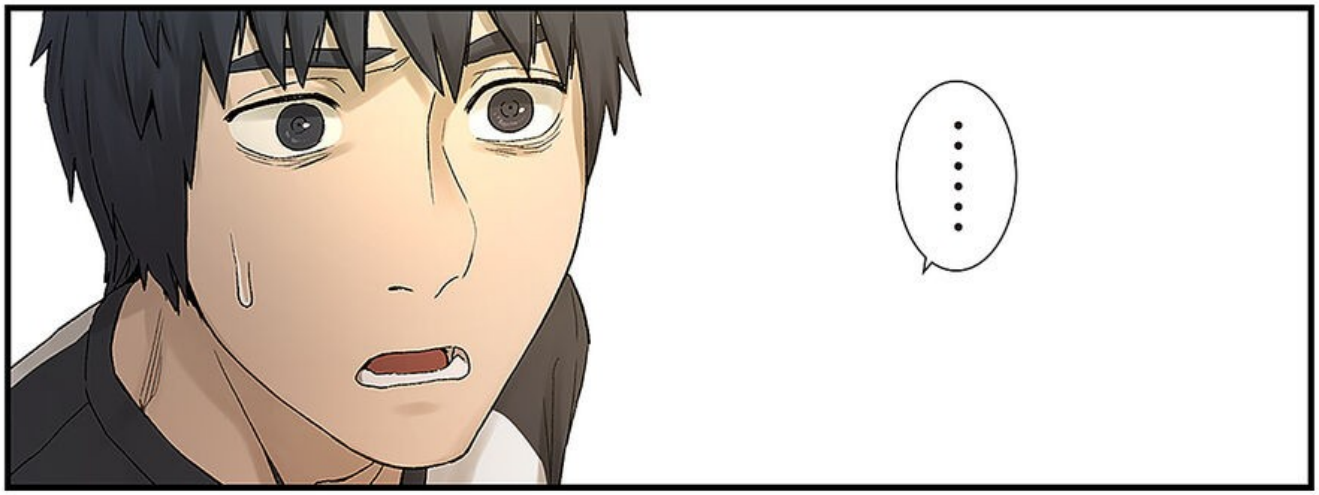
あ…
ドンッ

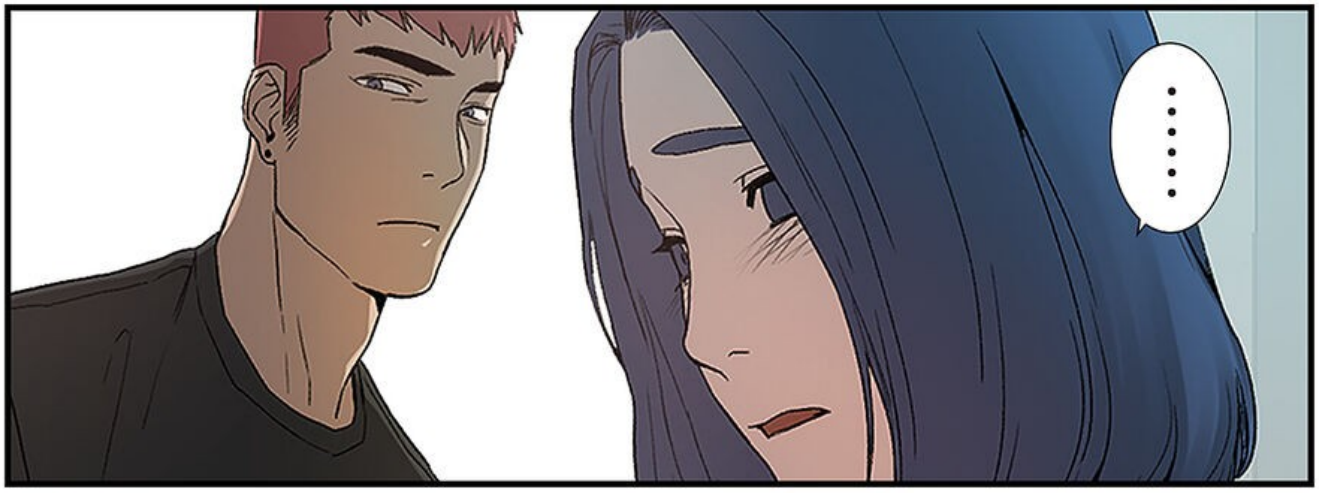

先生
いらっしゃい

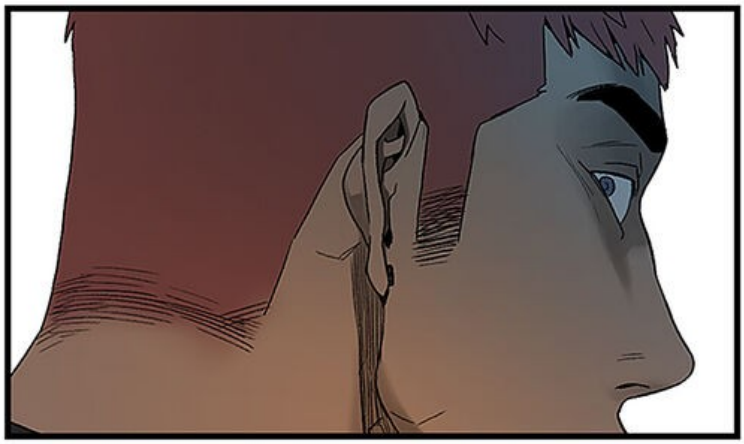

ふ…不破君…
ここは…
なんなの…？
大丈夫
ですよ

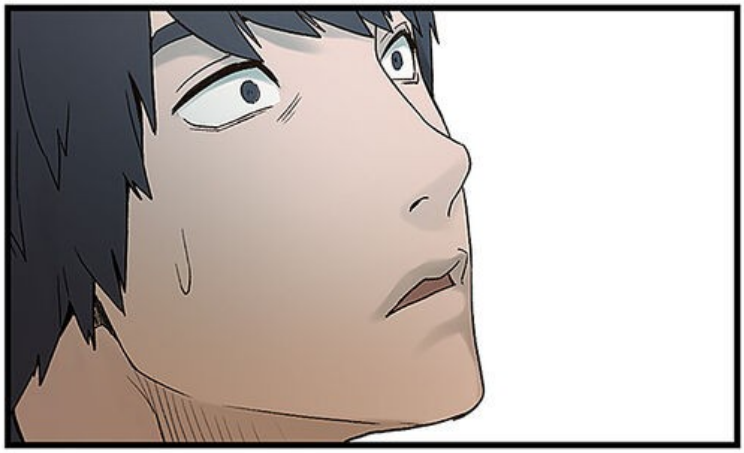

どうぞ
入って

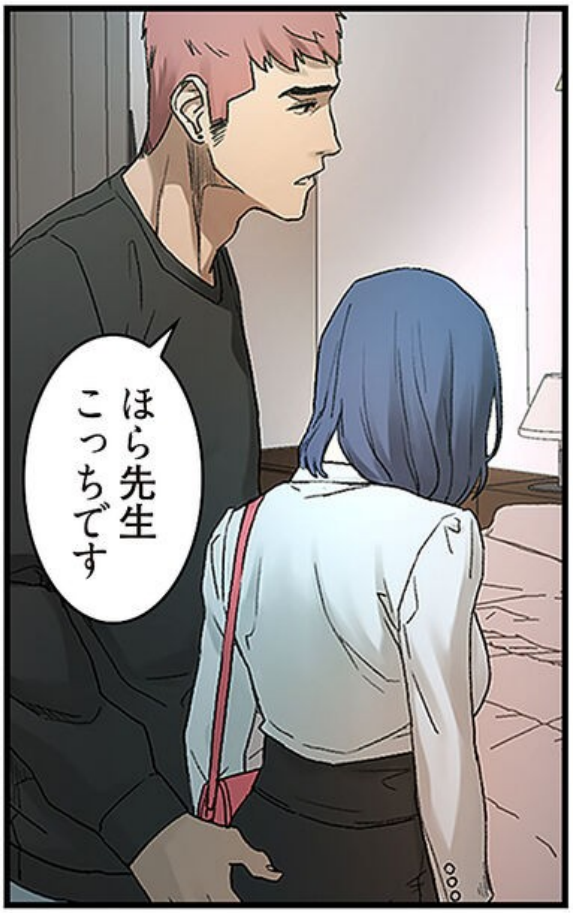
ジーッ
チー
!!
……

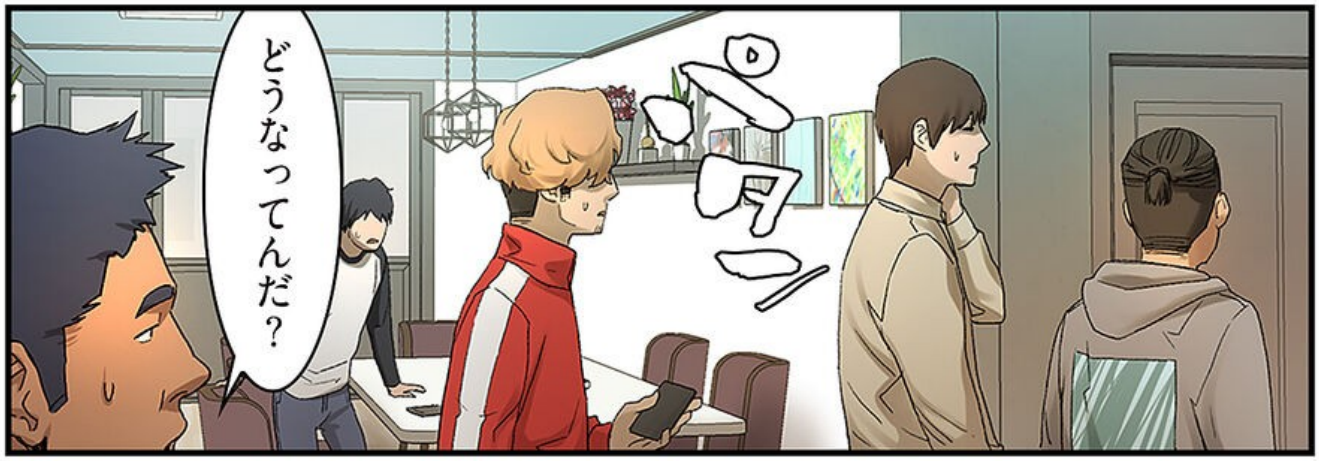

……


……

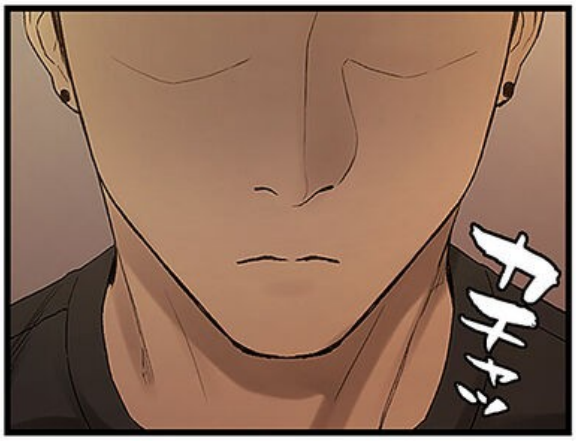




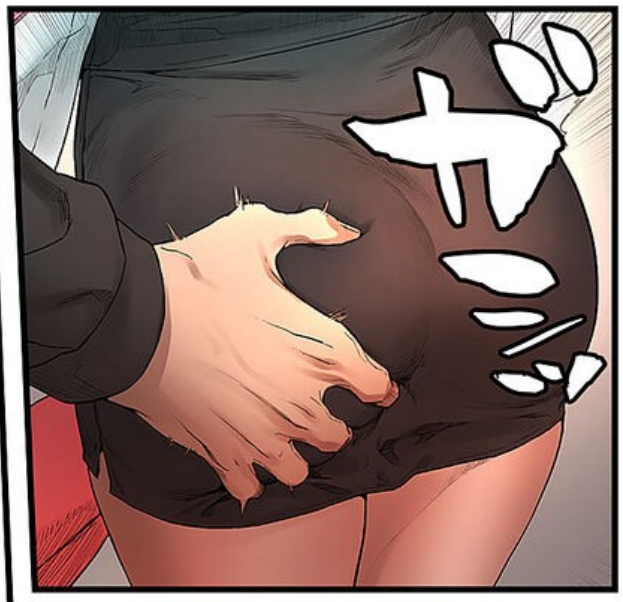

ほら先生こっちです


どうなってんだ？
ペタン

不破君…
ズカ
ズカ


カチャ

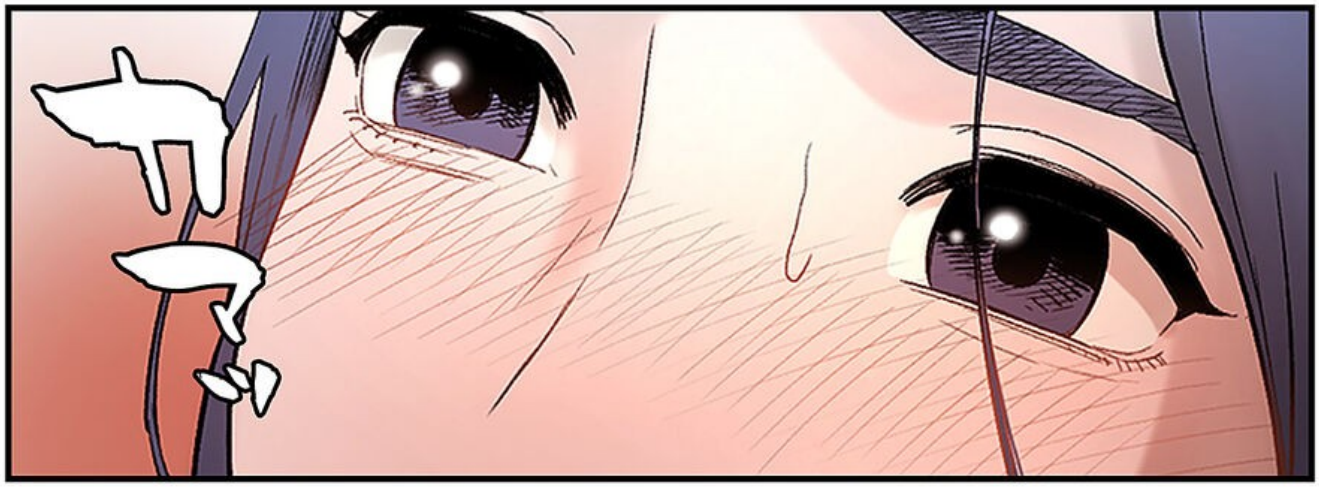
ここっていったい…


ガシッ

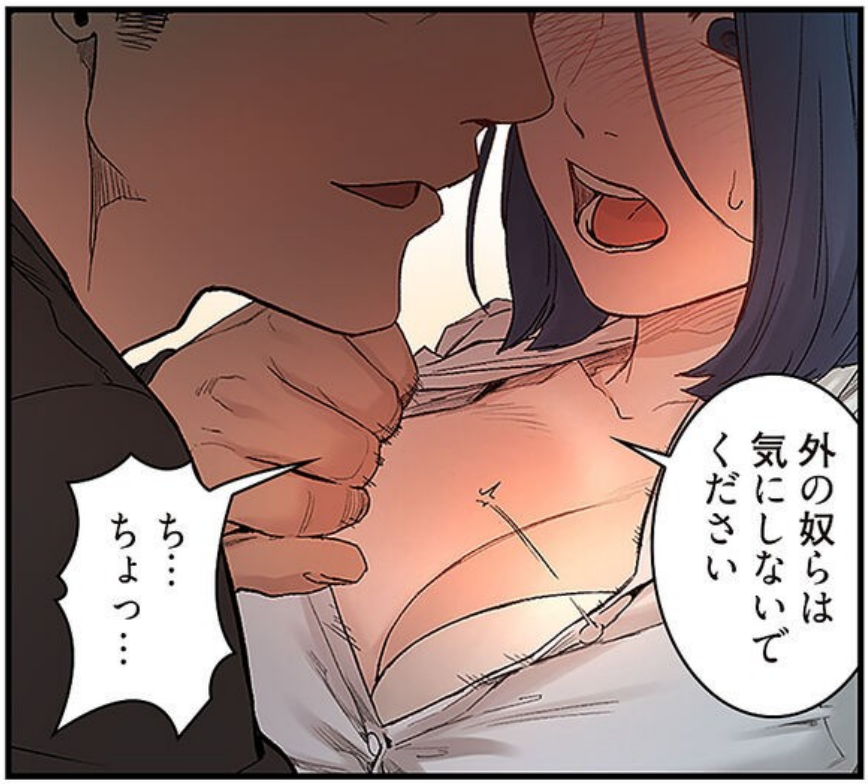
な…
何するのよ！

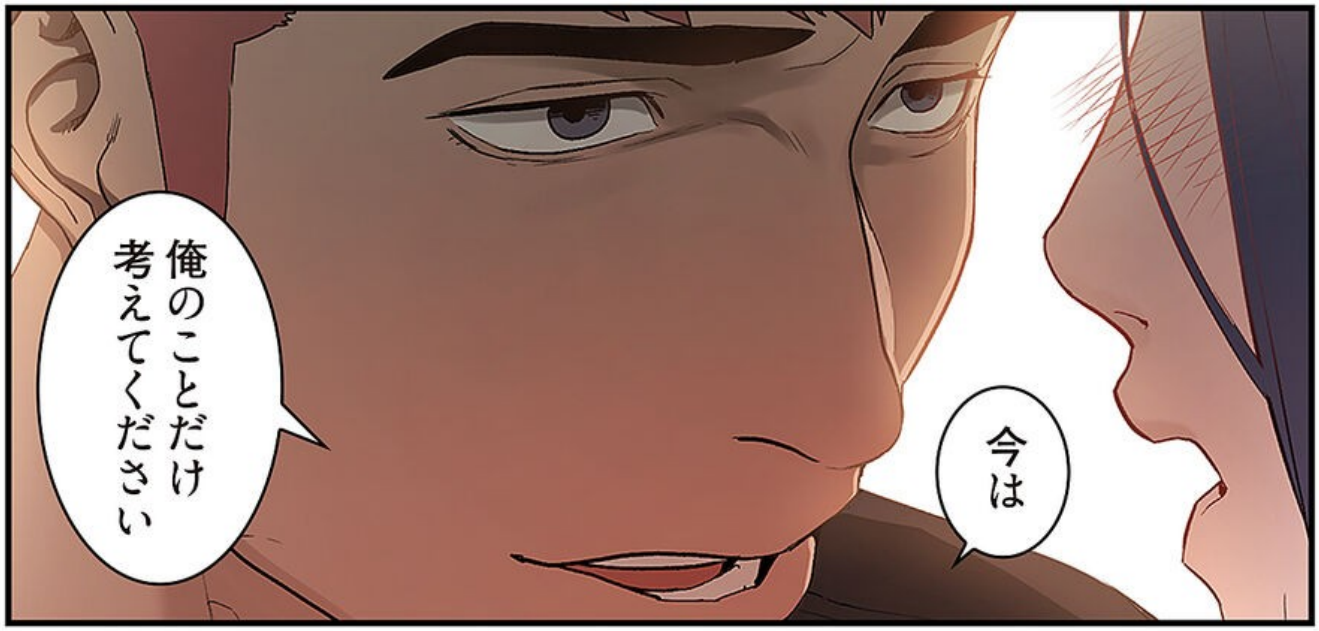
ガシッ

…
会いたかったです
先生


ア

やめて
あの子たちは
なんなの!?
ぐいっ
それにこの
マンションは!?


外の奴らは
気にしないで
ください
ち…
ちょっ…


今は
俺のことだけ
考えてください

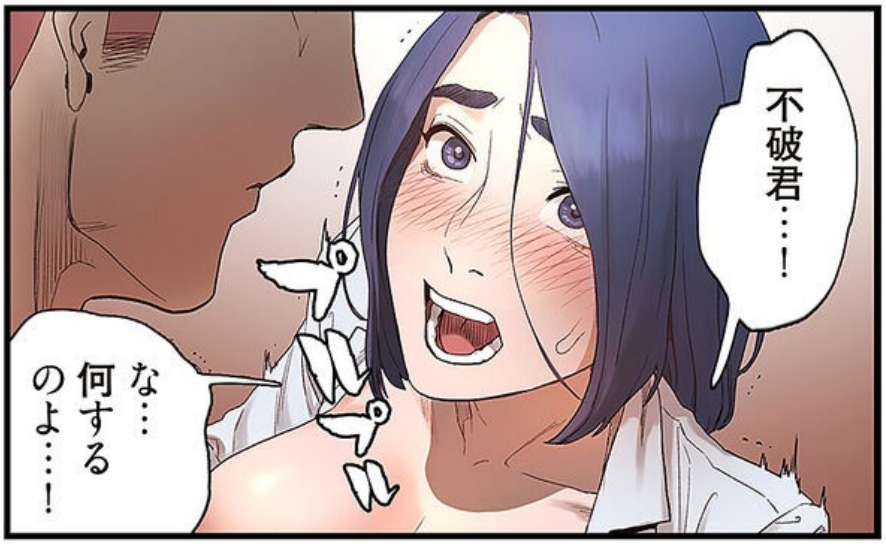
あ…
あっ…！
あ…
ま…
待って…
イヤです
ふ…
不破君っ
ううっ

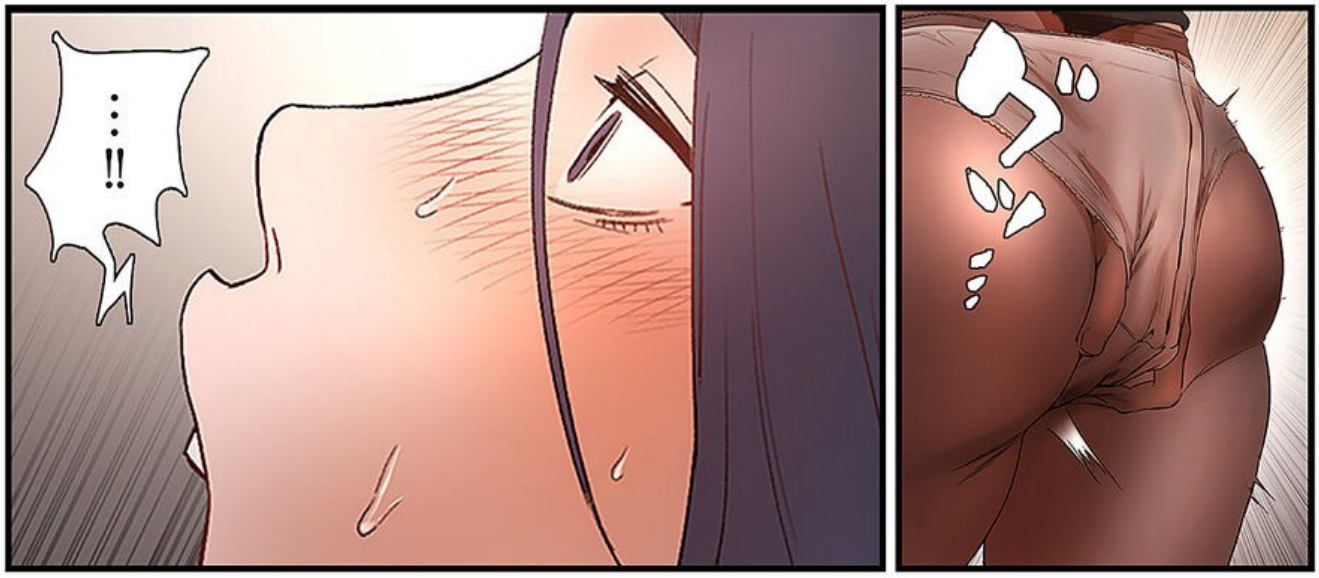
はあん
チュッ
チュッ
…!!
チュッ
チュッ
チュッ
……
チュッ

スカートシワになっちゃいますね

…えっ…!?

!!



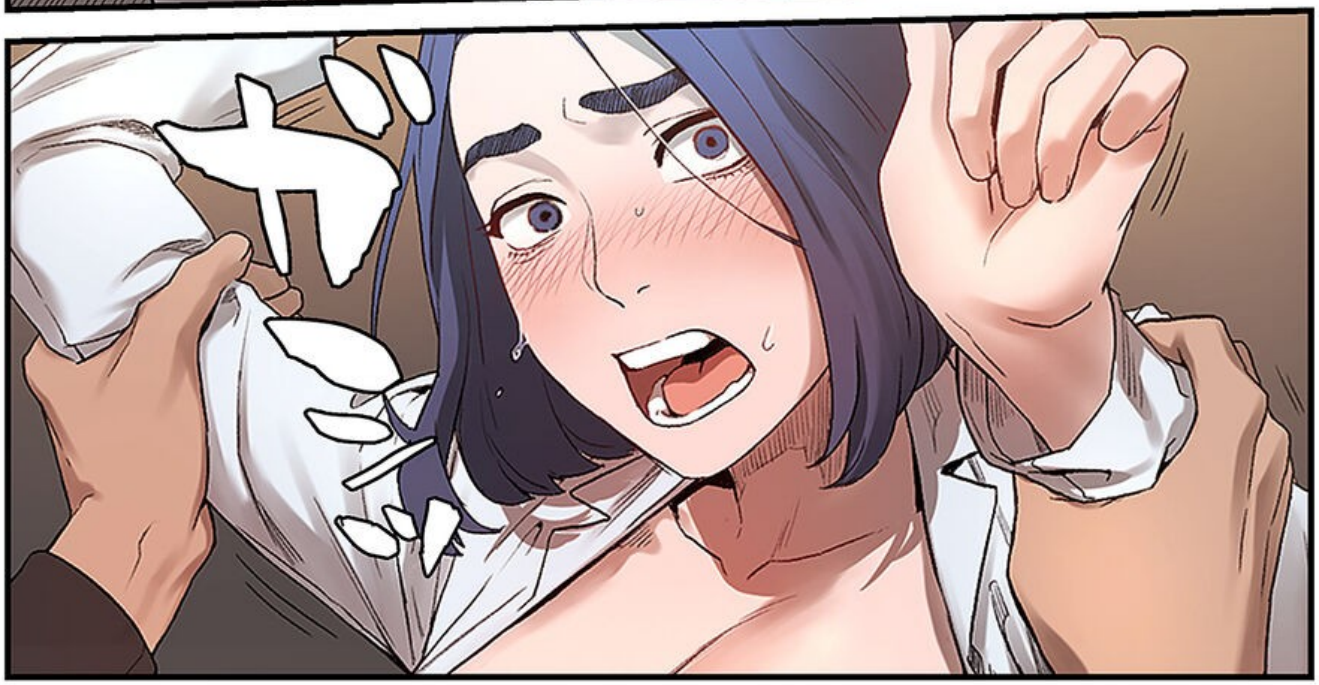

グ…
…!!

何って…先生と
ヤろうとしてるんですけど？

やめて…！

……

やめってば!!



よし
オッケー
じっとしててくださいよ
う…うっ
…!!

ダメよっ！
ケケケ
イヤ…！こんな所じゃ
!!

やめて!!

グチュッ

グチュッ

不破君!!
やめなさい!!

人が隣に
いるのに
何してるのよ!!

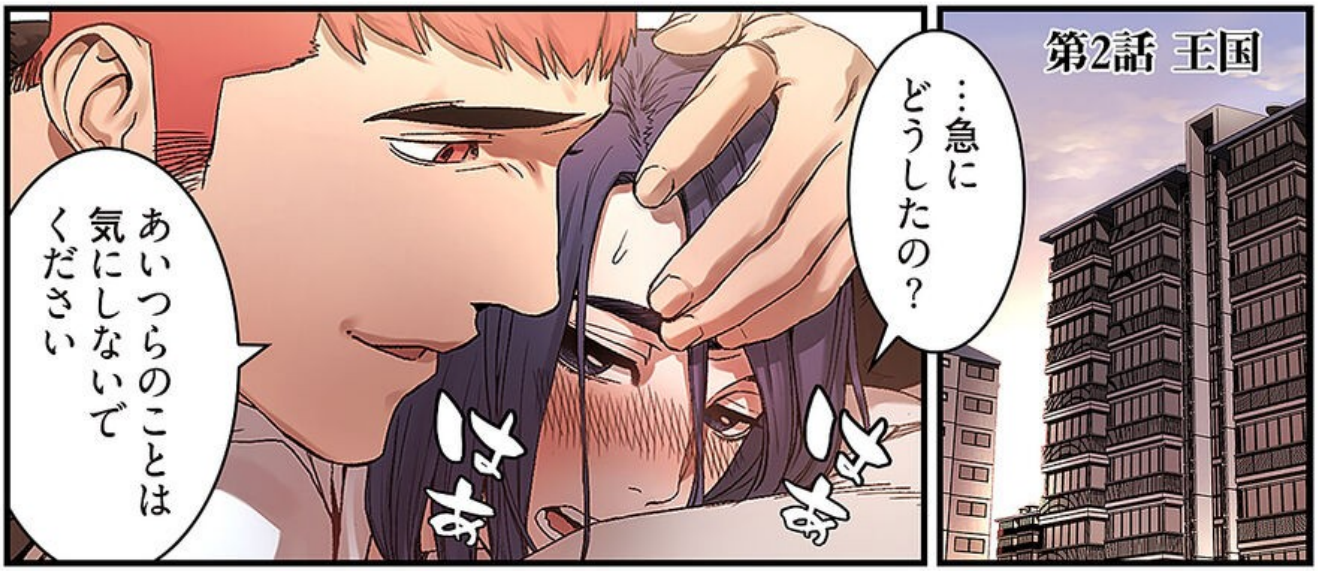
ぐぐっ

あっ!

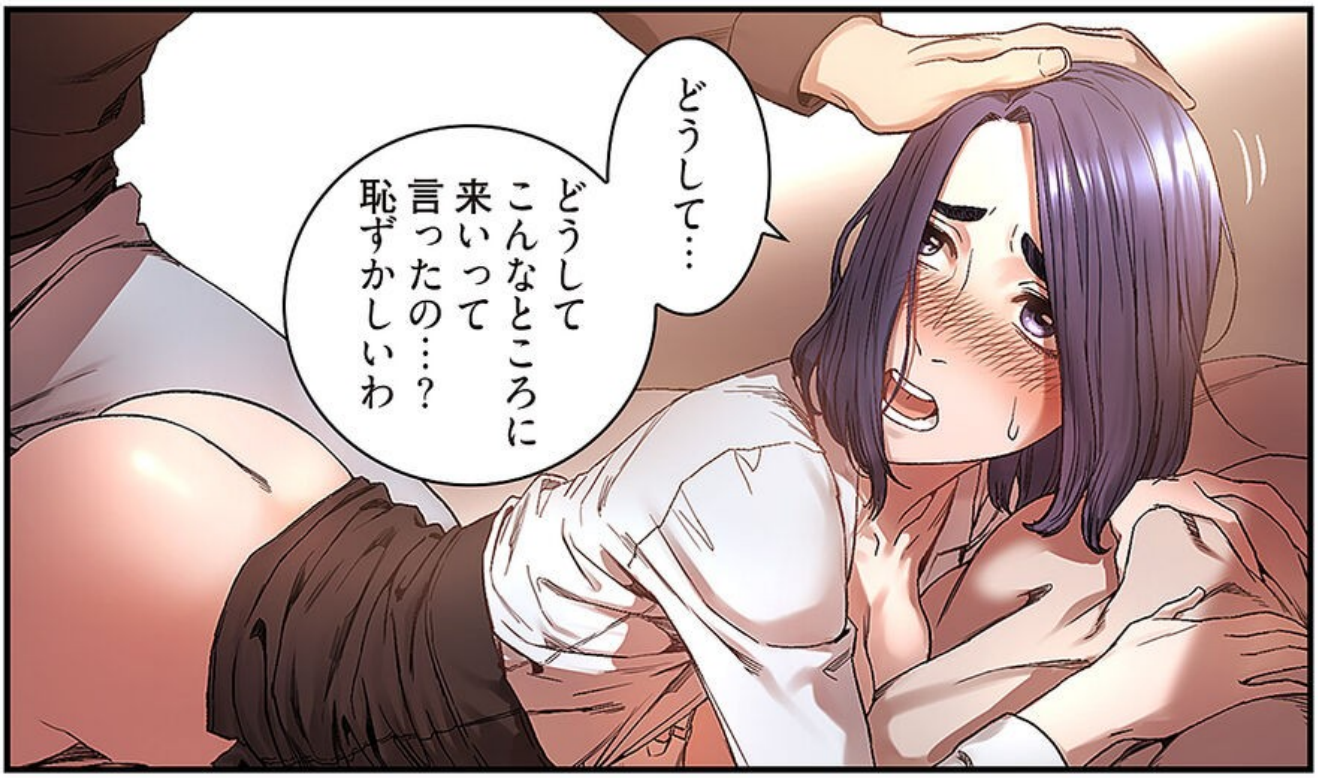
朱莉…
いっぺんヤられねぇと静かにできねえのかよ？
う…うっ…

生残賭博

生残賭博


第2話 王国
…急に どうしたの？
あいつらのことは 気にしないで ください
はぁ
はぁ

いつもみたいに 俺たち二人だと 思ってください

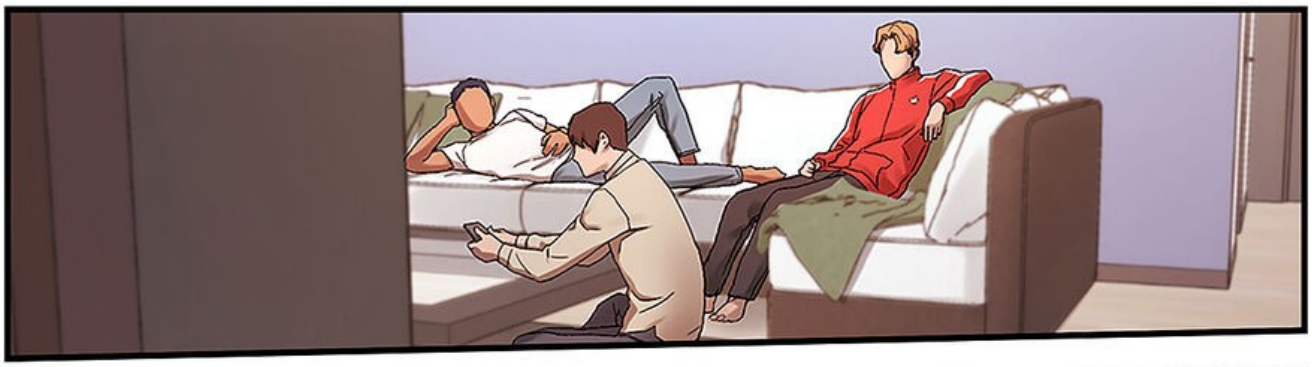

どうして…
どうして こんなところに 来いって 言ったの…？ 恥ずかしいわ

別に…
先生にここを見せたかっただけですよ
ここはなんなの…？
ズッ
ズッ

ここは俺が治める王国なんです
!!

はあっ…！
チュッ
チュプッ
チュッ
ジュッ
う…
うっ…

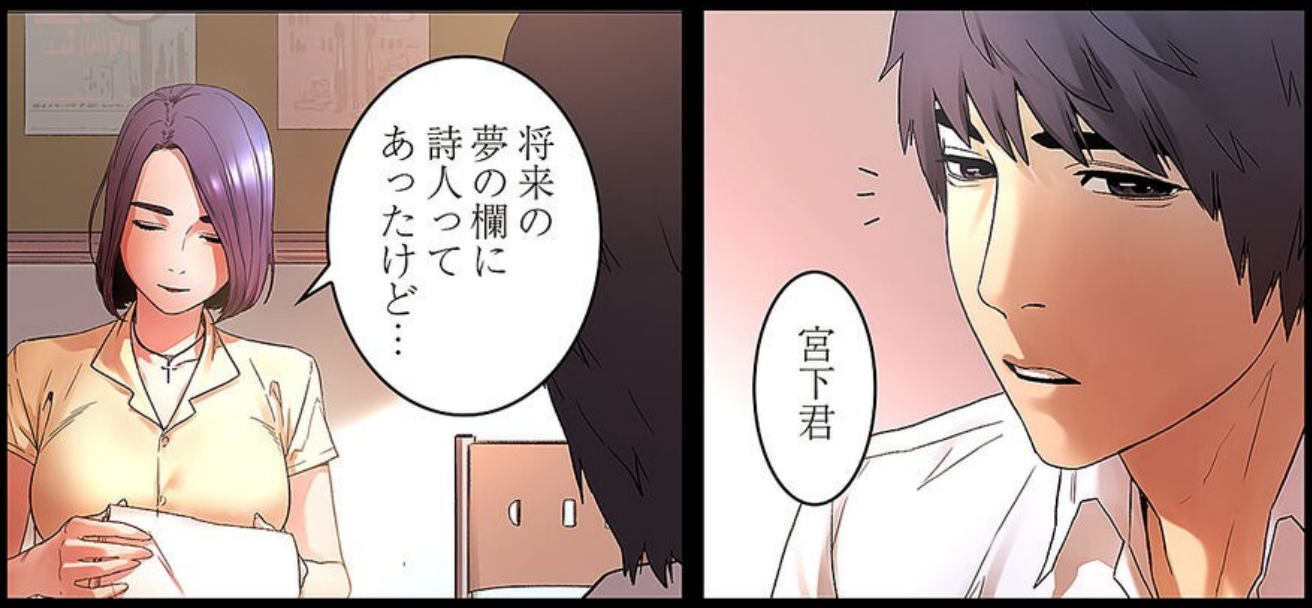
あ…！



…なあ？あれ現国のセンコーだよな？
ああ木下朱莉だろ学校一の美人の
なんだよオレあのセンコー好きだったのに
二人で何してんだろうな？壁破りてー

ドアに耳くっつけたら聞こえんじゃね？
あのセンコーの喘ぎ声聞くだけでイキそう
うるせぇよ
哲矢に静かにしてろって言われただろ
言う通りにしとけよバーカ

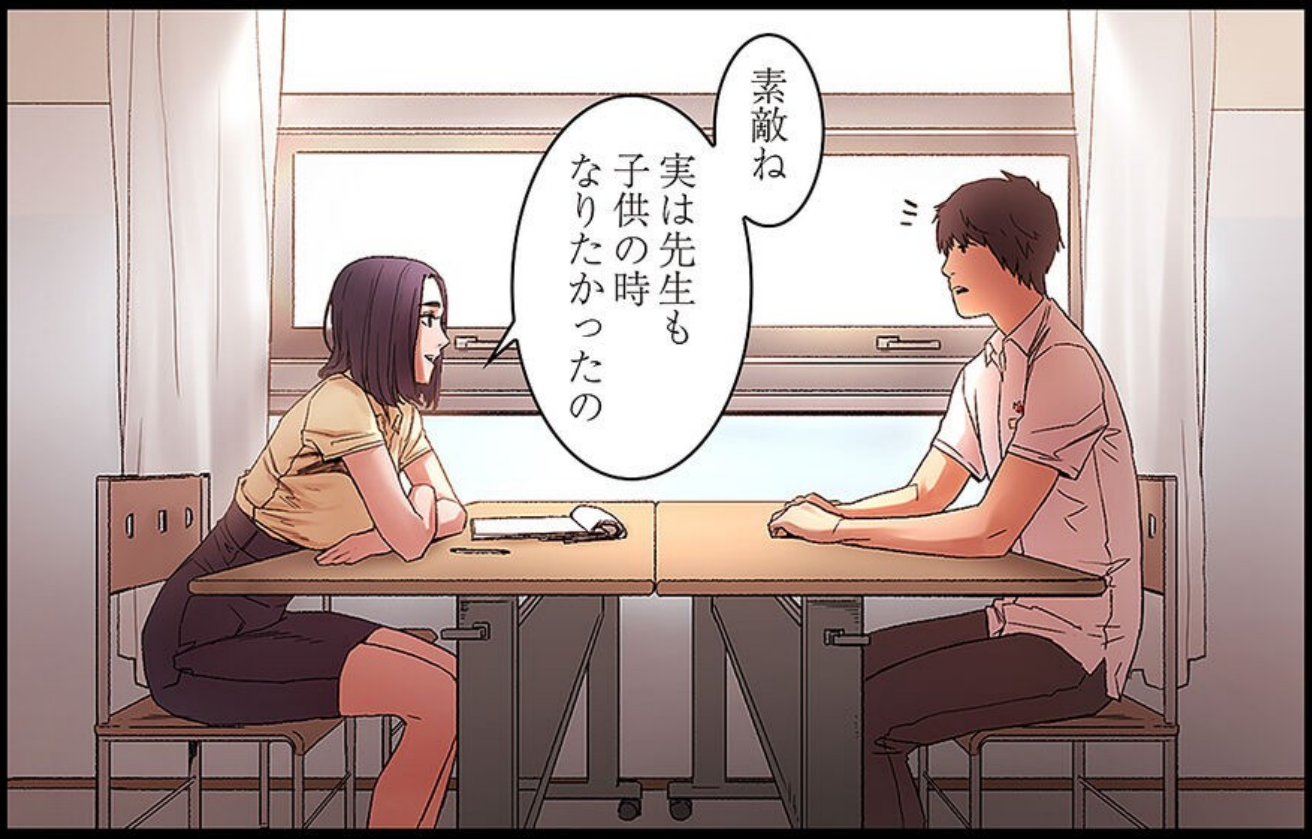
そうそうテレビでも見ようぜ
AVはやめろよ見るなって言われただろ


宮下君

将来の夢の欄に詩人ってあったけど…

本当に詩人になりたいの？

はい…
はは…


素敵ね
実は先生も子供の時なりたかったの

先生は
なれなかったけど
宮下君なら
きっとなれるわ

教会にいったら
宮下君が
素敵な詩人に
なれるよう
祈るわね

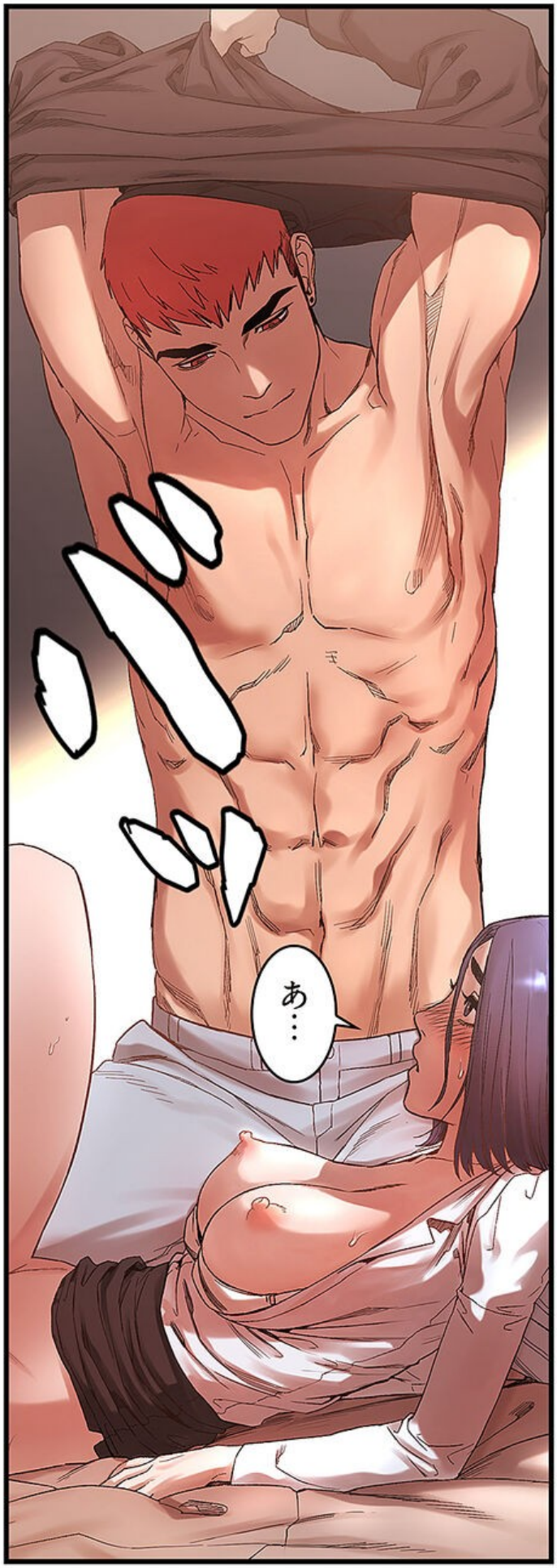
はぁ

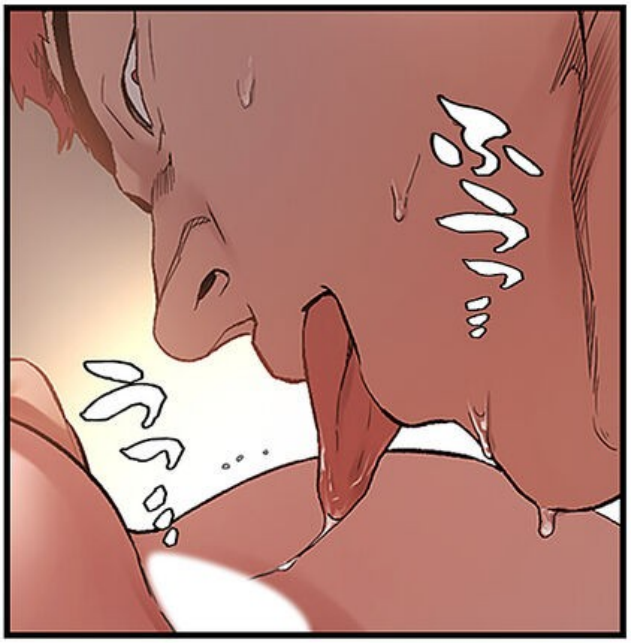
はぁっ

ぐちゅぐちゅ

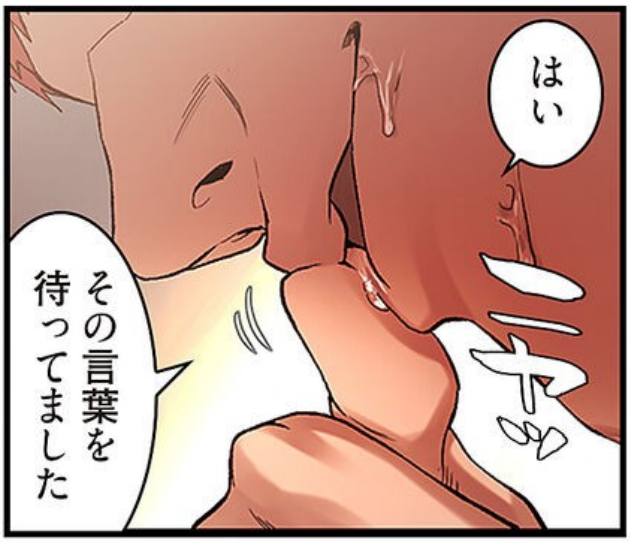
やめ…!!

チュプ

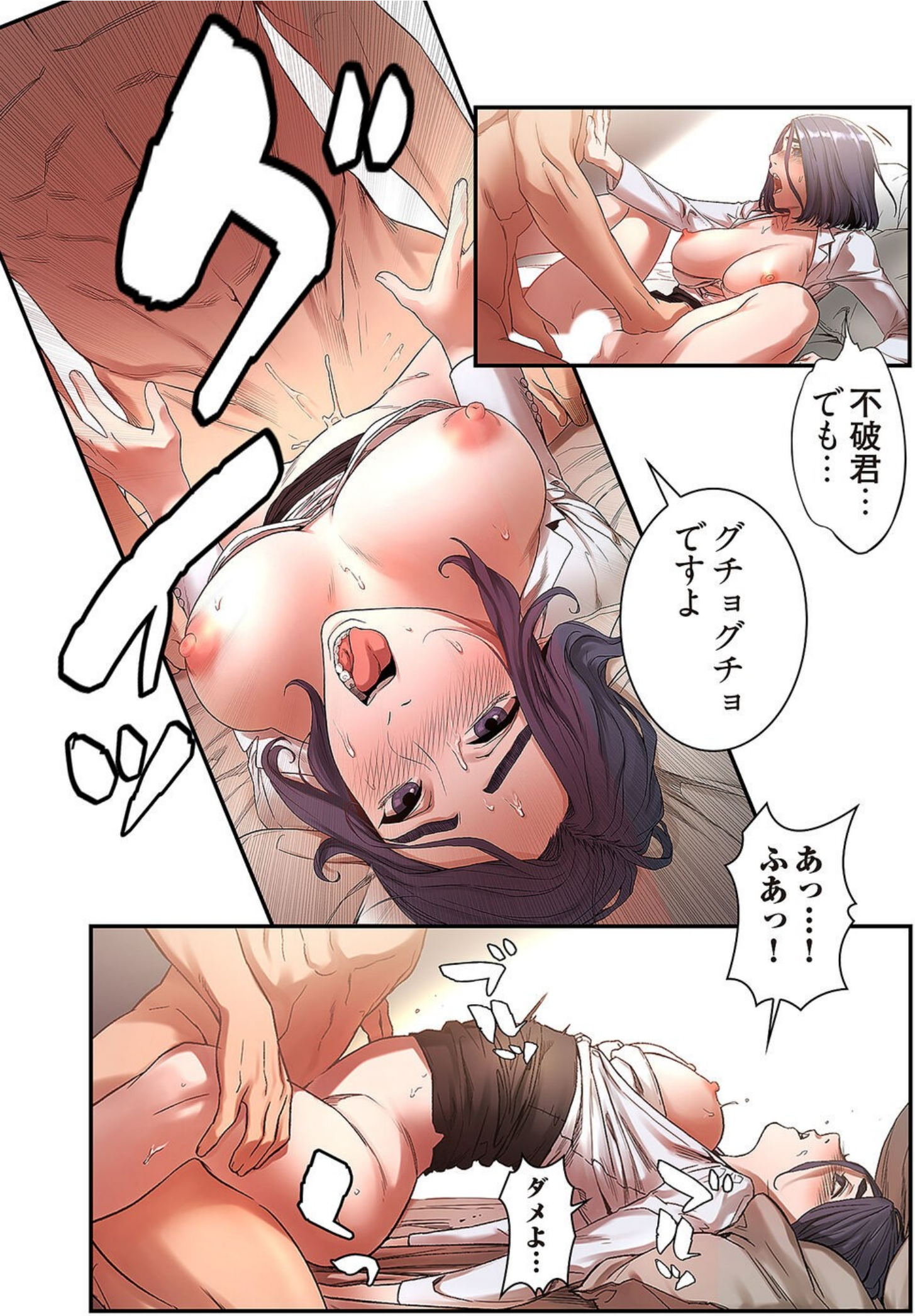

ボボボ
あ…


ふう…
ふう…

お願い…
もう…
やめて…


はい
ニヤッ
その言葉を
待ってました

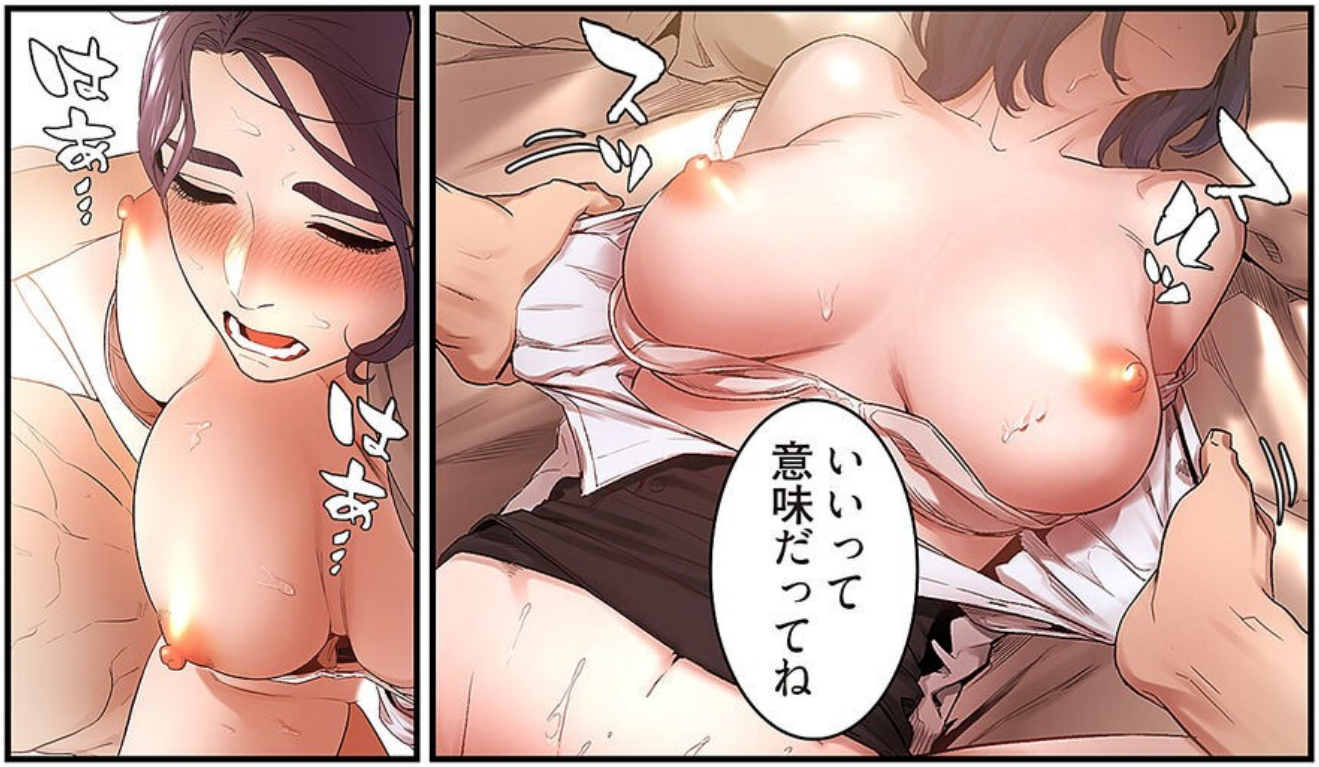
うっ…
う…
破裂しそうですよ先生…
あ…
不破君…
ああっ…！


不破君…でも…
グチョグチョですよ
あっ…！ふあっ！
ダメよ…

先生がダメって言う時は

わかってます

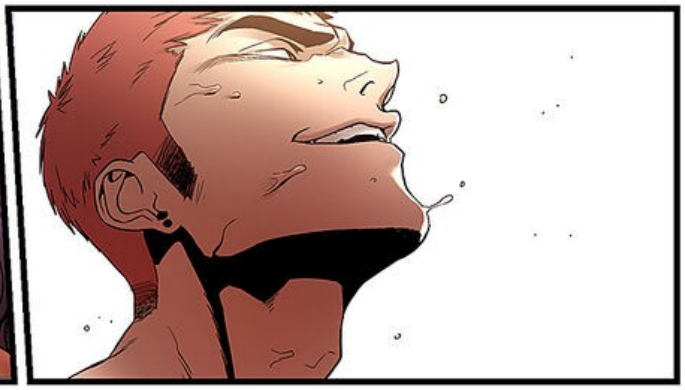
ぶるぶる



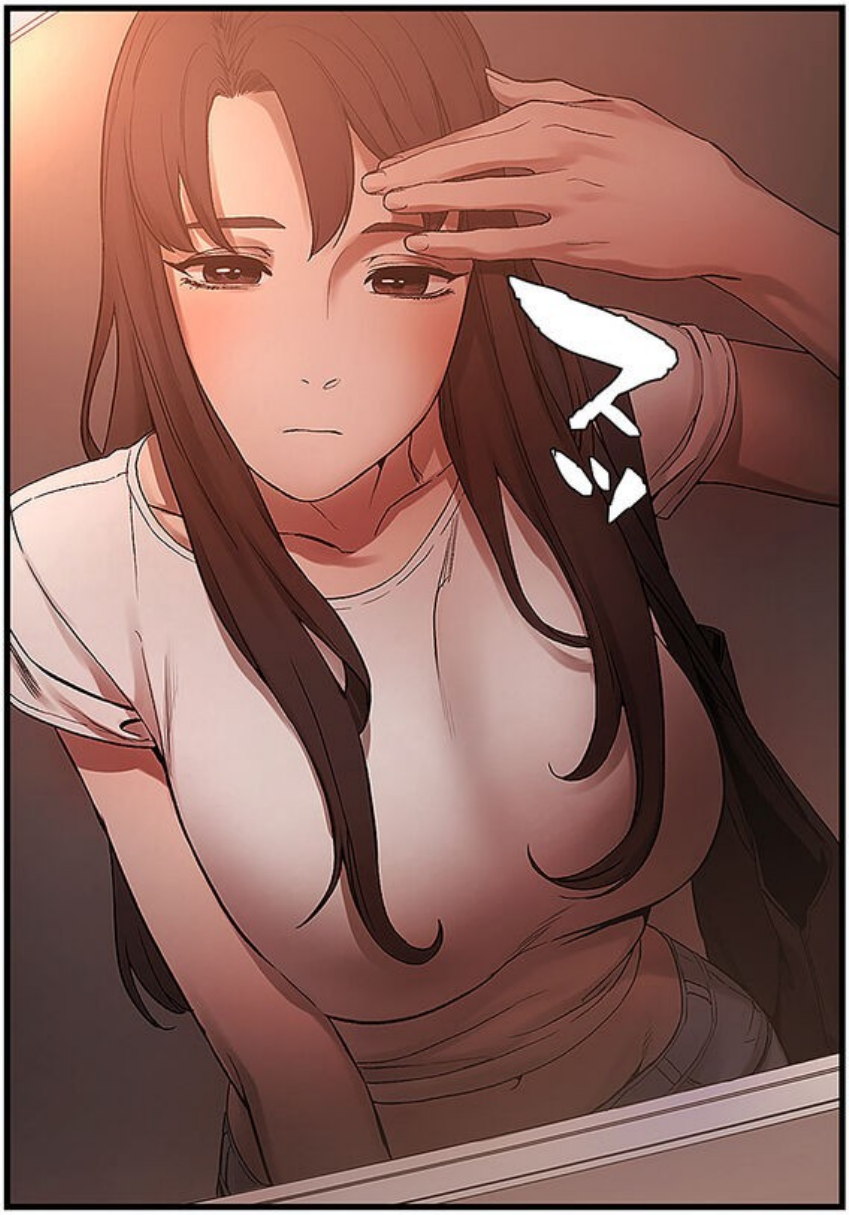
ふう…
久しぶりだから
めちゃくちゃ
イイ…
ズズズ
ピュッ
ピュッピュッ

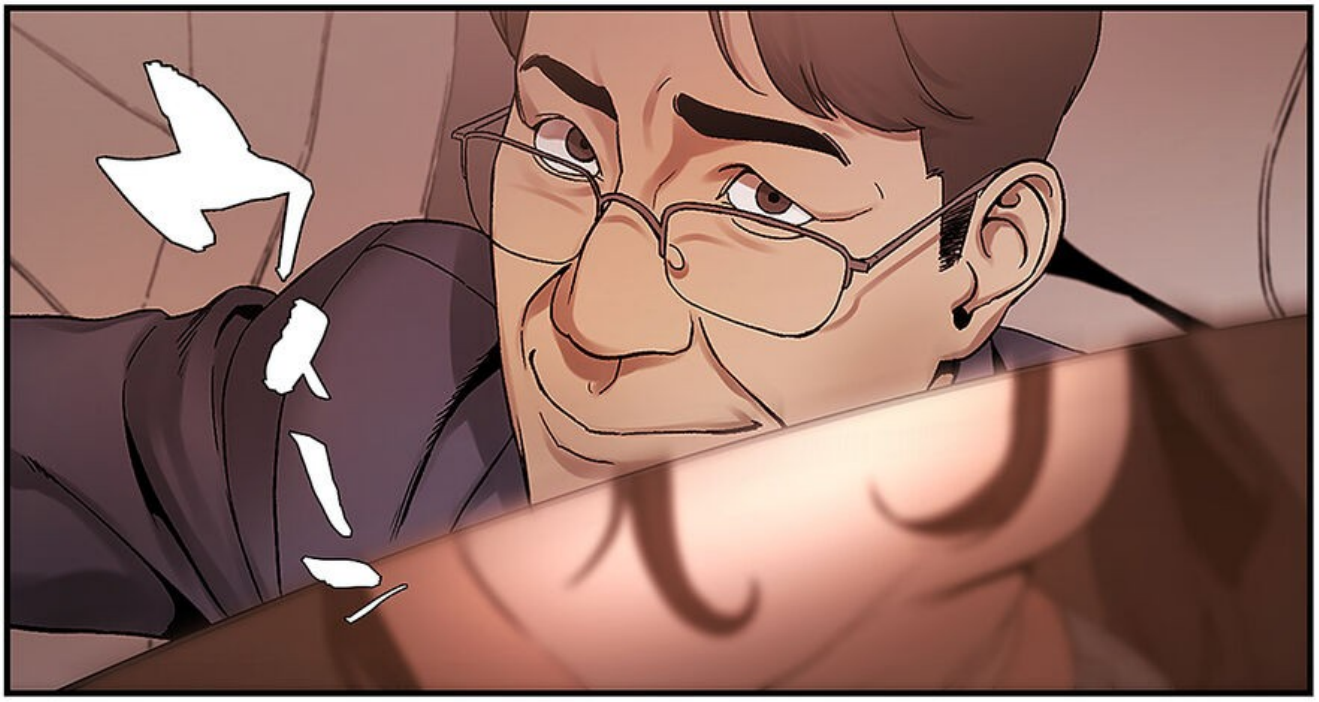
先生のココは…
いつもねっとり締めつけてきますよね
ふあああっ…!!
はん…!
はあん
うっ…!
ふあっ
他の男には本当にヤラせてないんですよね？
ま…まさか…
そん…なこと…うっ…

知ってますよ
先生には俺だけだってことですよね？
ああっ…
ふっ…
ズプ
ズプ
ズプ
ズプ



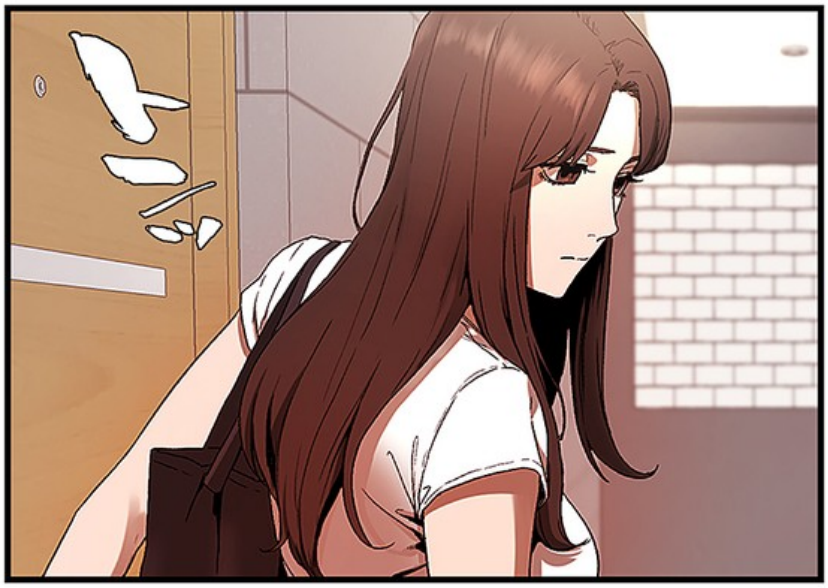
ブルーヒルマンション
BLUE HILL MANSION

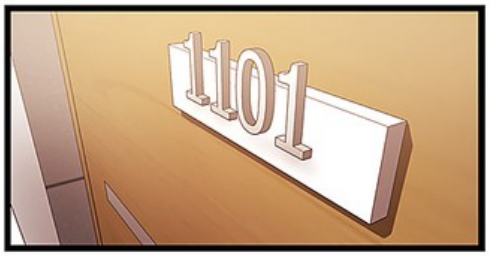

スッ

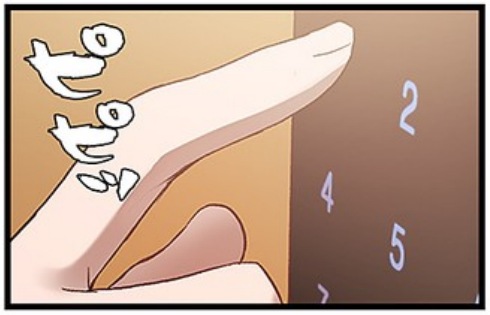

ふーー

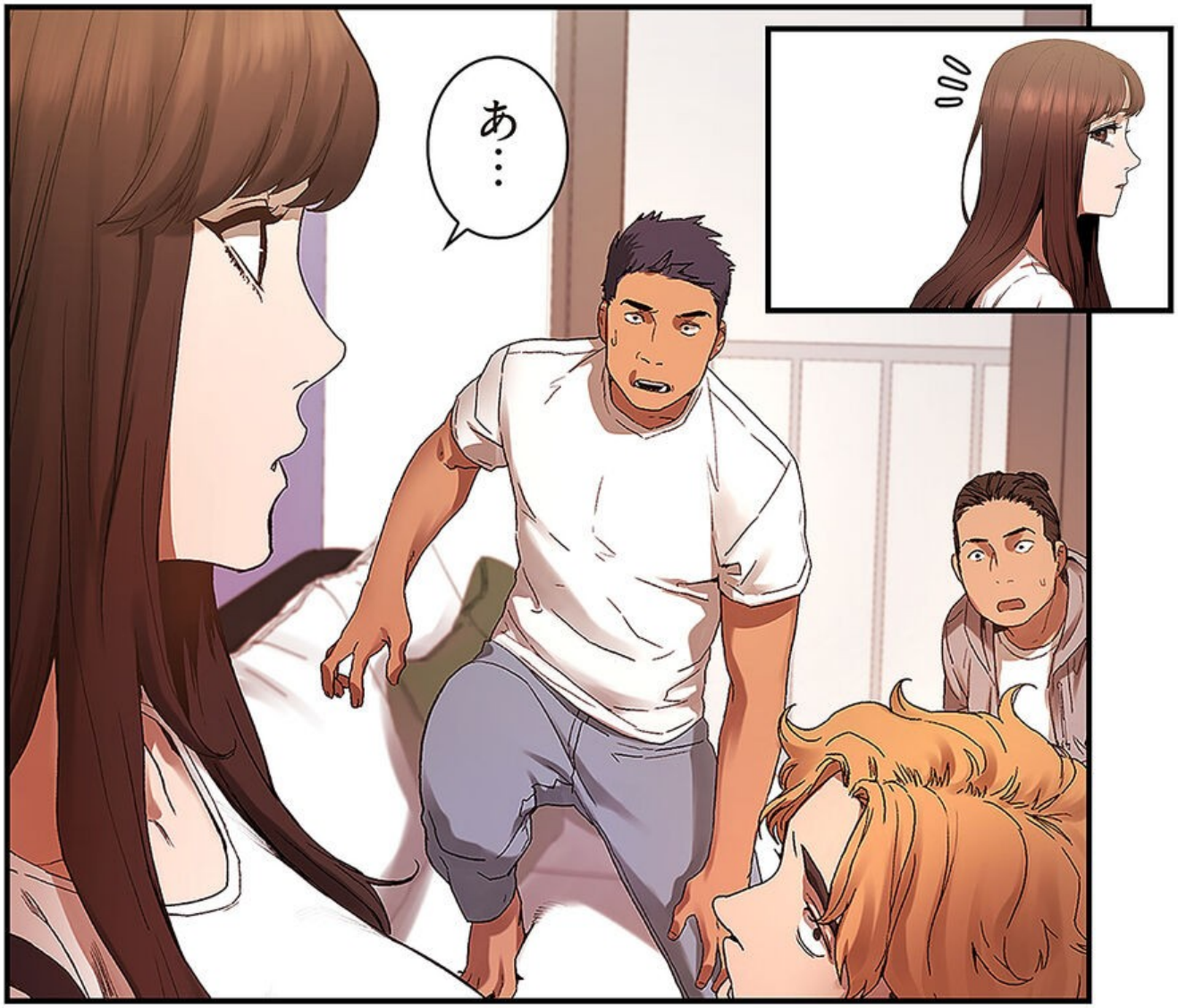
あ…
鏡見なくてもかわいいよ～キミ高校生？
このマンションに住んでるの？
い…いえそういうのはごめんなさい
……
チッガキが…

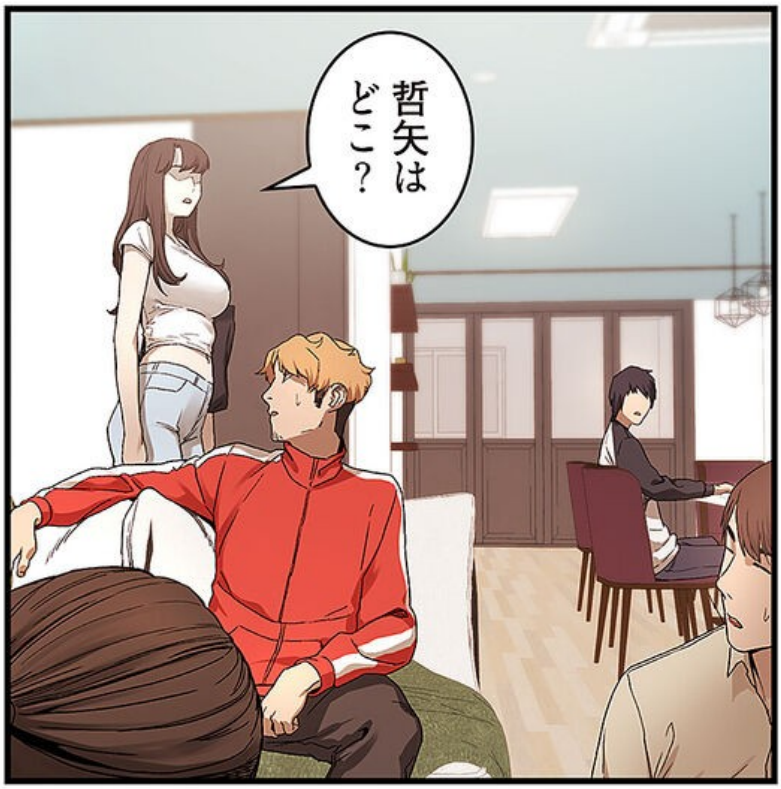
俺だって
かわいい嫁が
いるっての








ミミ
あ…


哲矢はどこ？

何…

はあっ
パ
パ
パ
はぁ
はぁ
はぁ

寝室ね？
日菜子ちょっと待て！
止めろ！
何よ放して！
はっ
うっ…！
ふ…不破君…
外が騒がしいけど…
ふあっ

ほっとけば
いいんですよ
なんでも
ありません
から
ふうっ…

哲矢ぁ
出てきなさいよ!!

生残賭博

生残賭博

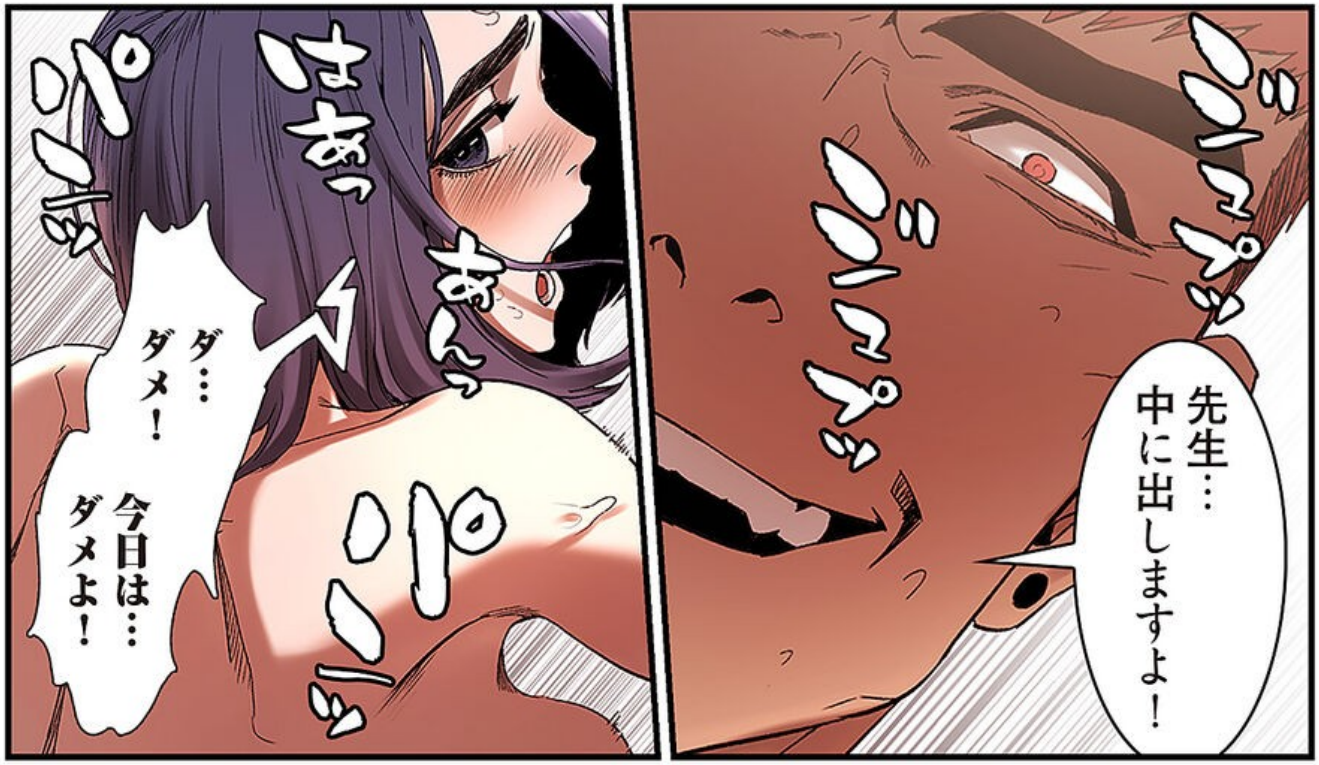
はあっ…

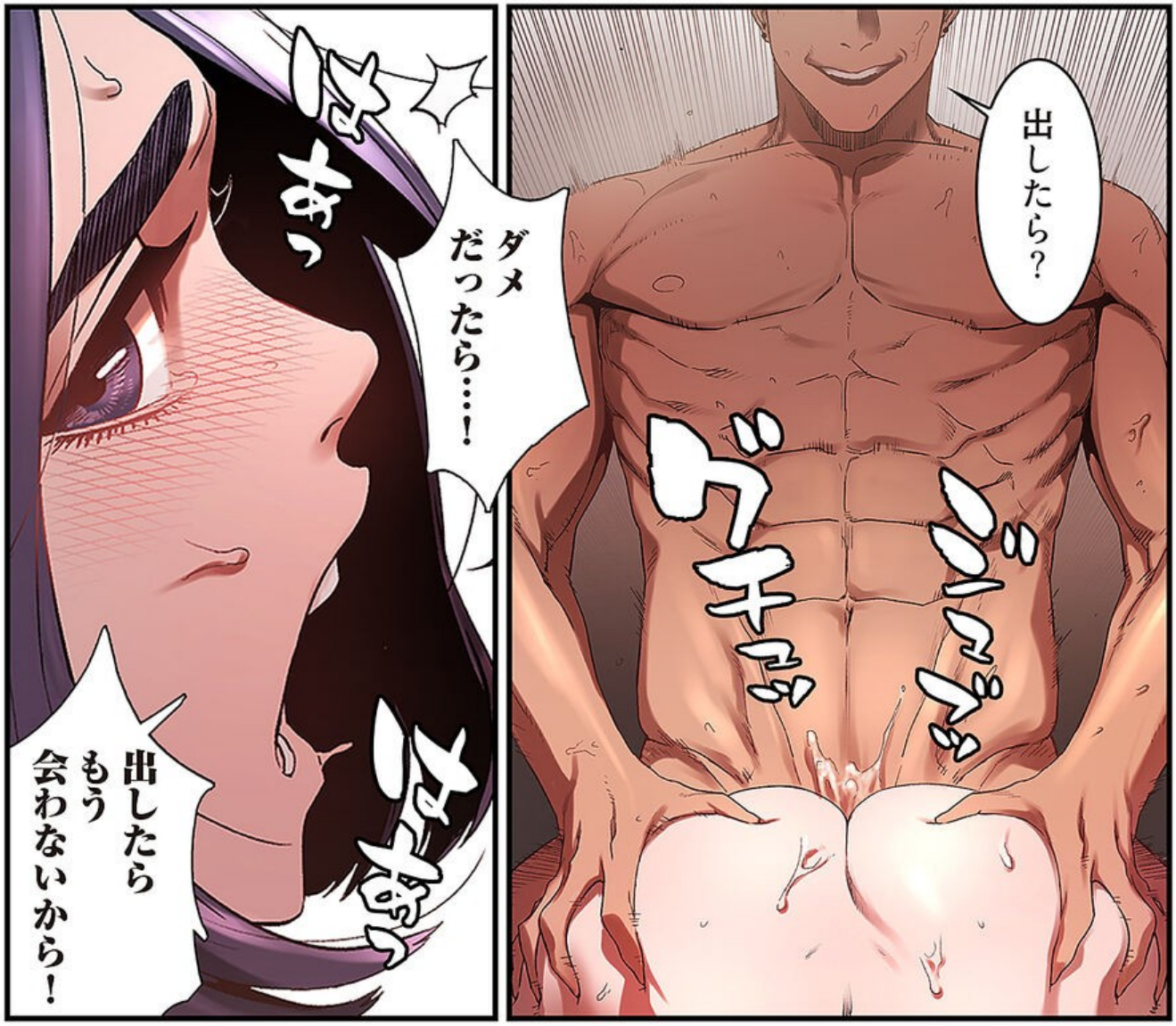
パンパンパンパン

うっ

ジュプ
ジュプ

あ…あっ…


先生…
中に出しますよ！
ジュプッ
ジュプッ
ダ…
ダメ！
今日は…
ダメよ！
あっ
あんっ
パン
パン


出したら？
ダメ
だったら…！
出したら
もう
会わないから！
ジュプッ
グチュッ
はあっ
はあっ

…ホントに俺と会わずにいられるのか？

パン

パン

ダメ…うっ…

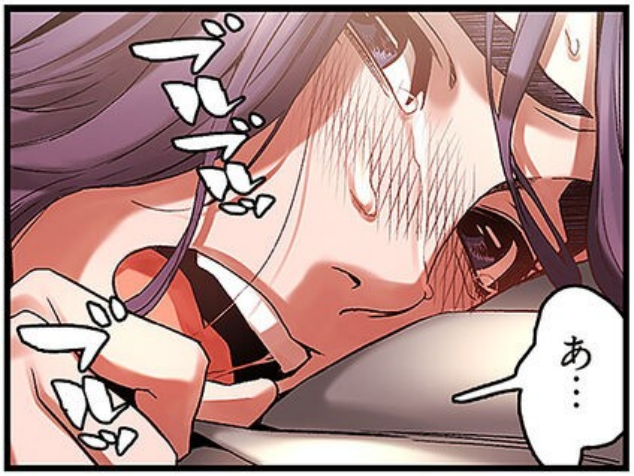
はあ…お願いだから…不破く…ん

パン

パン

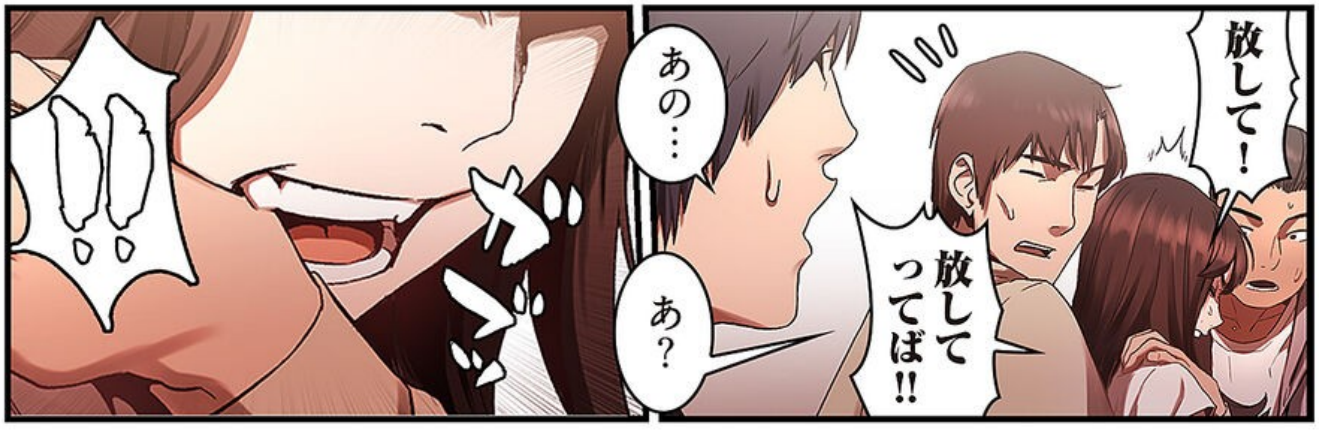
やめて…！

イクぞ！
ズブ
ズブ
ドピュ
ドピュ
ドピュ
ドピュ


あ…

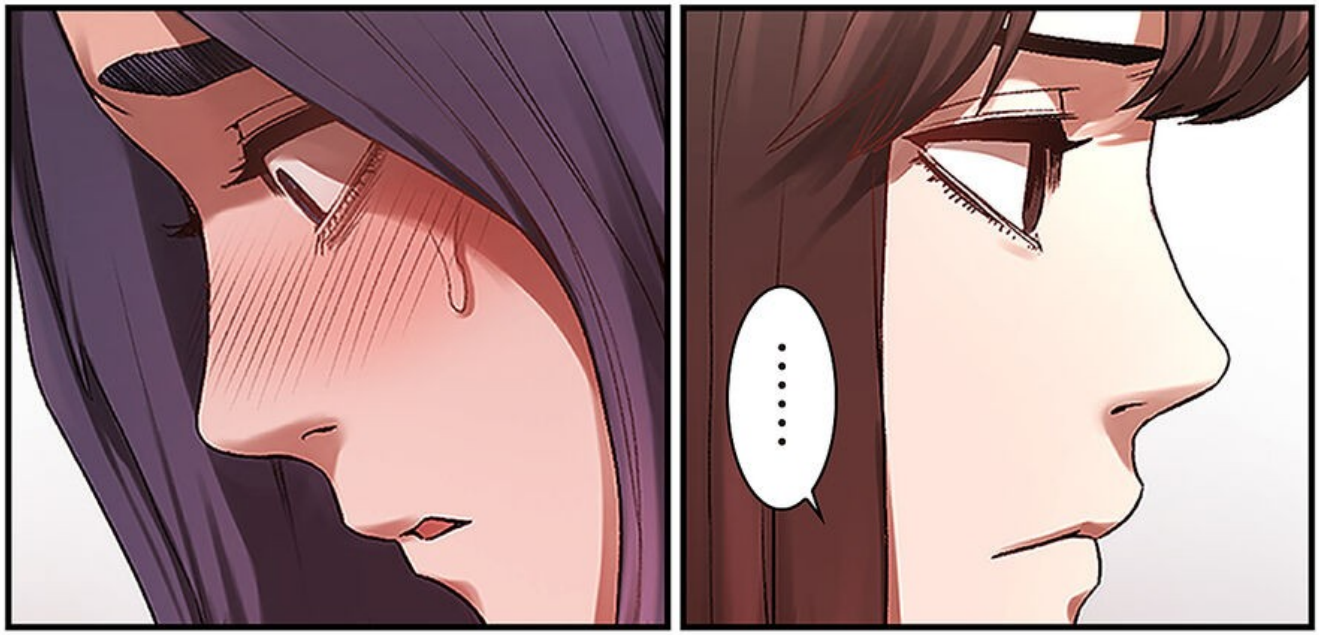
ふう…

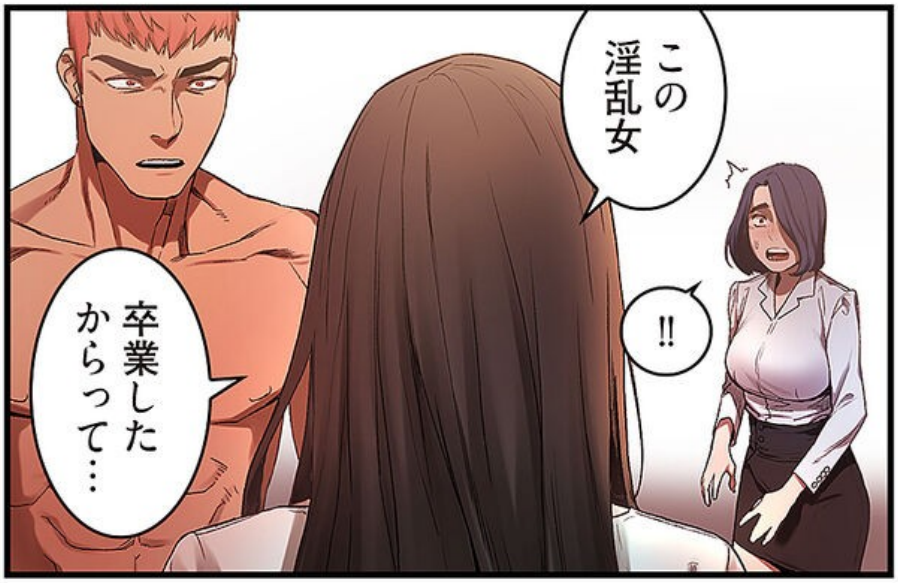
外に出したから…
また会ってくれますよね？


放して！
放してってば!!
あの…
あ？

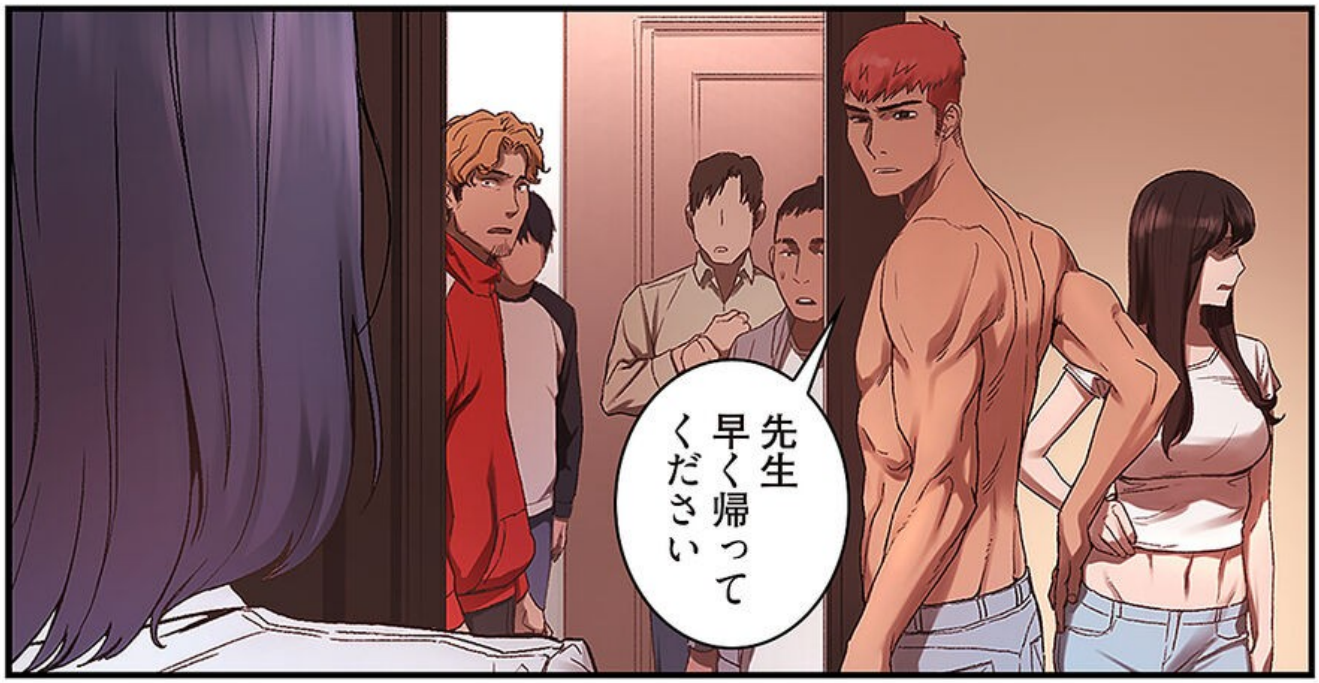
いてっ!!
ガチャ
ドン!!

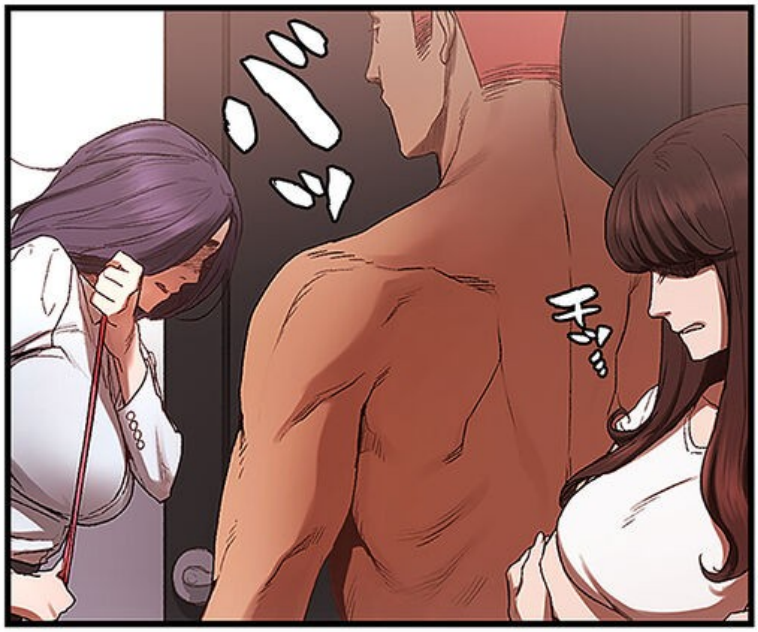
あ…
日菜子
勝手に
入ってくん
じゃねぇよ


……


この淫乱女
!!
卒業したからって…

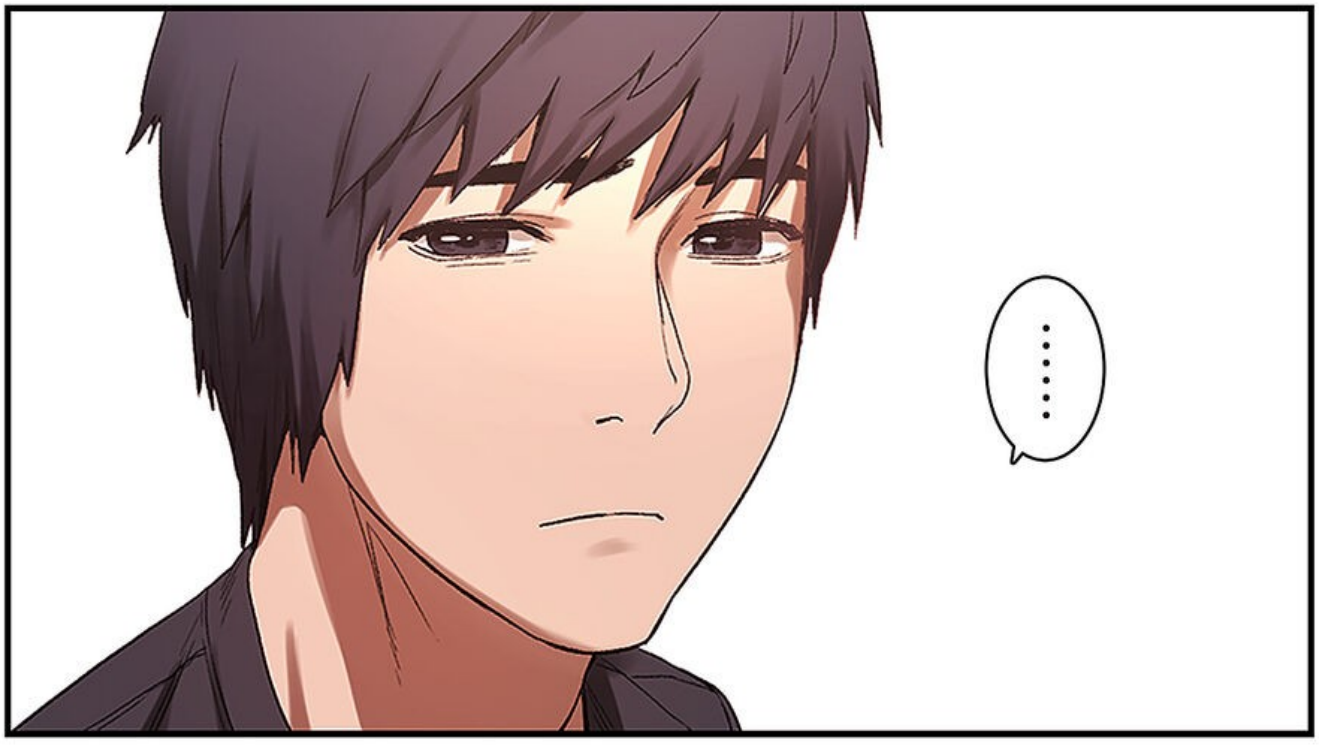
先生として恥ずかしくないの？
やめろ！


先生早く帰ってください


ジッ
チッ

ワワワ

……


……

哲矢！
どうして こんなことが できるの!?

なんだよ！ 俺が何したっ てんだ！
サイテー！ この状況で バレてない とでも 思ってるの？

俺が何したか 直接 見たのかよ！
知るか 俺は 何もしてねえ！
見なくても わかるに 決まってる でしょ！
下着の女がいて 何もなかったで 通じると 思ってんの？

ここで そんなこと しないでよ！

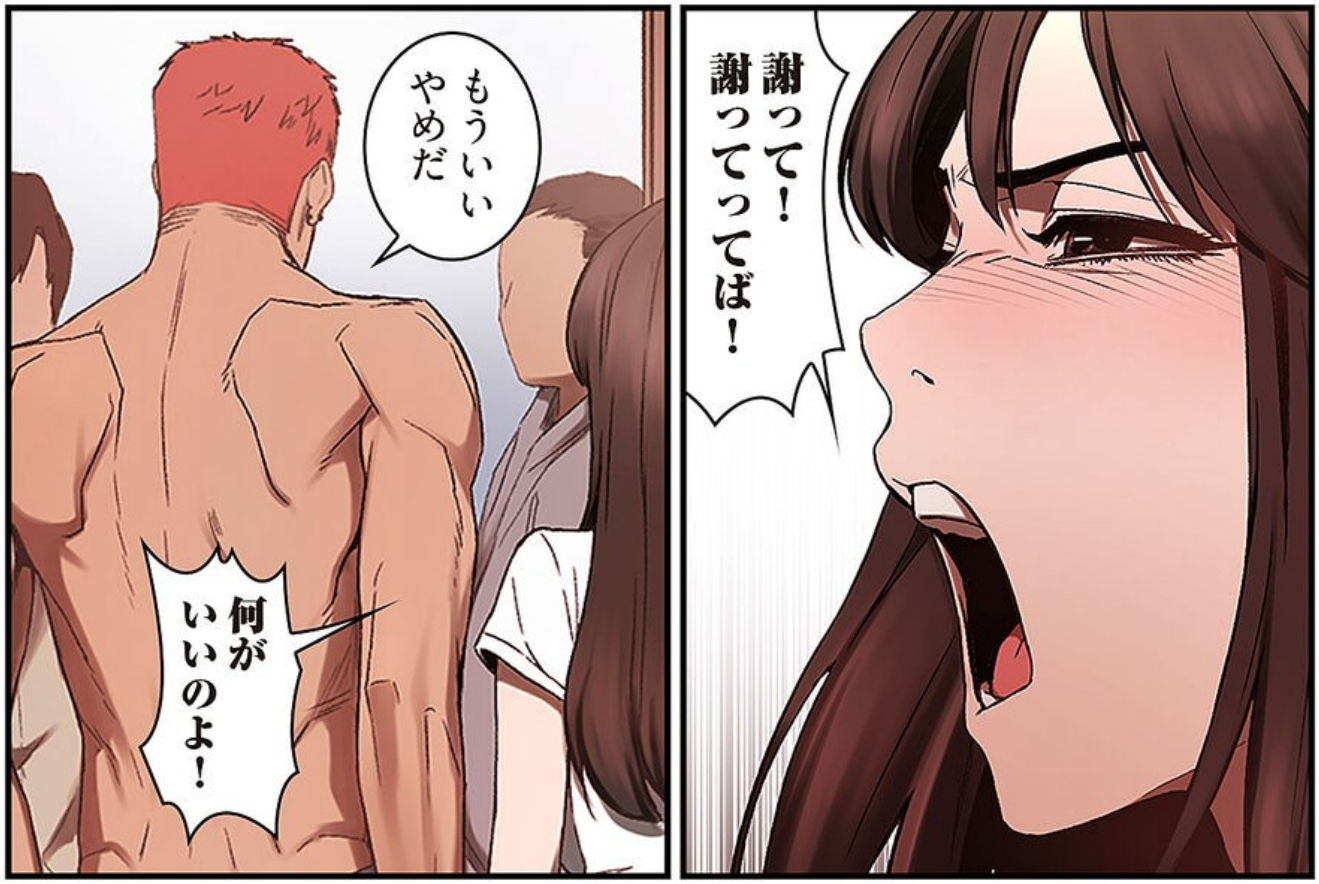
ここ？

ここはお前のマンションなのか？

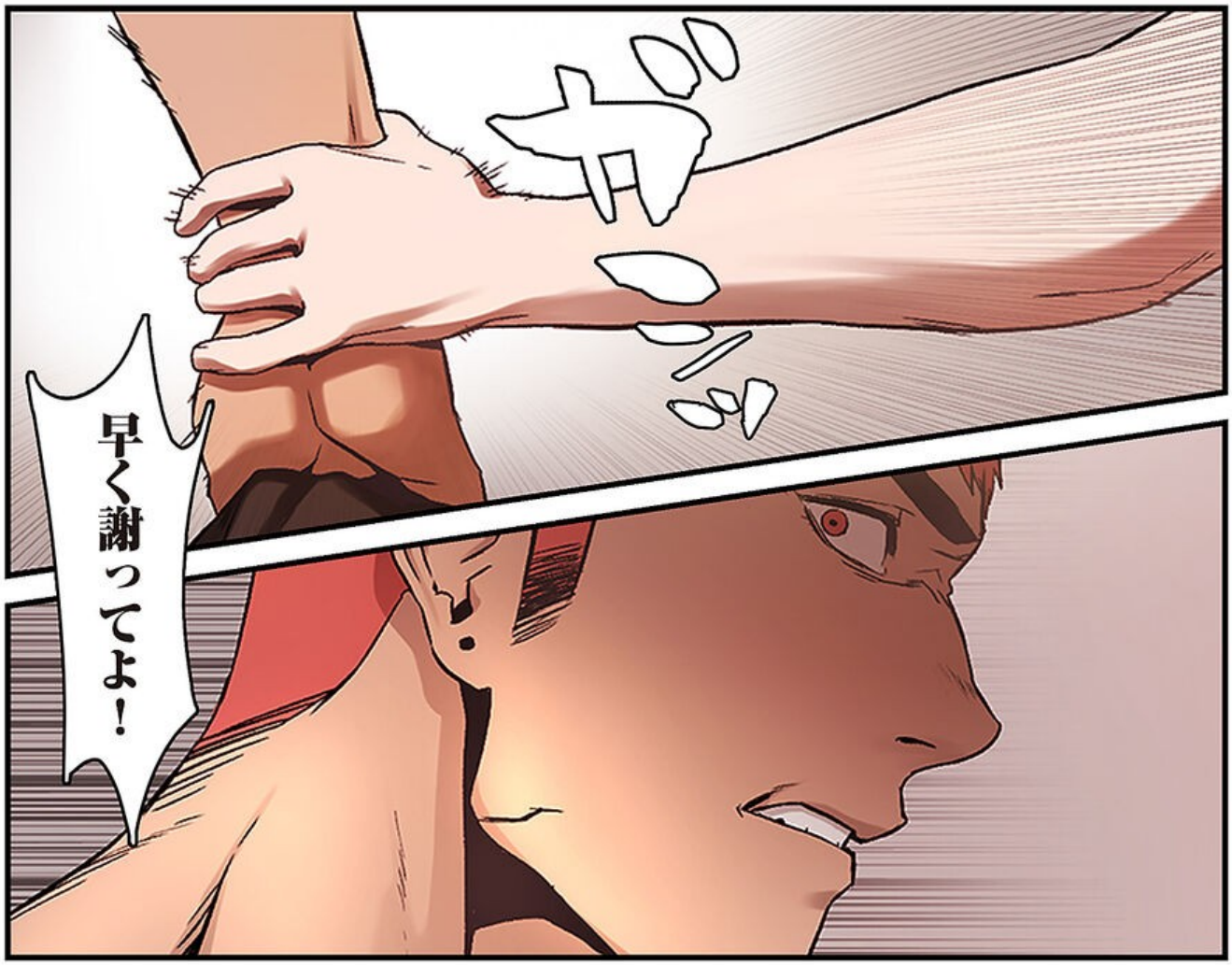
約束したじゃない

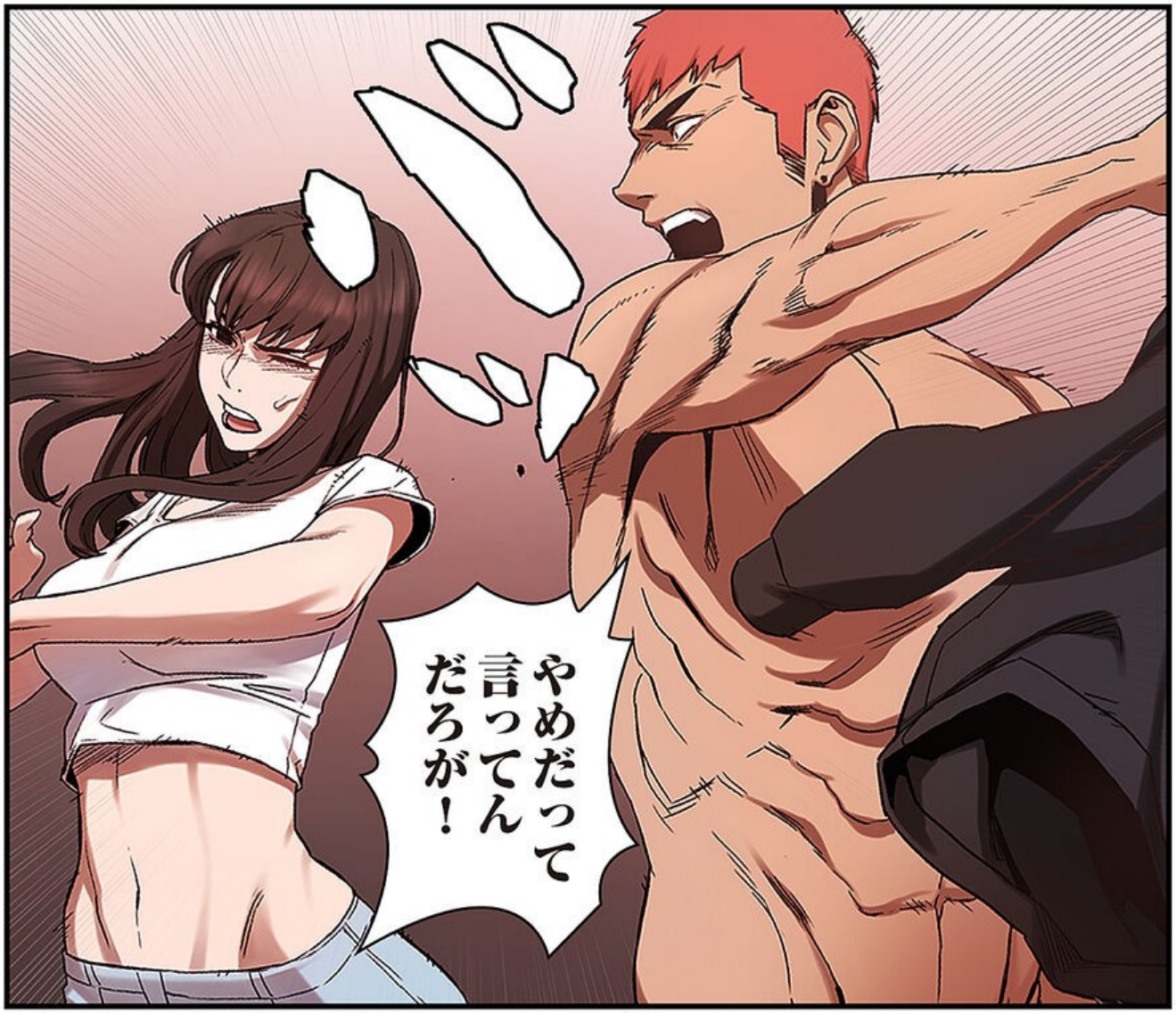
私の目の前ではダメだって

……

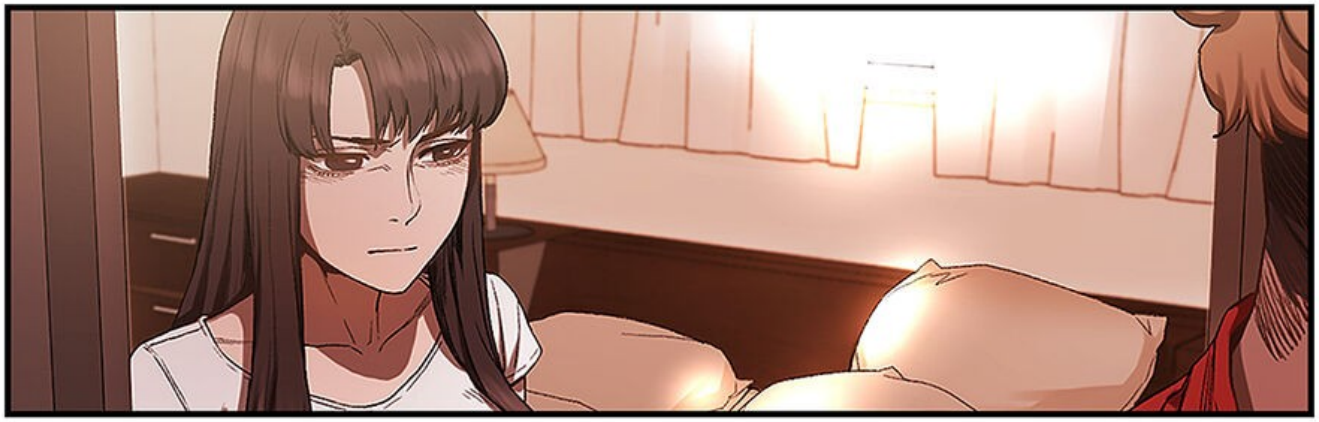

謝って！
謝ってってば！

もういい
やめだ
何が
いいのよ！

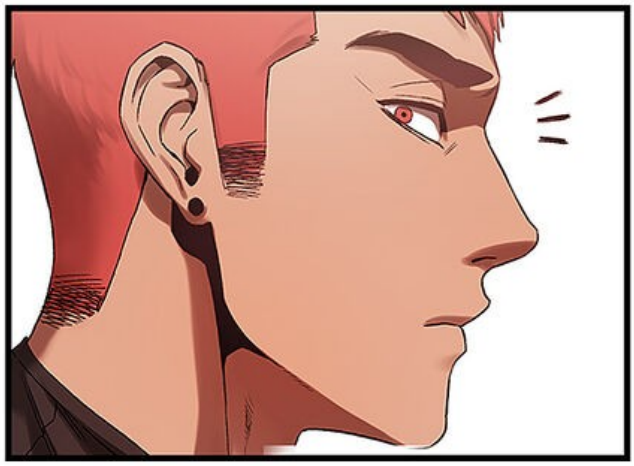

ガシッ
早く謝ってよ！

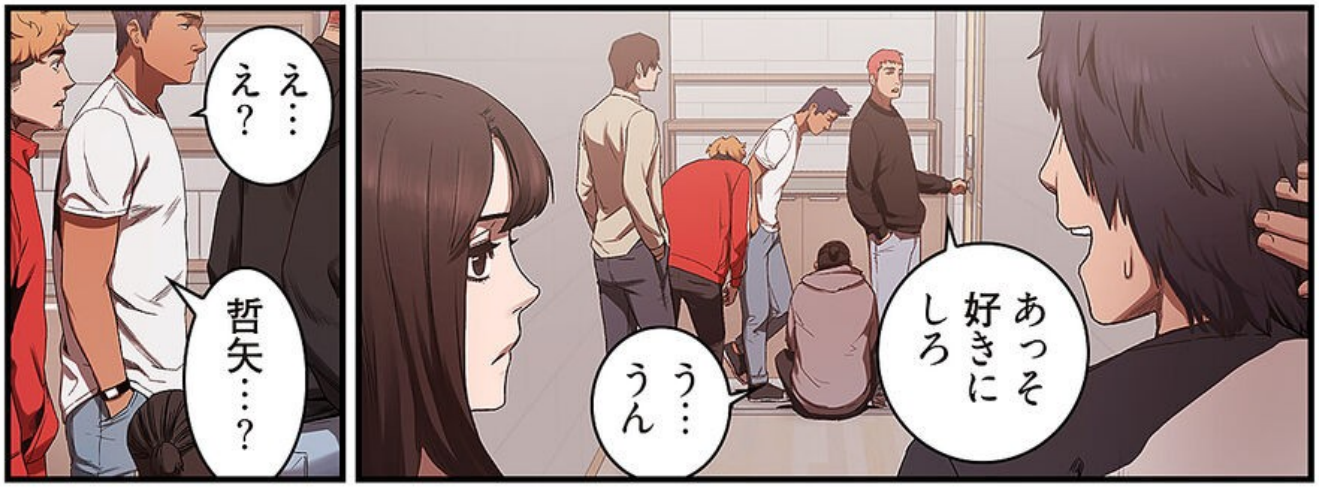

ビビ
やめだって言ってんだろが！

おい 何してんだ 漫喫いって 飲みにいくぞ
あ…ああ そうだな

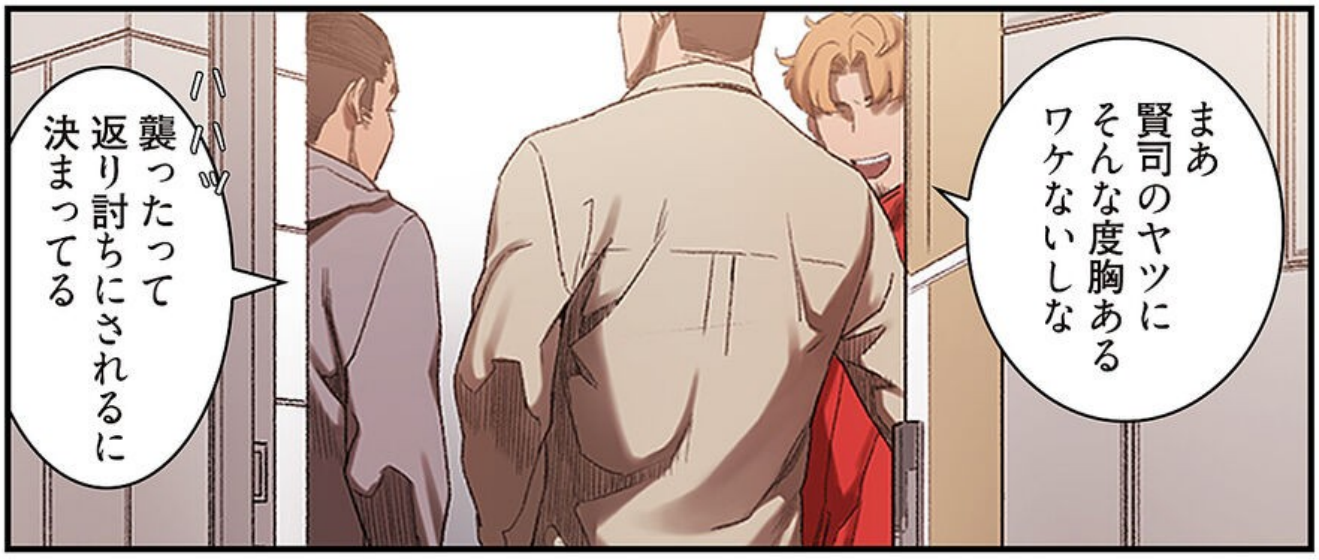


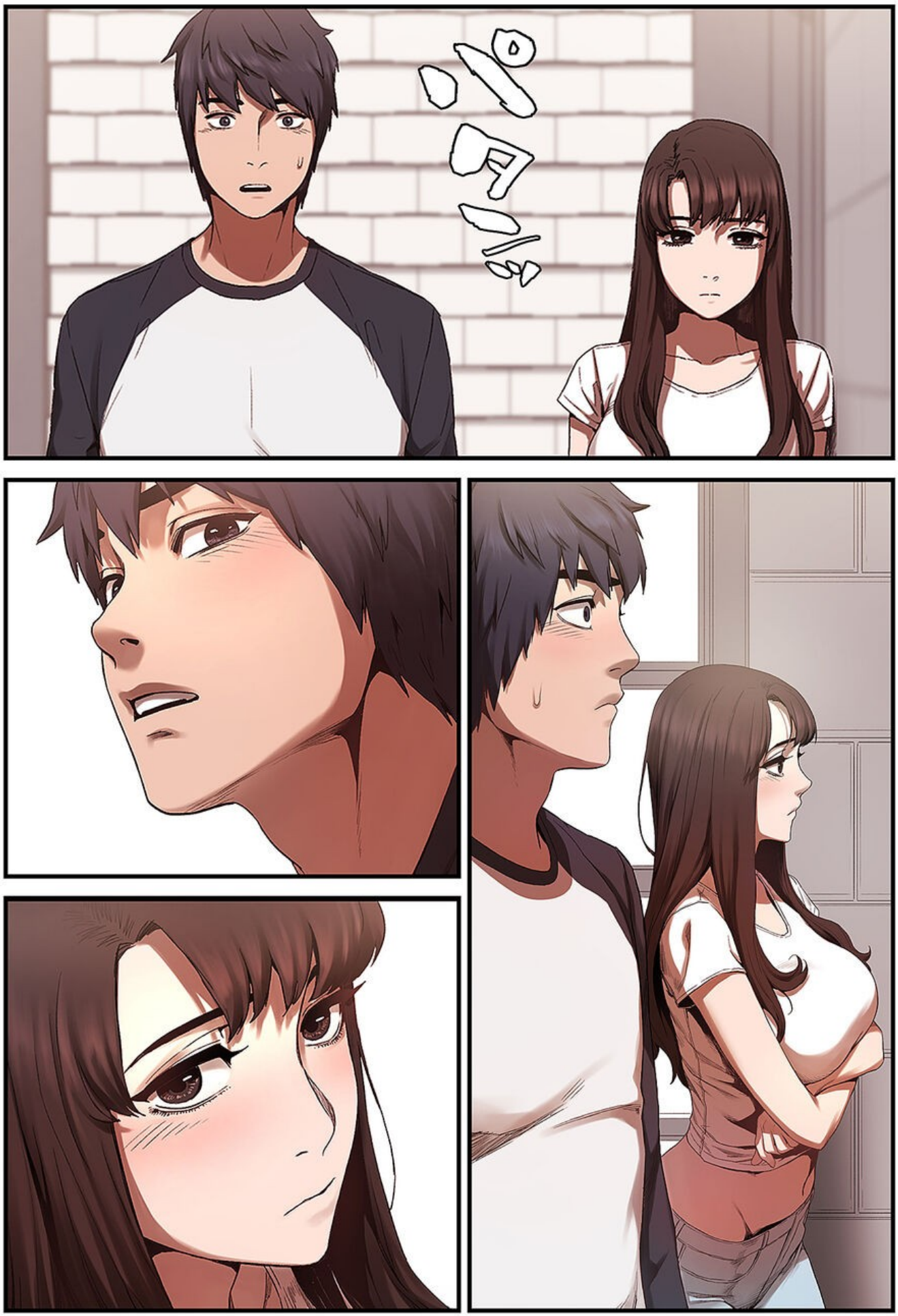
哲矢！
逃げるの？卑怯よ
逃げねぇよ なんなら一緒にいくか？

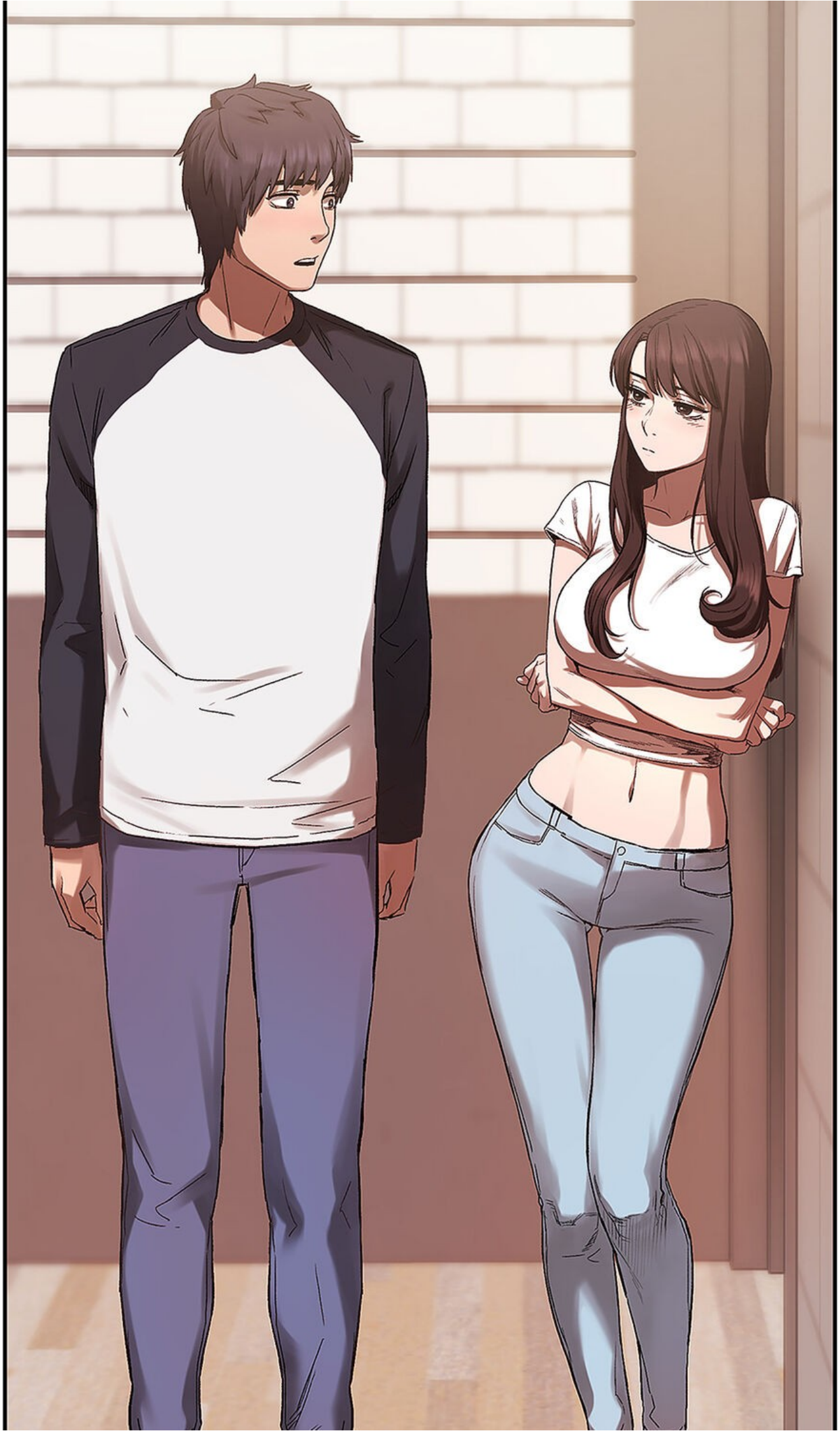



あっそ
好きに
しろ
う…
うん
え…
え？
哲矢…？

あいつら
二人にして
いいのか？
哲矢が
いいなら
いいじゃねぇか


まあ
賢司のヤツに
そんな度胸ある
ワケないしな
ハハッ
襲ったって
返り討ちにされるに
決まってる

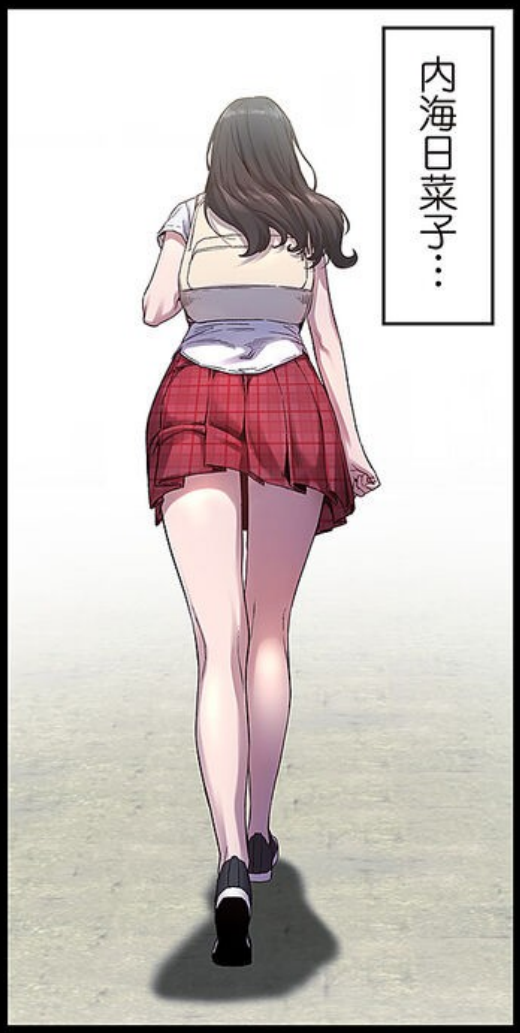

パタン



生残賭博

日菜子…

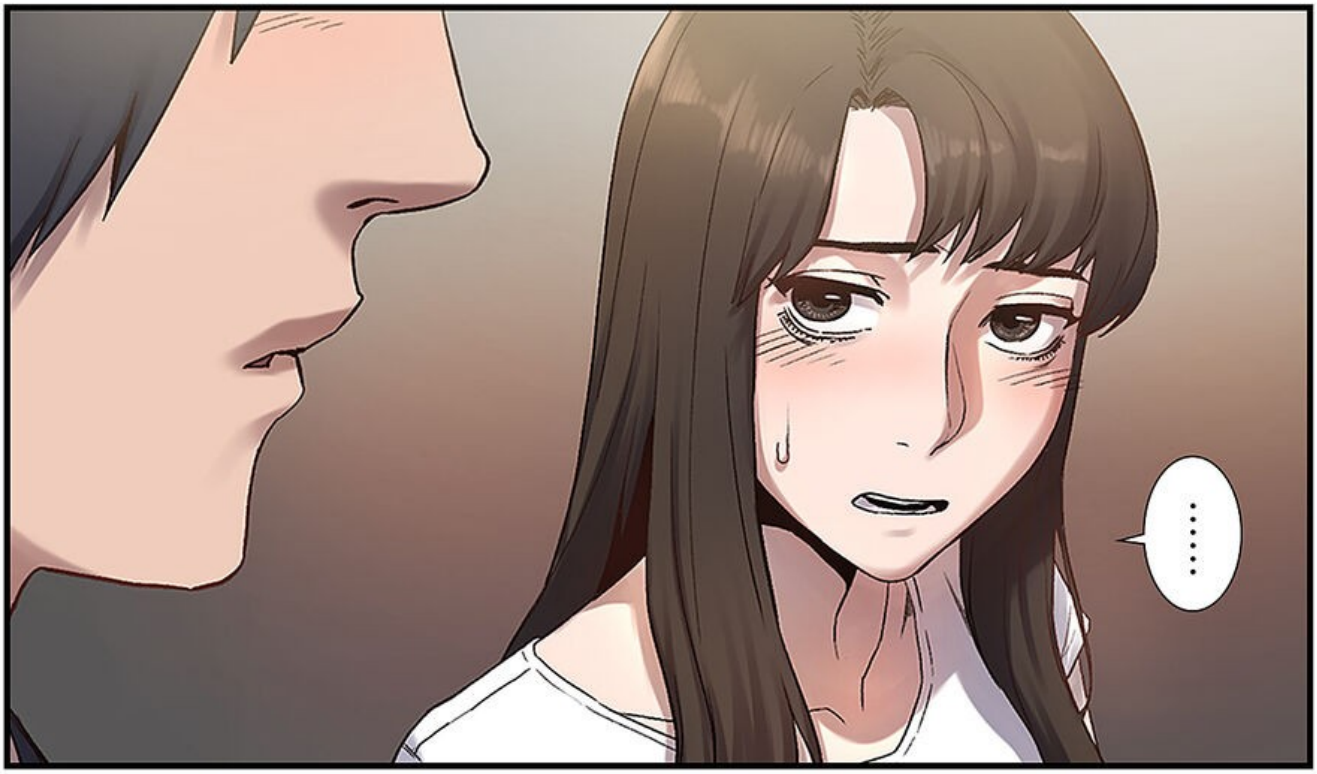
第3話 僕の女王

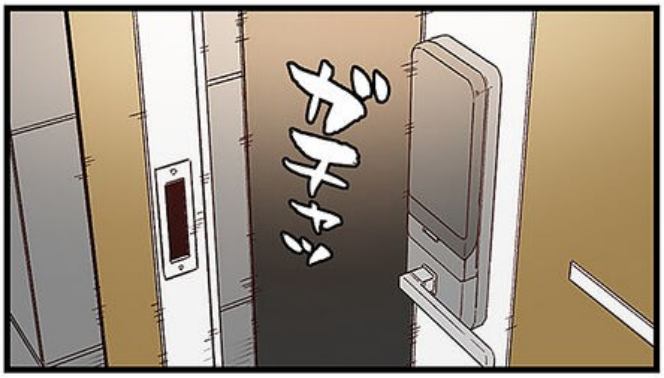

内海日菜子…

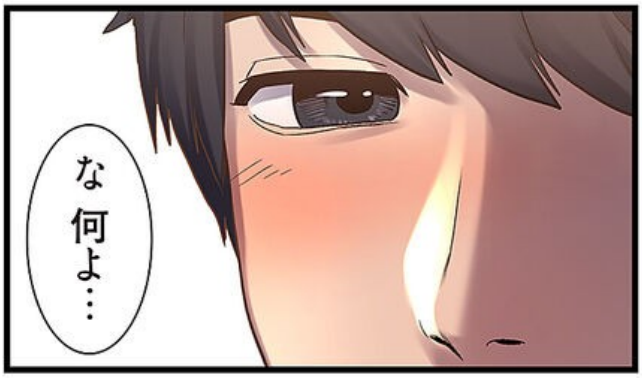
おい内海だぜ
後ろ姿すら神々しいな
あいつうちの学校一の美人だろ？
うちだけじゃねえよ俺あいつよりかわいい子見たことねえもん

ドクン

僕の夢の中の女王

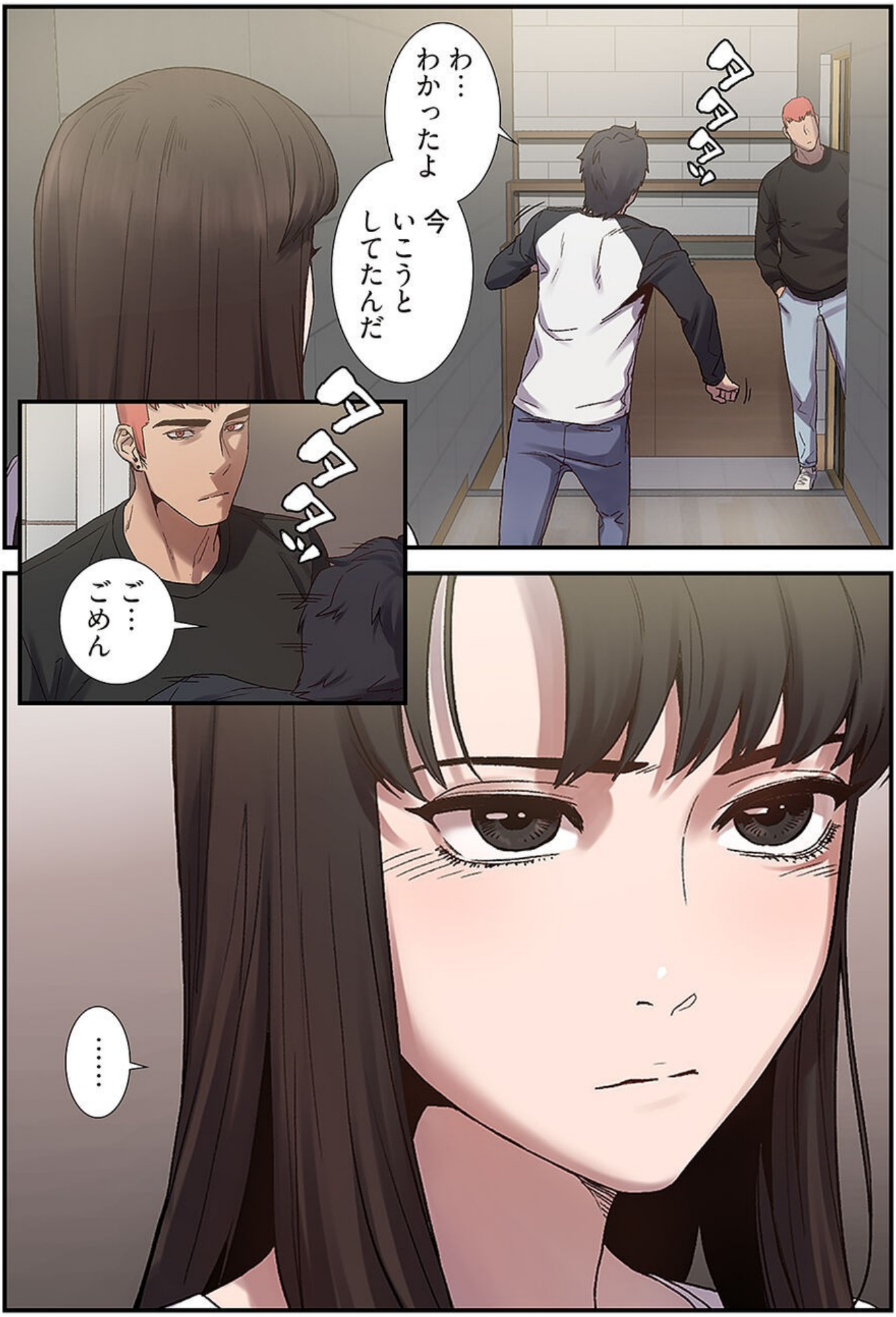

……


ガチャッ


な何よ…

あ…
うん！
ビクッ

賢司
さっさと
来いよ！


わ…
わかったよ
今
いこうと
してたんだ
ご…
ごめん
……

賢司…！
お前もホント
バカだよな～

哲矢が許可
したからって

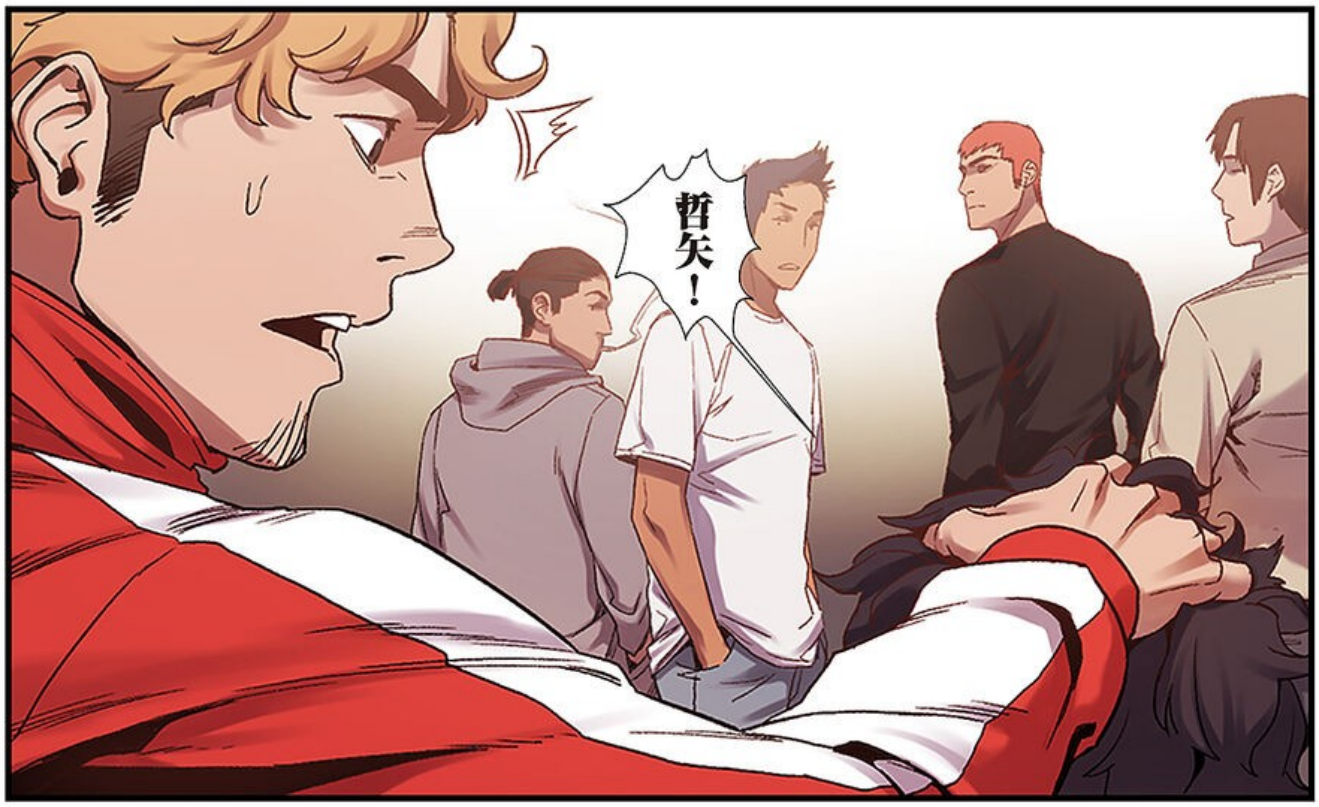
ブイッ

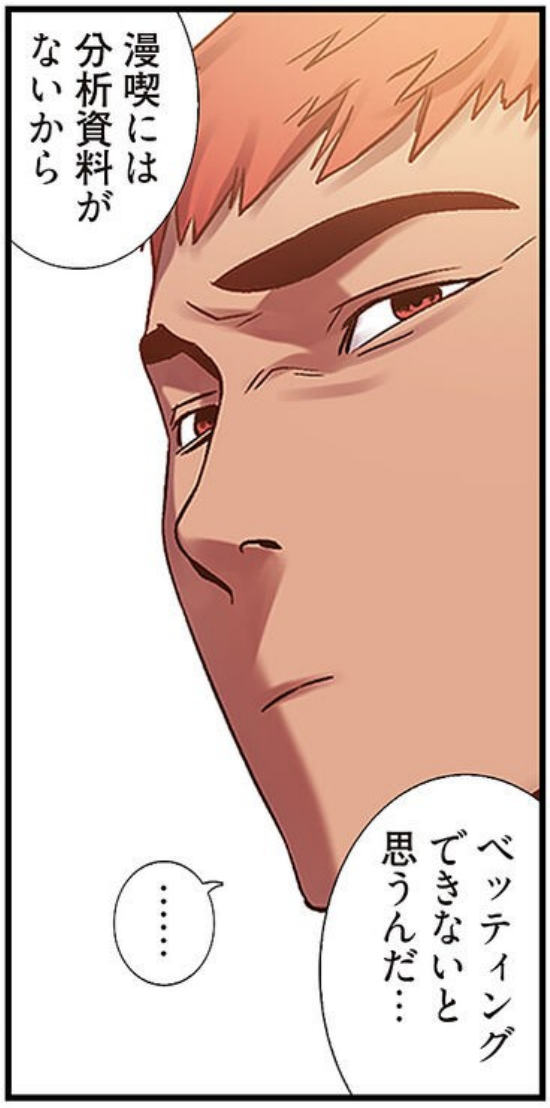
マジで日菜子と
二人でいるつもり
だったのか？

ブンブンブンブン

ま～ったく

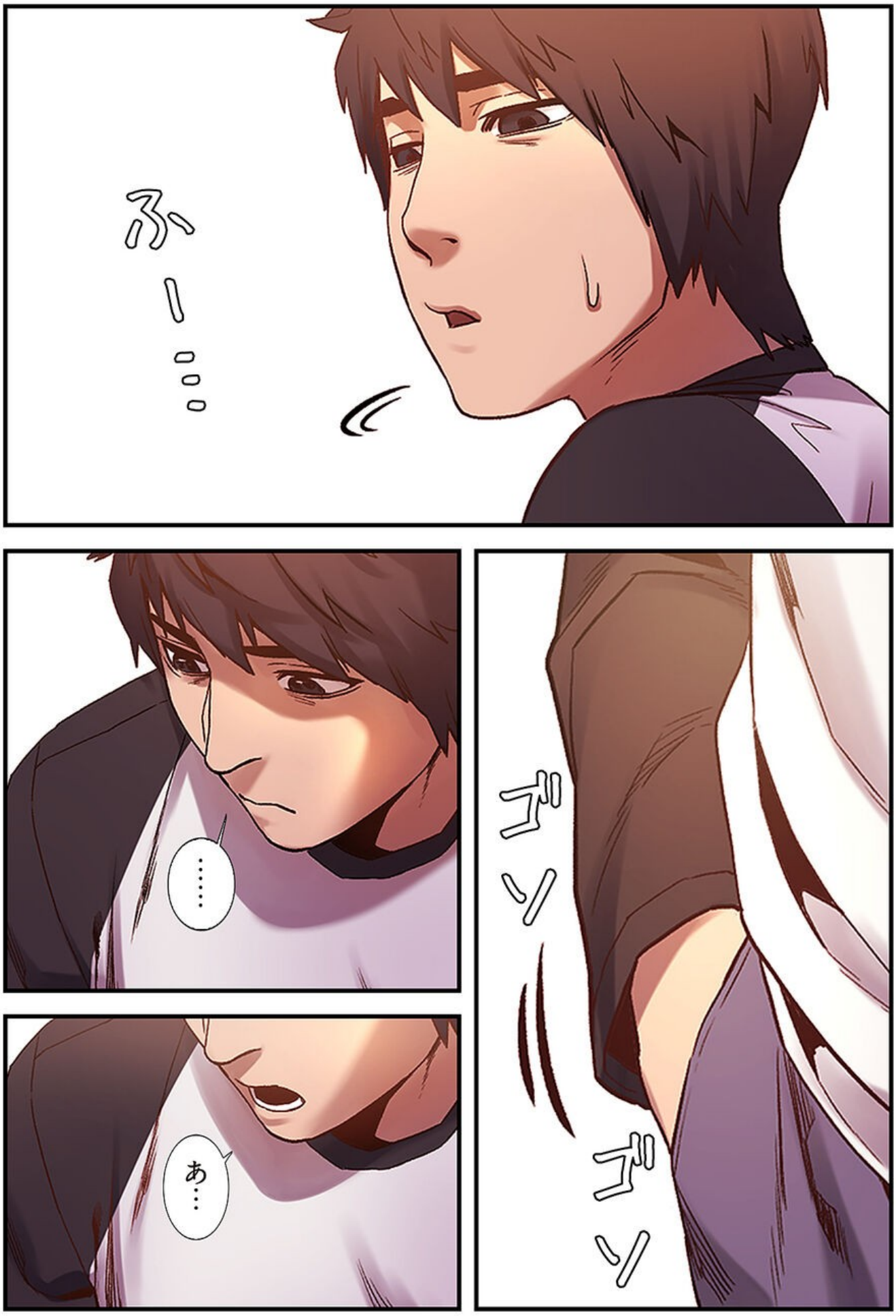
陰キャは
陰キャらしく！
空気くらい
読めよ

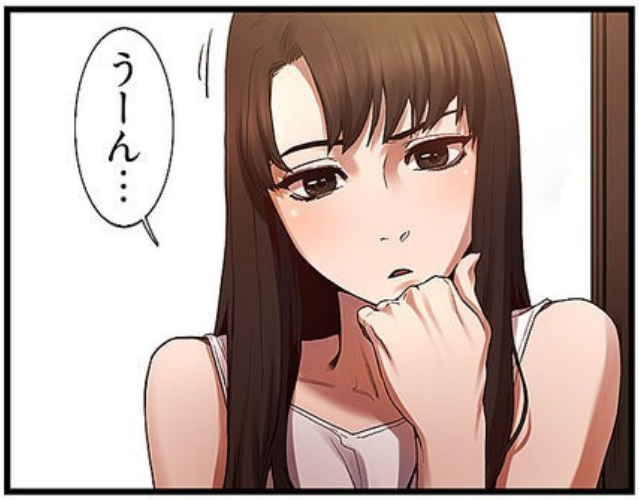

哲矢！

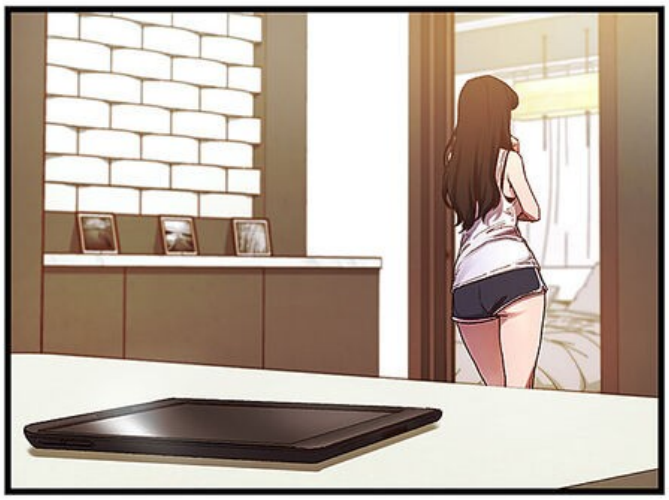

漫喫には分析資料がないから
ベッティングできないと思うんだ…
……

自分の家に帰ってやったらダメかな？
昨日の夜サッカー見ててあんまり寝てないんだ

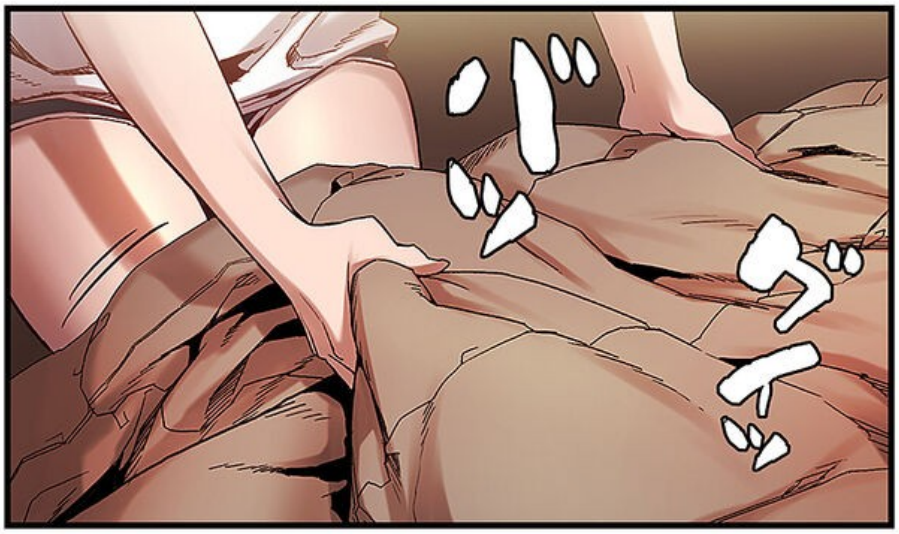
明日な


ふーー…
……
あ…
ゴソ
ゴソ


うーん…



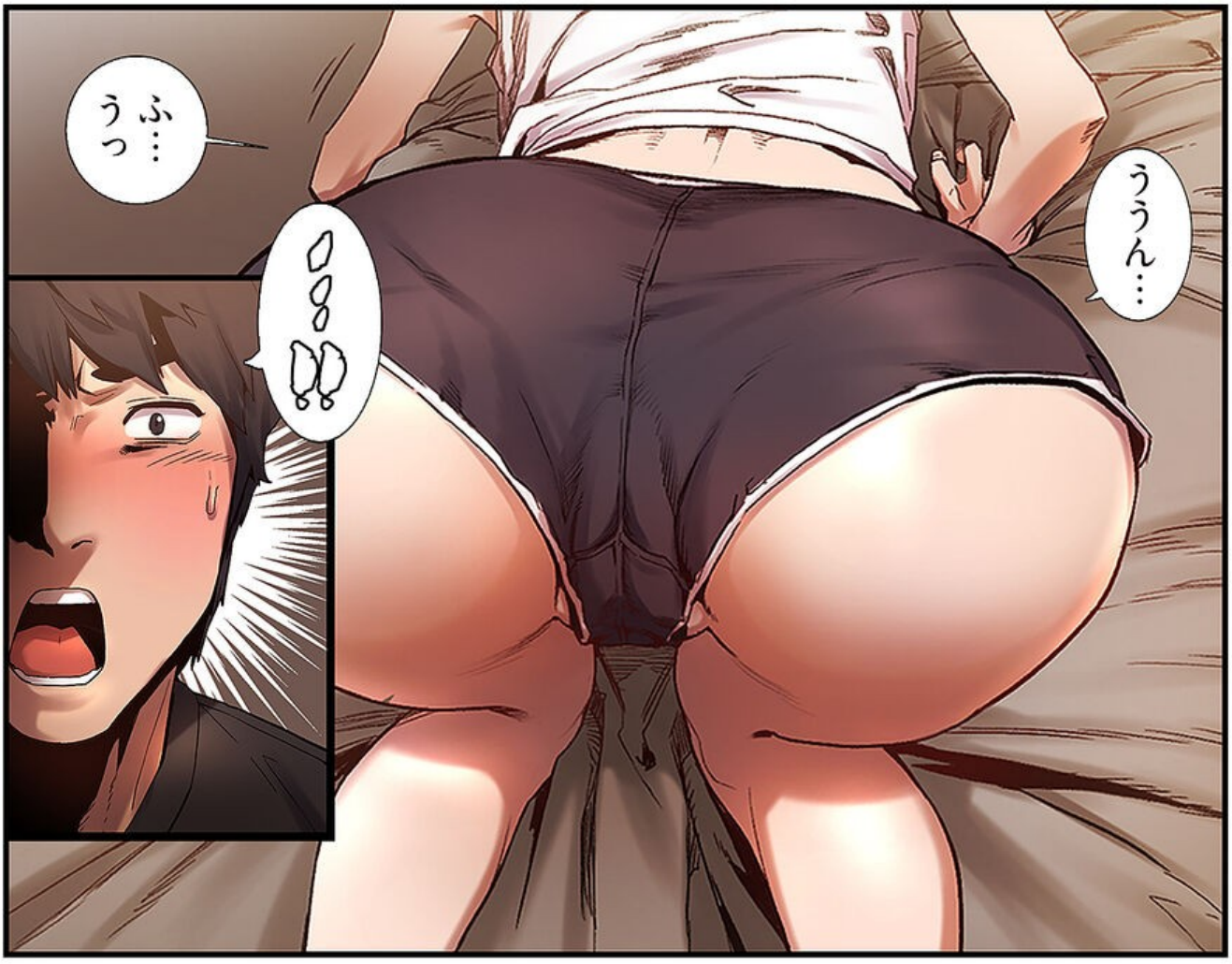
よいしょっと


ゴッ
ゴイッ

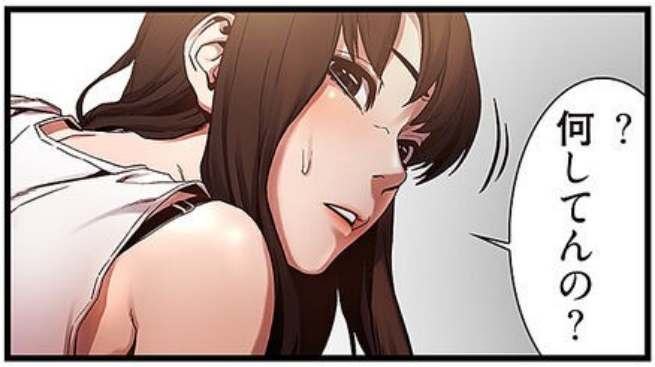
あ…

え？

あ…僕ここにスマホ置いてきちゃって…
ちょうどよかったちょっときて
!?

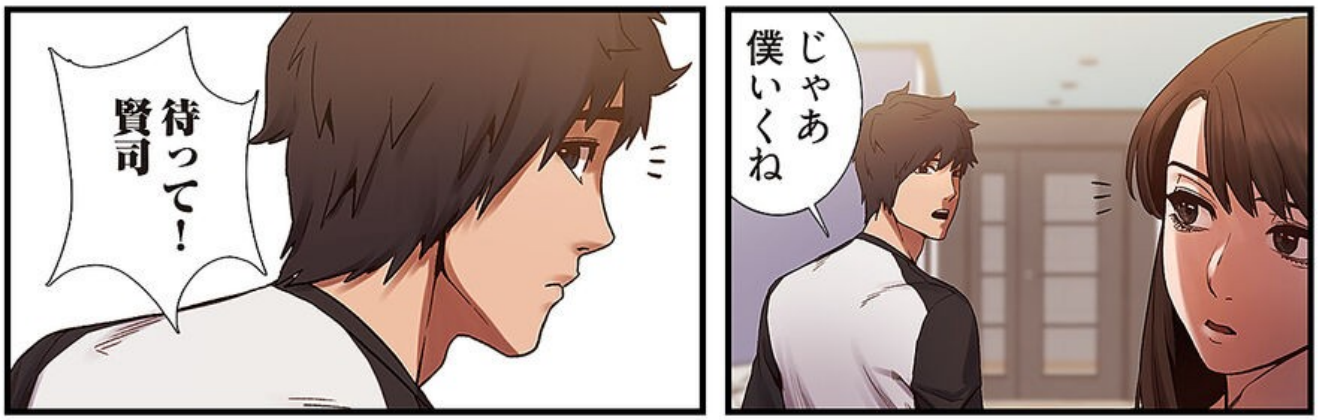

ううん…
ふ…うっ
!!!!!

もう…
まったく
マットの下に
挟まってて
抜けないの
シーツが…
んっ！
あ…
あわわ…
ゴ！
ゴ！



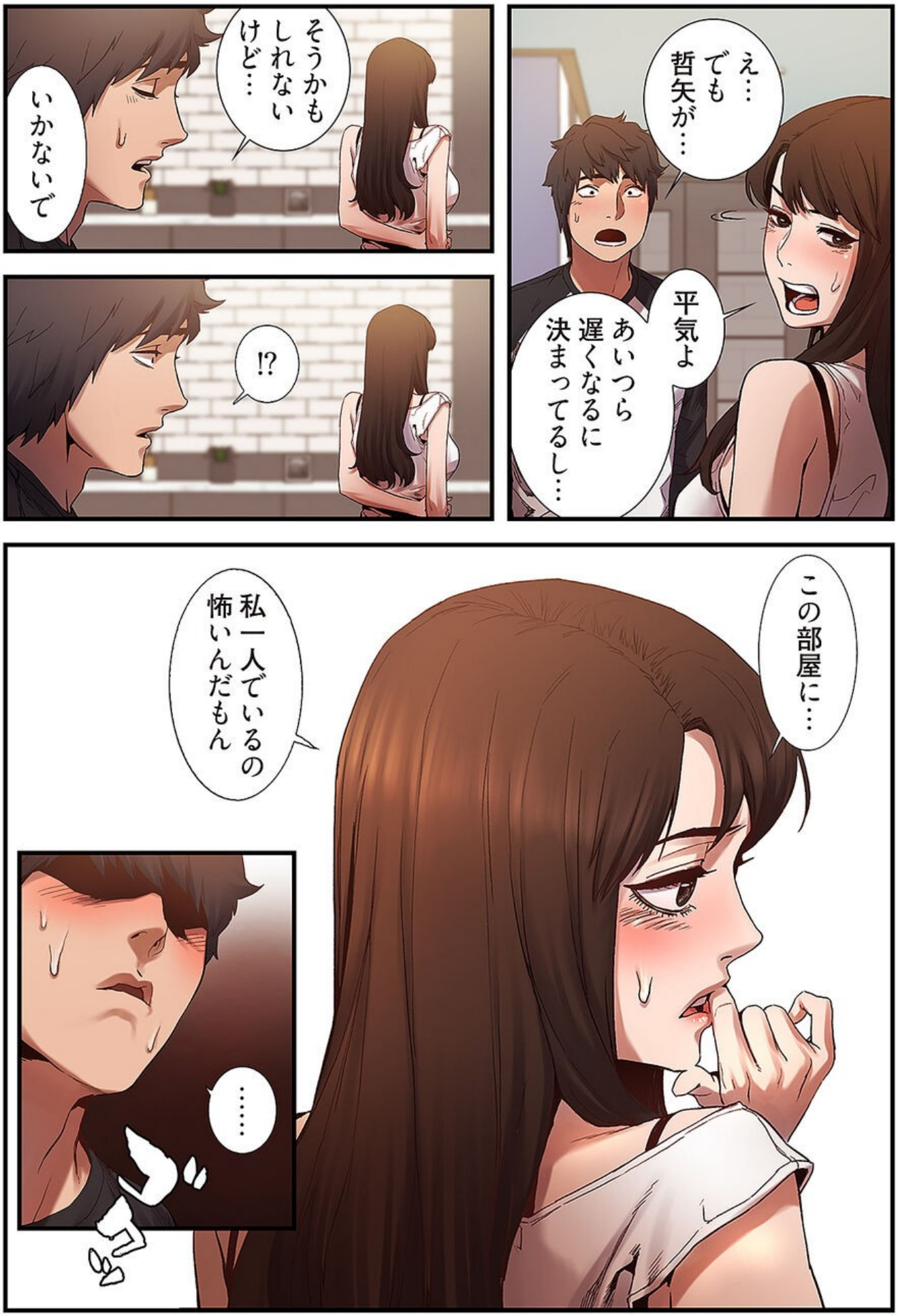
ドン!
ううん…

これでよし
汚い痕跡なんか絶対残したくないからね



い…
いかないで
一緒にいてよ

最初は
ここにいる
つもりだった
じゃない

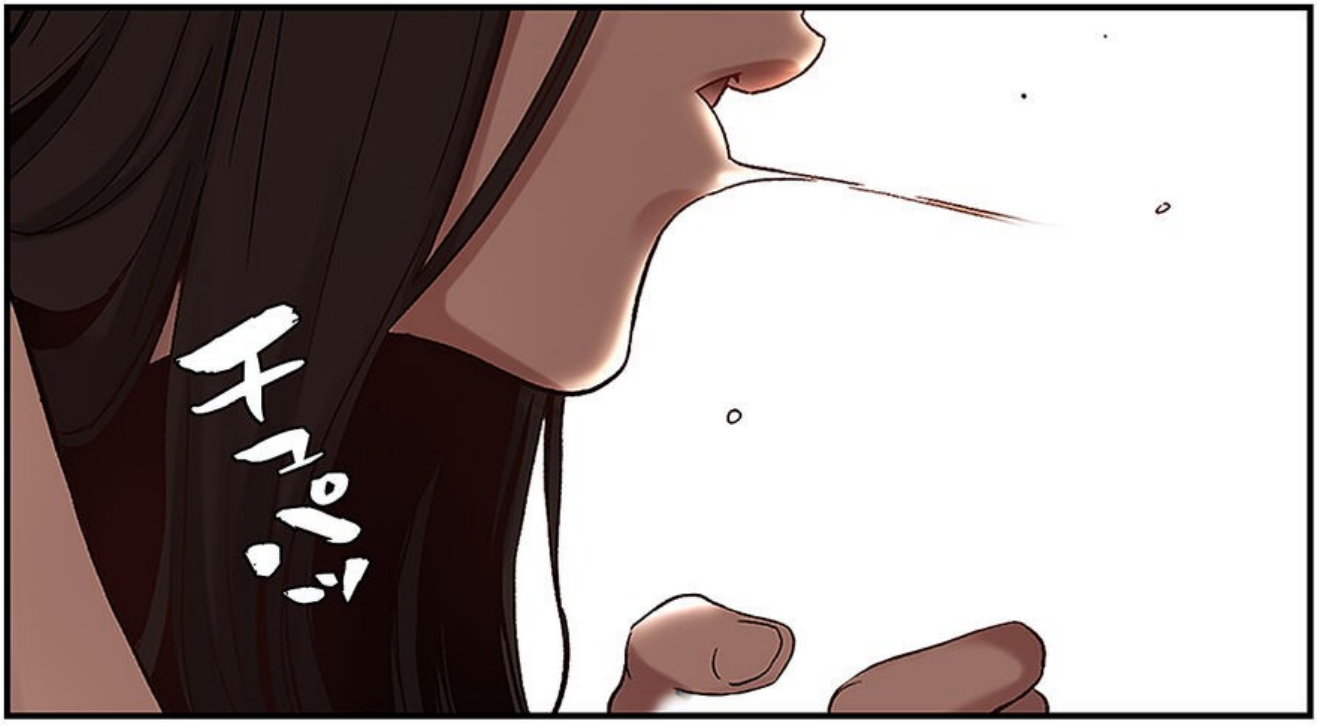

え…
でも
哲矢が…
平気よ
あいつら
遅くなるに
決まってるし…
そうかも
しれない
けど…
いかないで
!?
この部屋に…
私一人でいるの
怖いんだもん
……

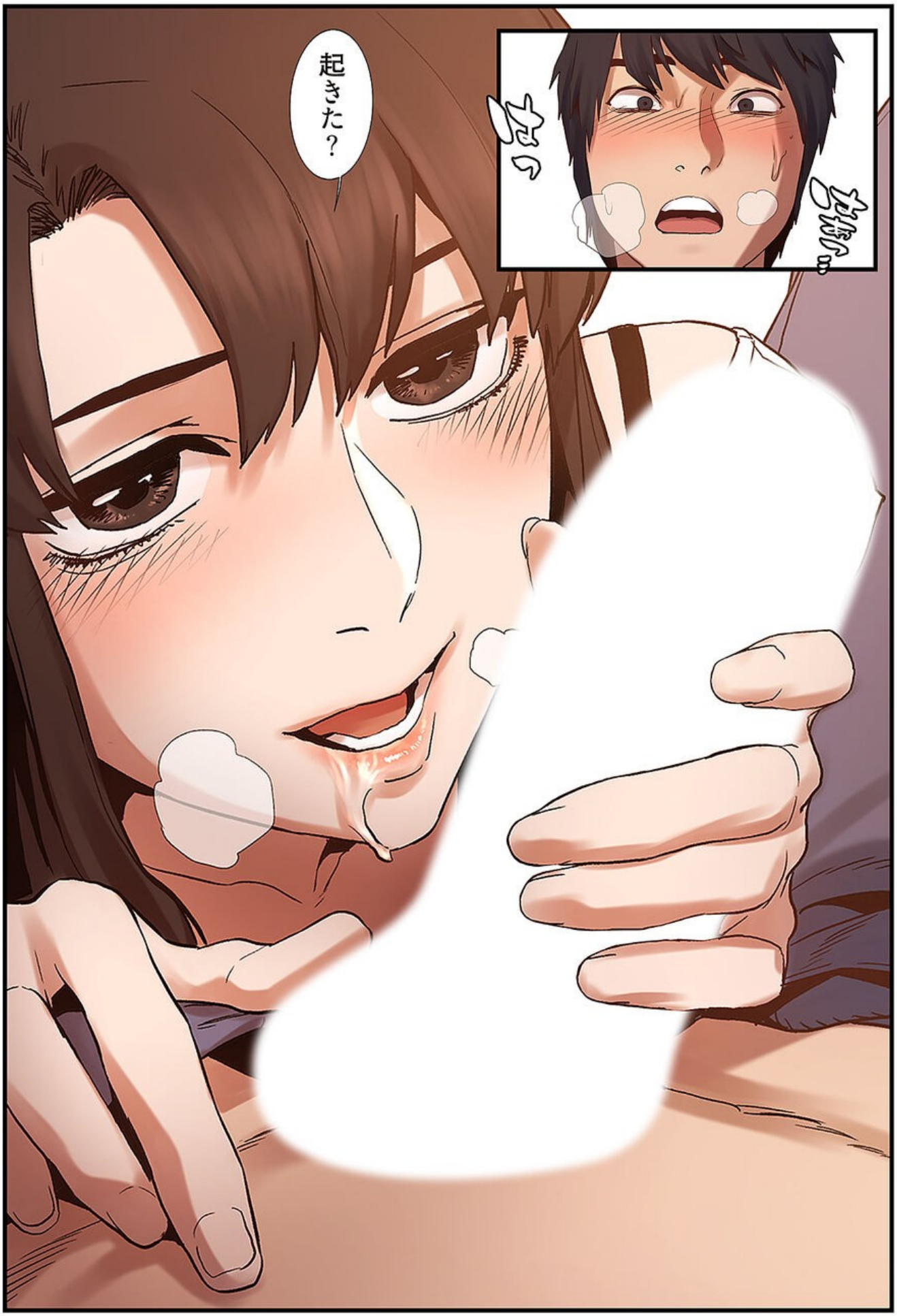
ううん…

チュプ
チュプ
え…
ええっ…
チュプ
チュプ

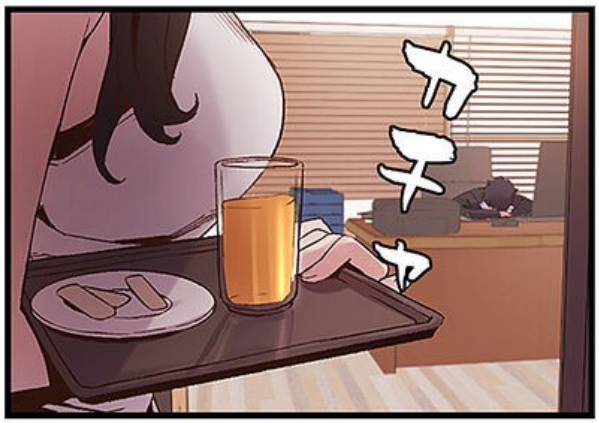
ゴッ

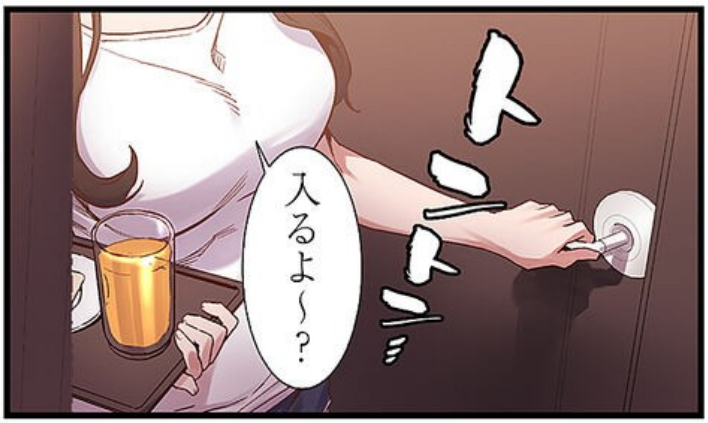
ひ…
日菜子!!


チュッ

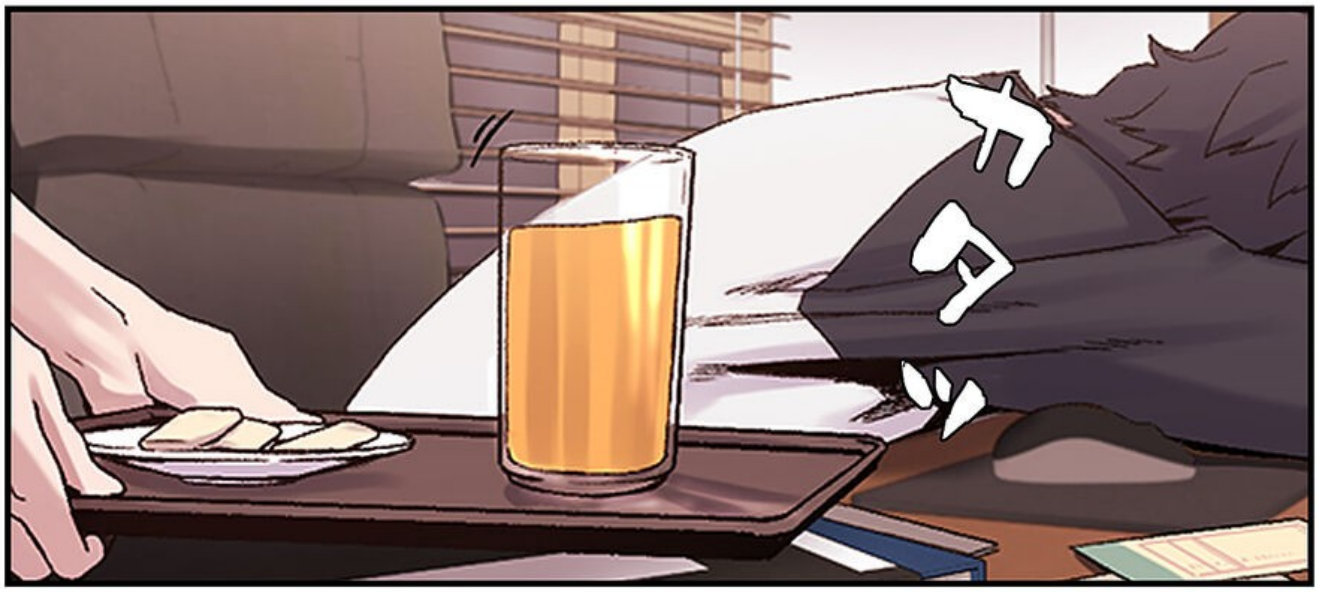

起きた？
ばっ
ばれる…

生残賭博


カチャ


トントン
入るよ～？

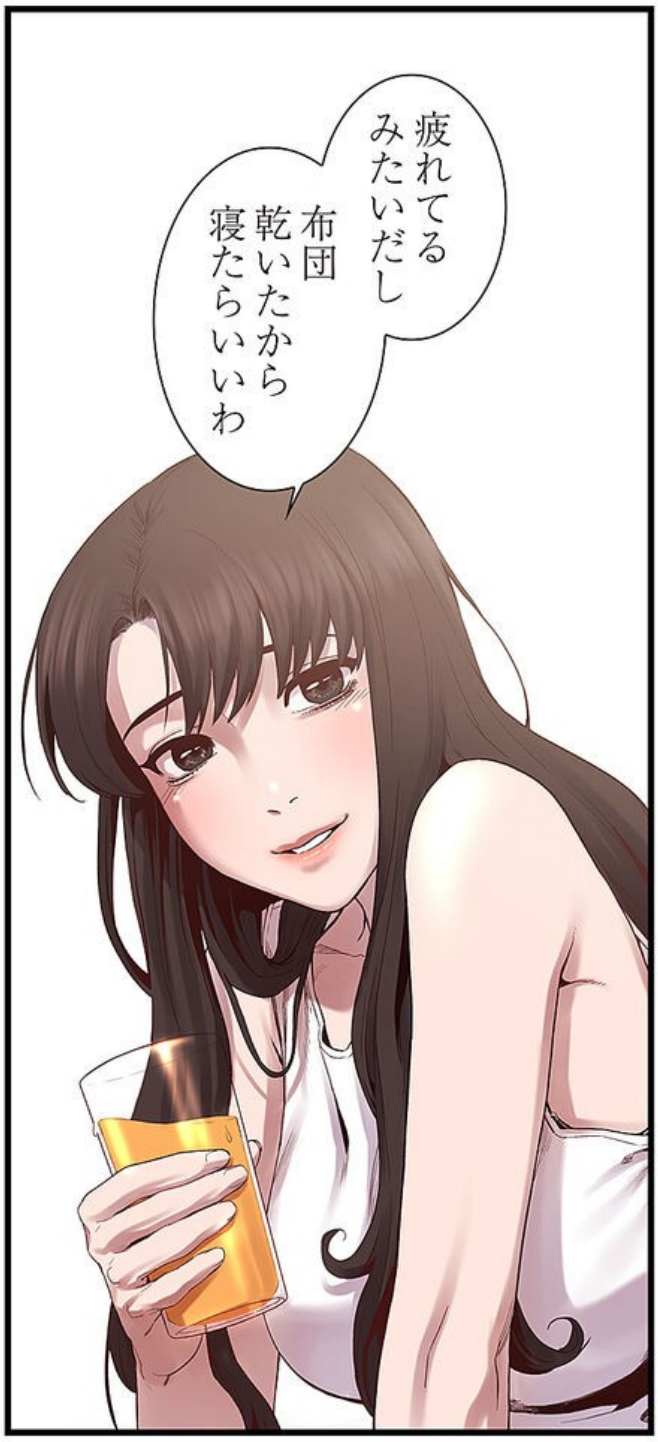
あ…


ガタッ

賢司起きて
ユサ
ユサ
んんっ…

あ…ヤバうっかり寝てた…

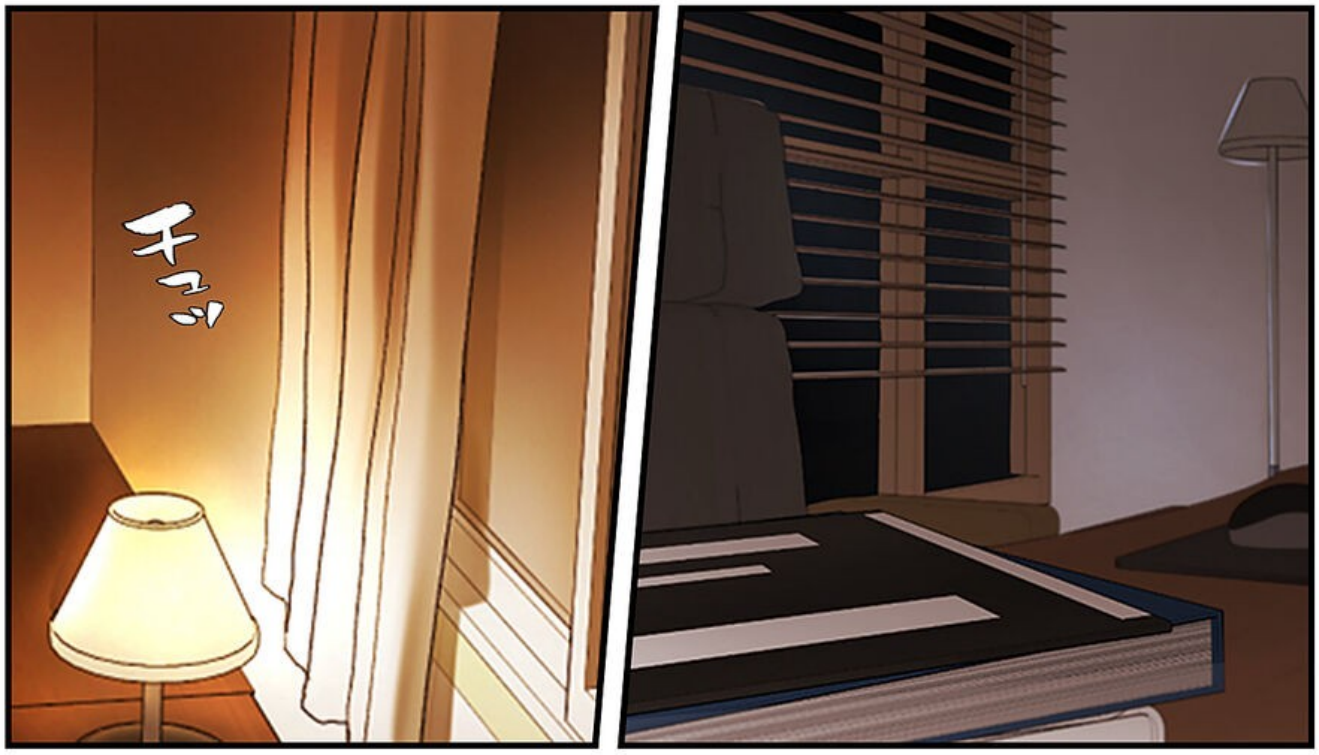
終わった？
寝室行ってちょっと休んだら？
ゲッ
ゲッ
いや…これからくじ買いにいかないと


疲れてるみたいだし
布団乾いたから寝たらいいわ

何時までに？
ゲッ
カタッ
えっと…9時50分
じゃあまだ大丈夫じゃない

ありがとう
でも
寝過ごしたら
ヤバいし…

私が起こして
あげる
心配しないで
……


チュッ

ゴジュルッ
チュッ
え…
ゴジュルッ
ええっ…
ひ…日菜子!!
ゴジュルッ
起きた？
……
な…な何してんの？
ゴジュルッ
チュッ

今は…

ぺロッ

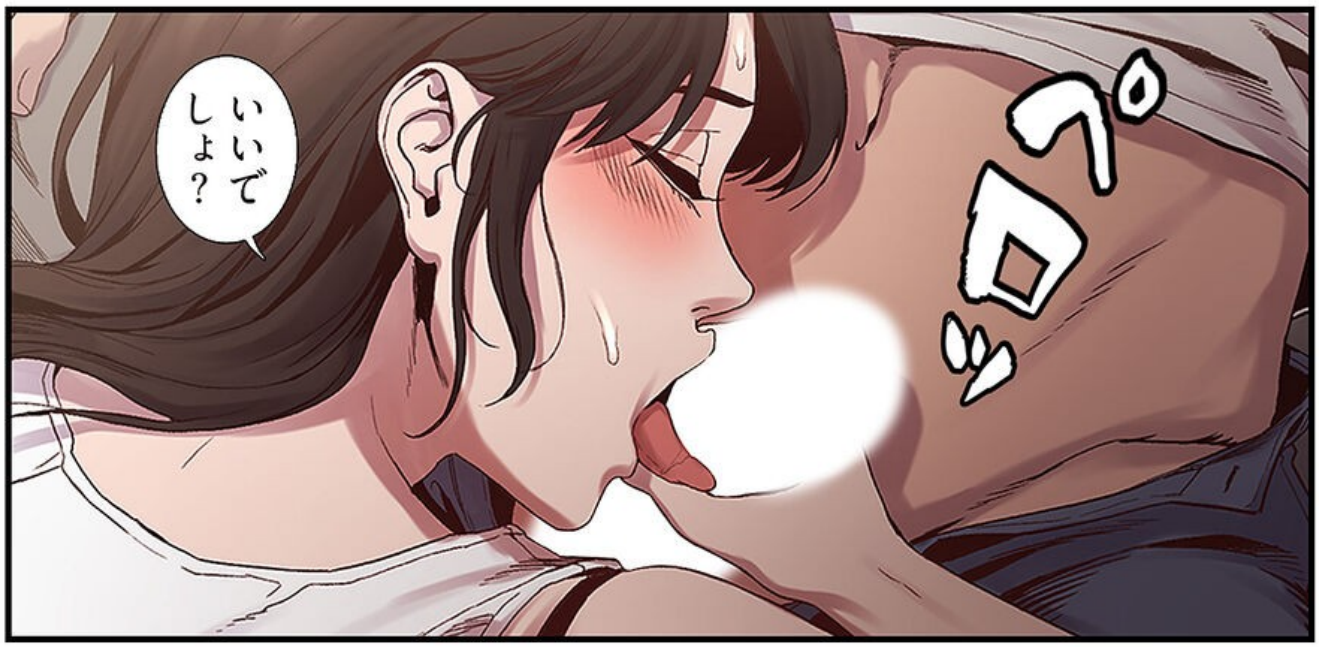
何も聞かないでくれたら嬉しいんだけど

!!

ぺロッ

はあああっ…

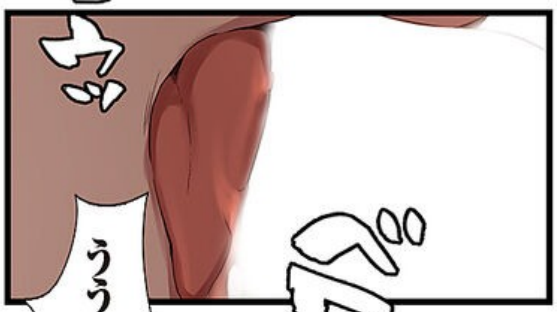
チュッ
チュプッ
な…なんでこんな…
ズッ
これが勃ってるの見たら…
なんだか…やってあげたくなったの

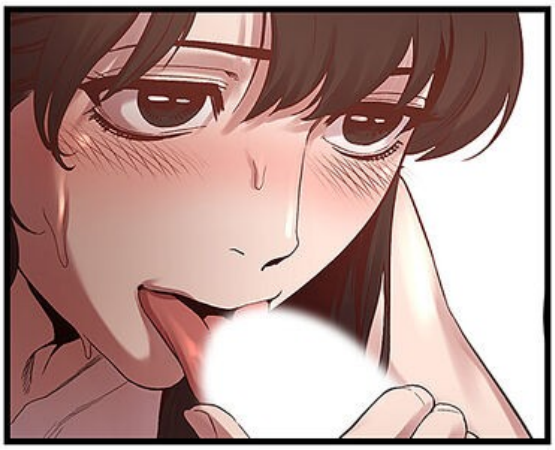

プロッ
いいでしょ？

カプッ
賢司はただじっとしてればいいから
ヤマ
チュプッ
ヤバい…
ジュルルッ
これはヤバすぎるだろぉ…
ジュルルッ
ジュルルッ
ジュルルッ
チュプッ
一体なんでこんなこと…

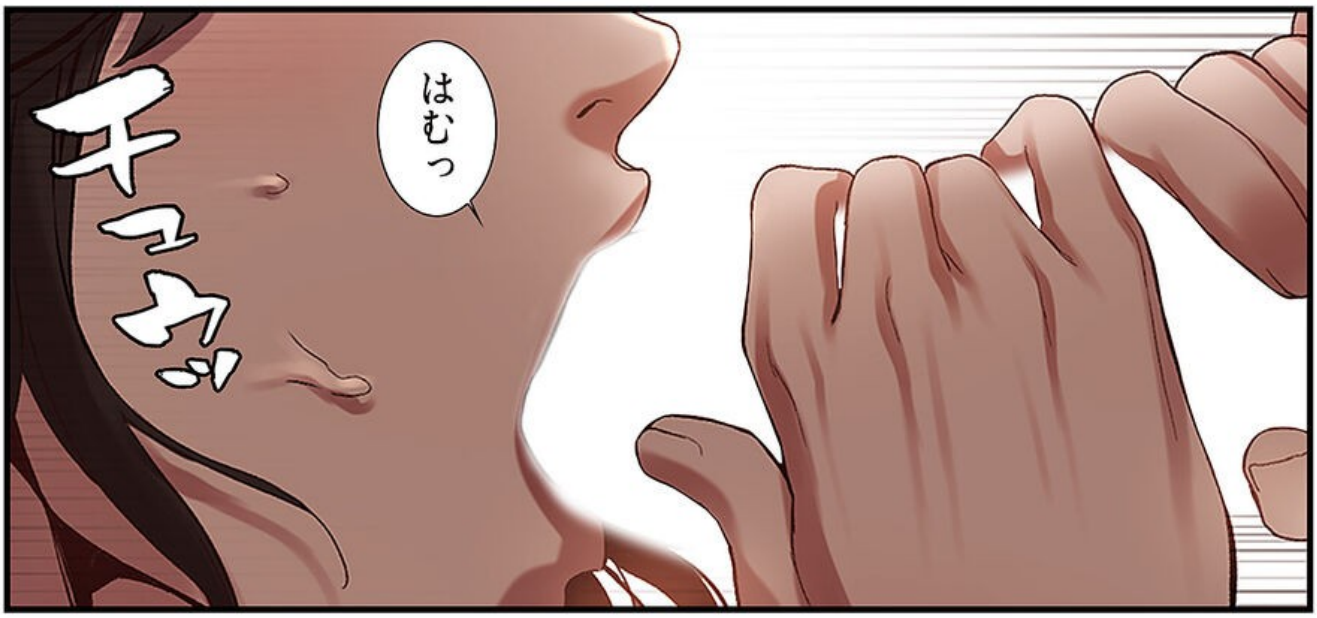
でも…
理由なんて
どうでもいい

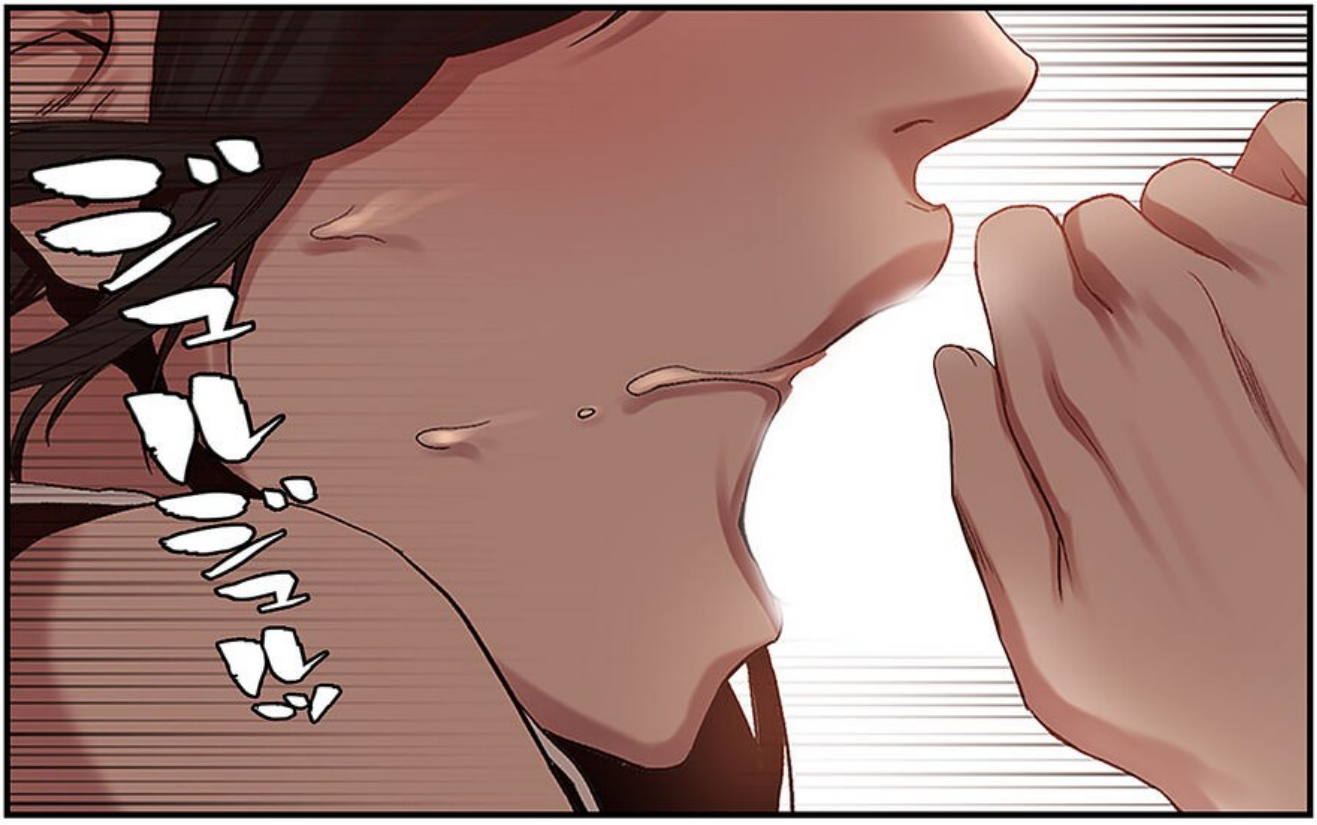
この世に
こんなにも
強い快感が
あったなんて…



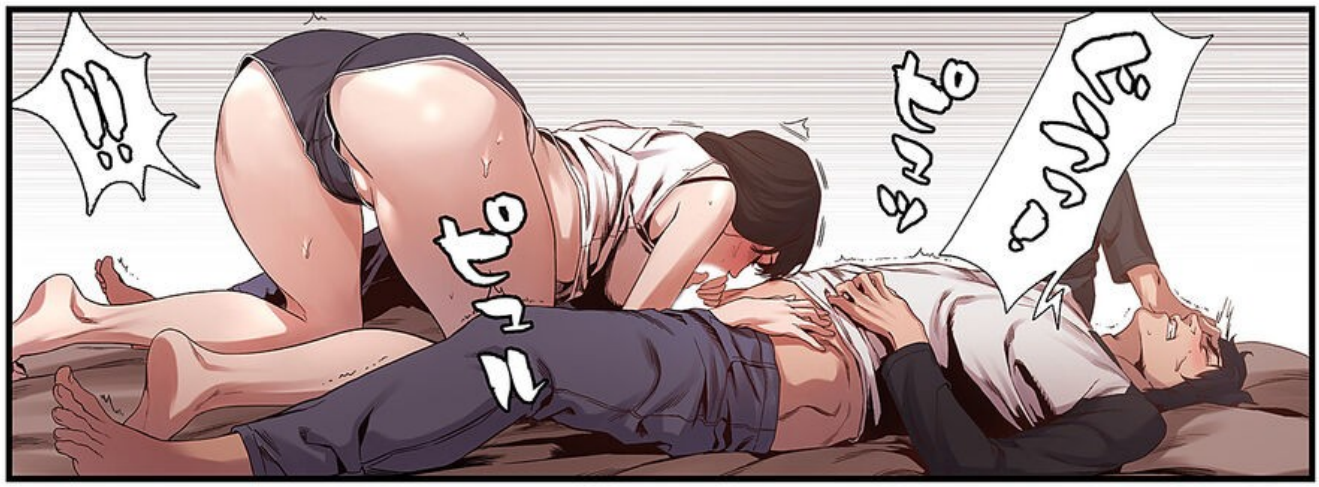


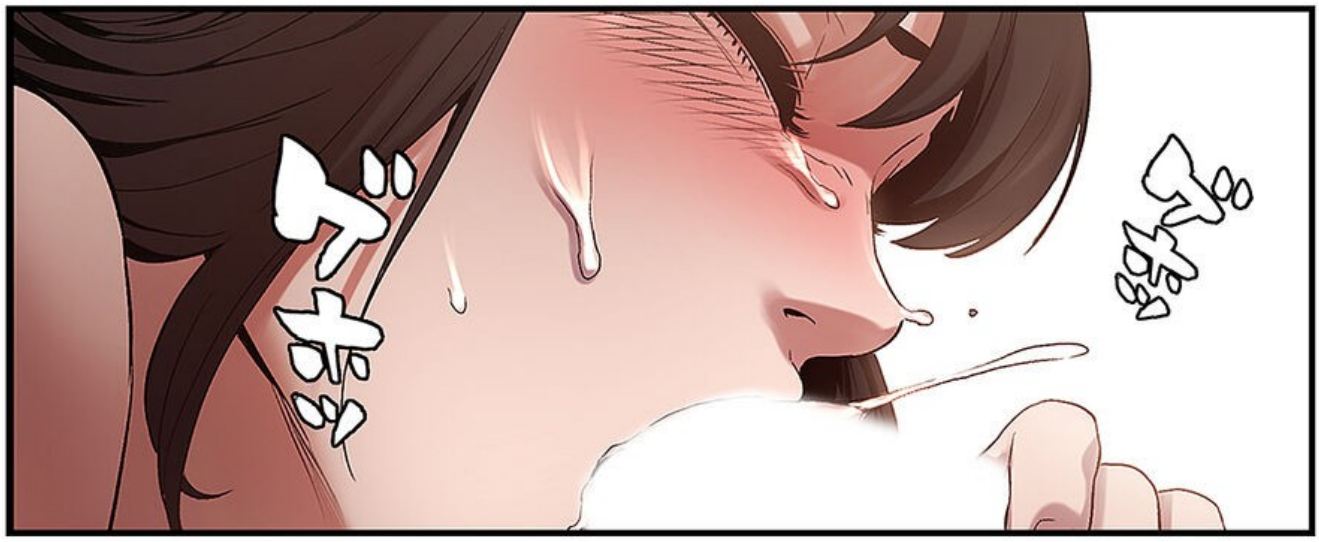
うん…
よすぎて
おかしく
なりそう…


はむっ
チュッ


ジュルジュルッ

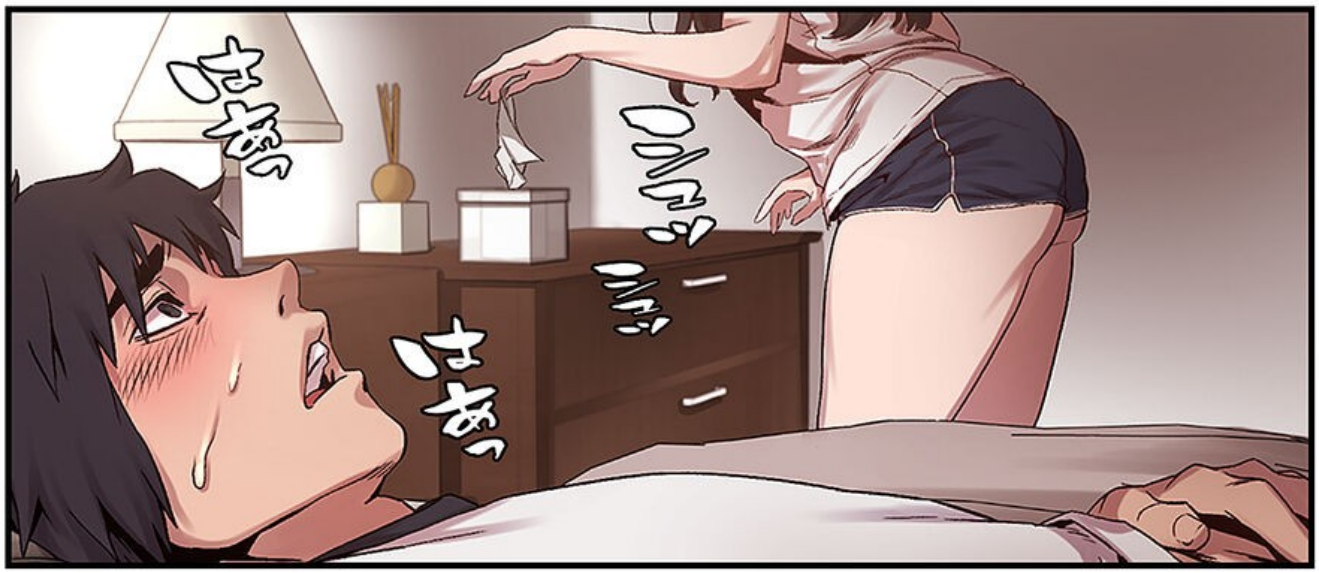
ああっ…！
ギュウウウ
日菜子も…もう…
グッ
!!
ドンッ


!!
ピュル
きゃっ
ちょっと

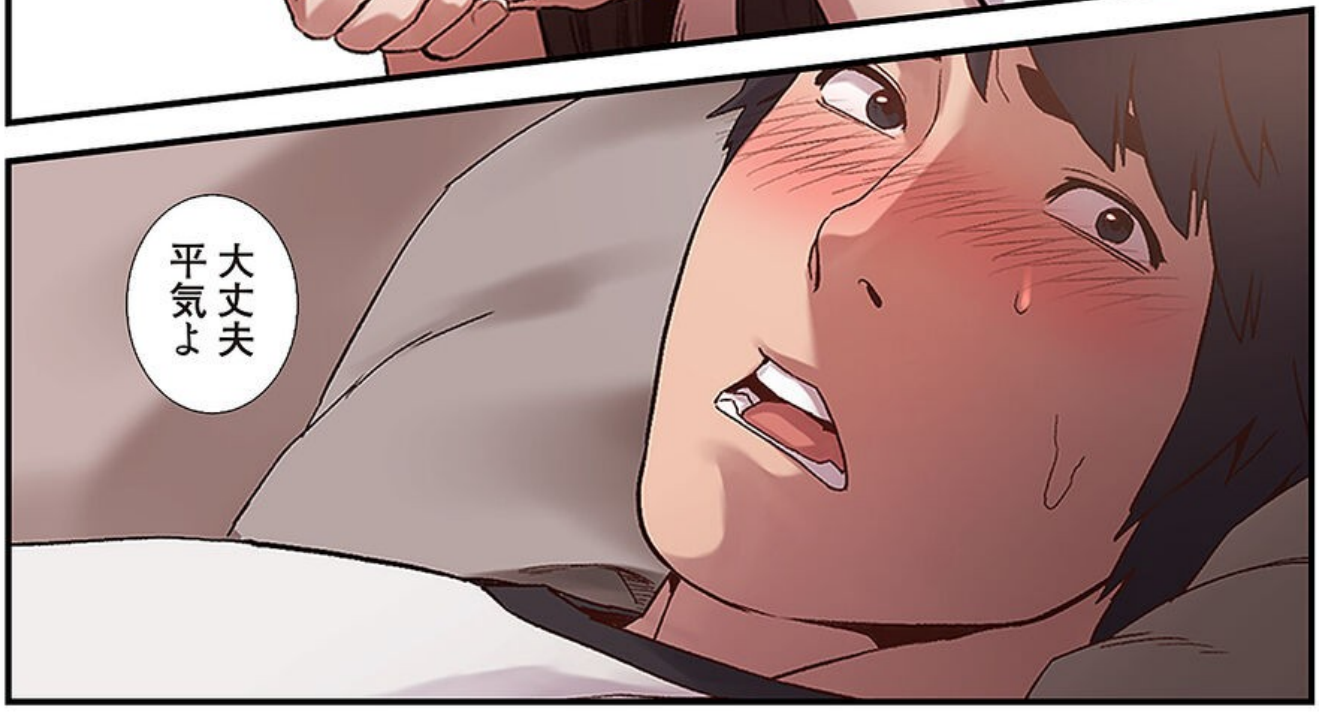

ゲホッ
ゲホッ

ズッ

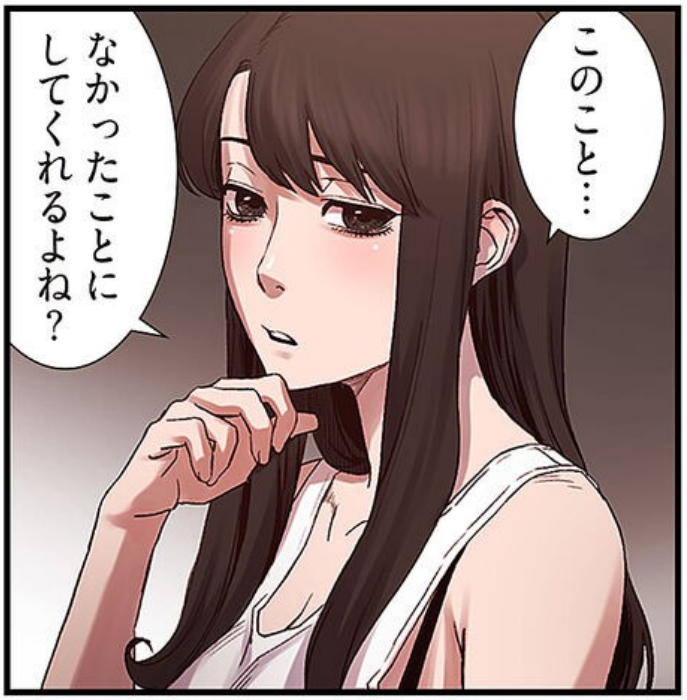
ゴシゴシ
チュッ


はあっ
はあっ

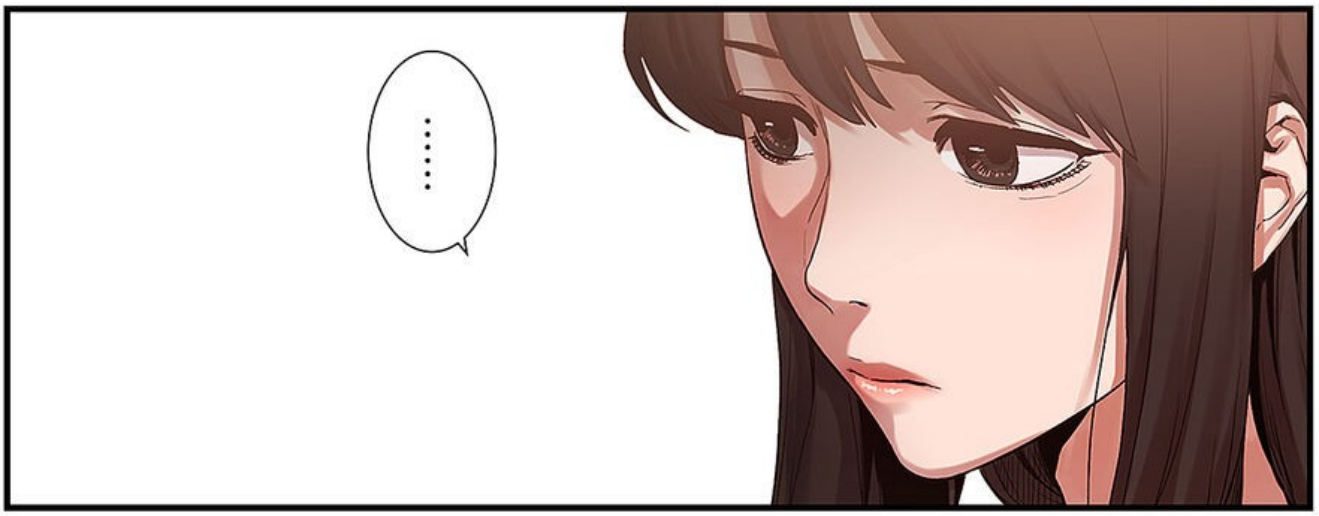
ぺっ


大丈夫
平気よ

な…なんで
こんな
ことを…


このこと…
なかったことに
してくれるよね？

だから
言えって！
なんで
こんなこと
したんだ！

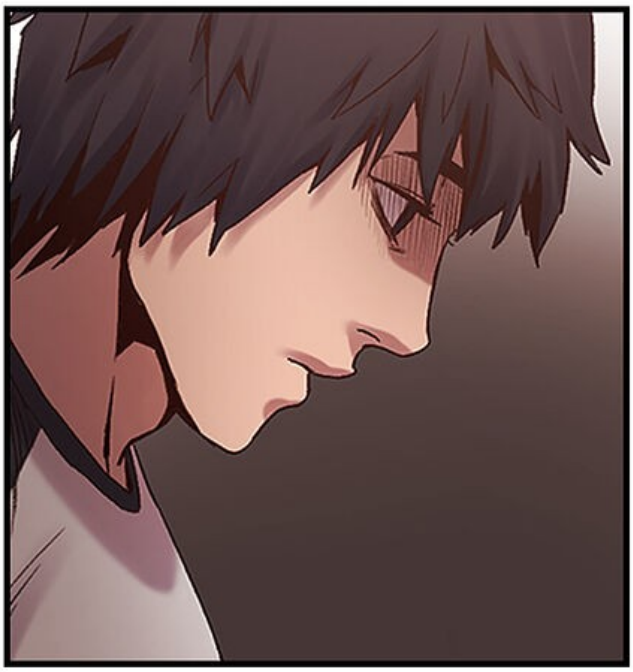

……

ただ
ムシャクシャ
してただけ

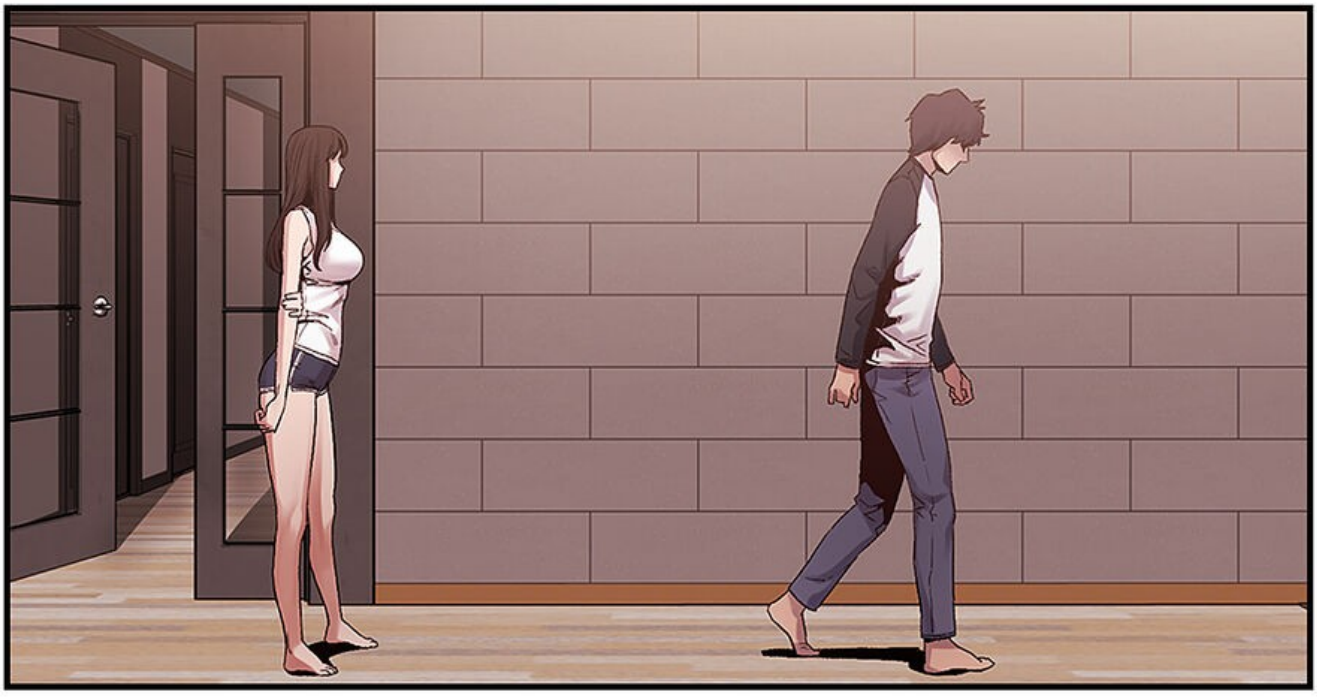
っていうか

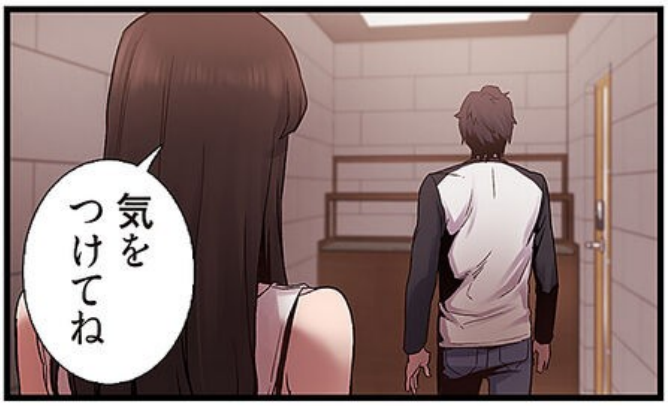
小さな
復讐みたいな
ものかしら…

ごめんなさい

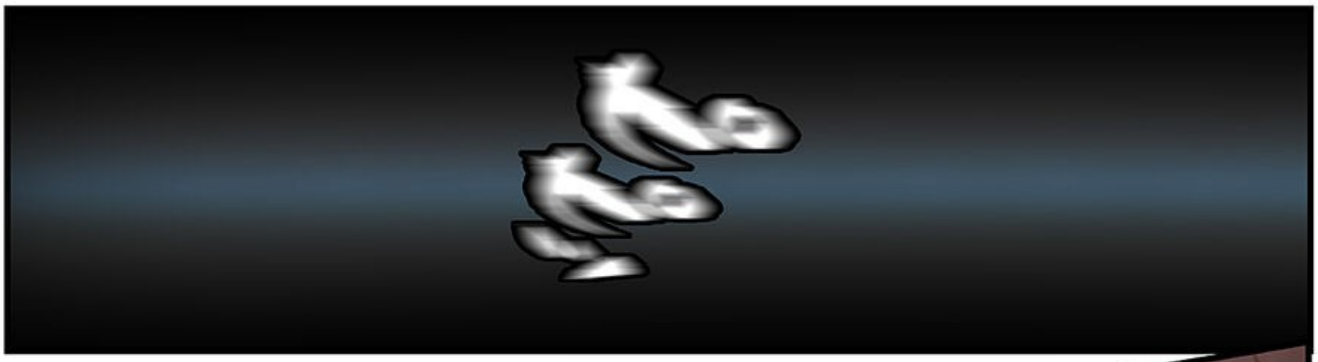


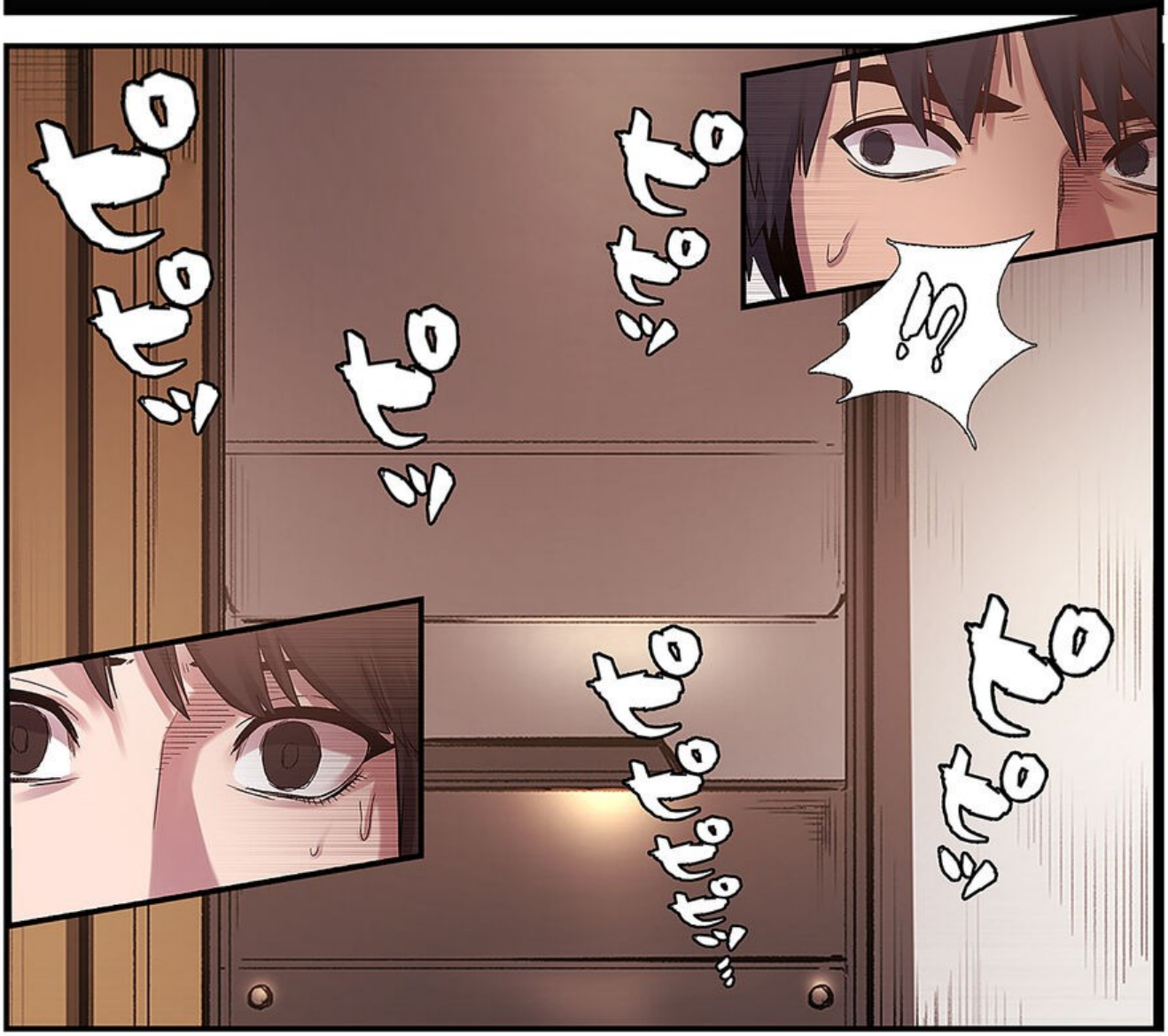
まだ間に合うわよね？
う…うん今いけば買えるよ




気をつけてね

…日菜子




!?
ピピッ
ピピッ
ピピッ
ピピッ
ピピピピッ!!

おい雅人お前まだ番号覚えてねえの？

…

うるせえな前の番号とごっちゃになるんだよ

早く開けろよ

ピピッ

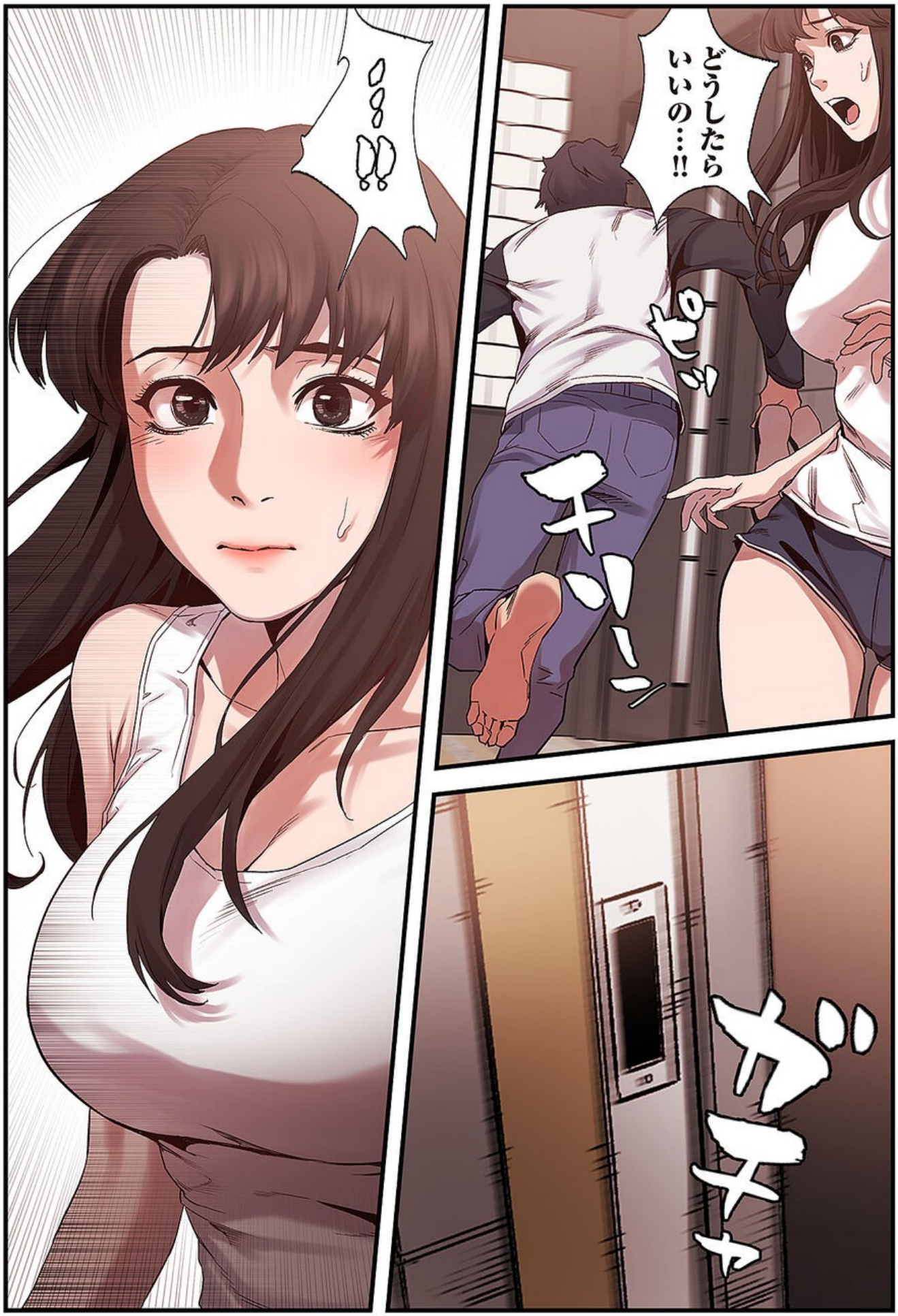
ピピッ

ピピッ

ピピッ

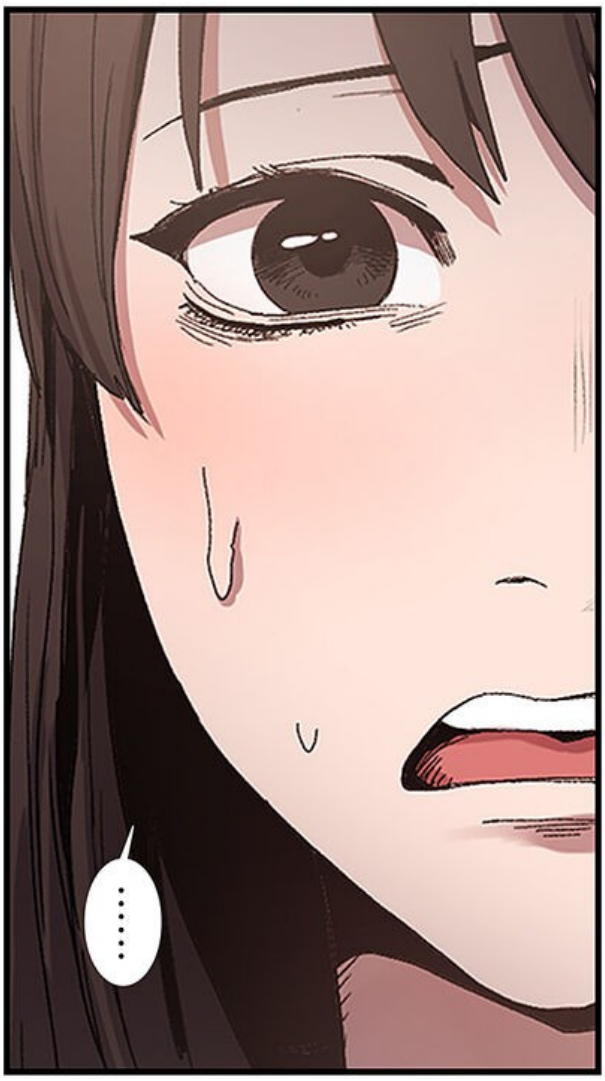
ピピッ

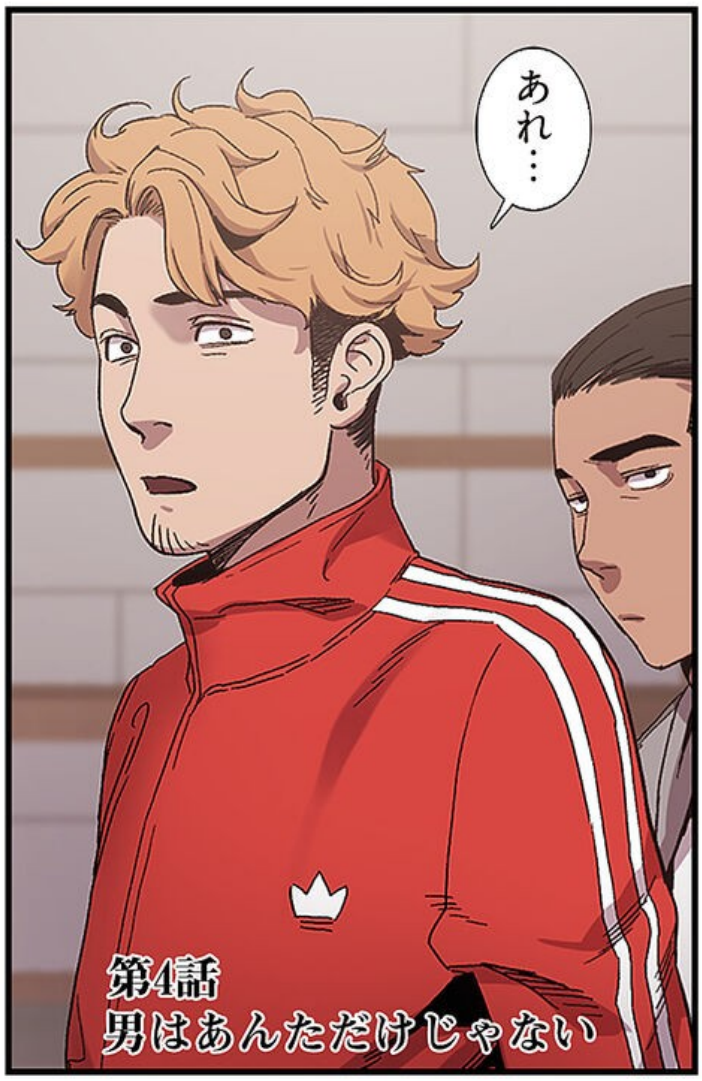
…クソッ！

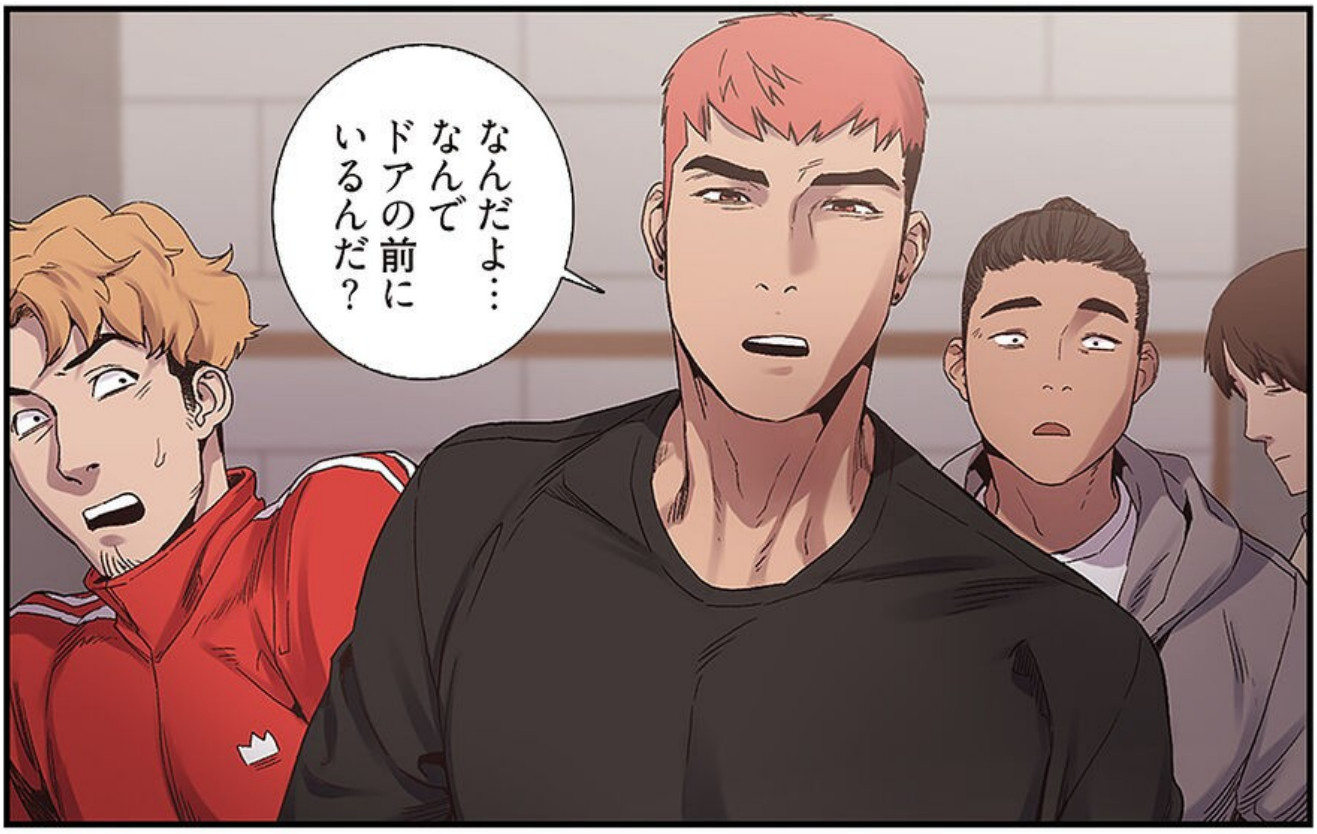

どうしたらいいの…!!
ピッ
チャーン
ガチャ
!!

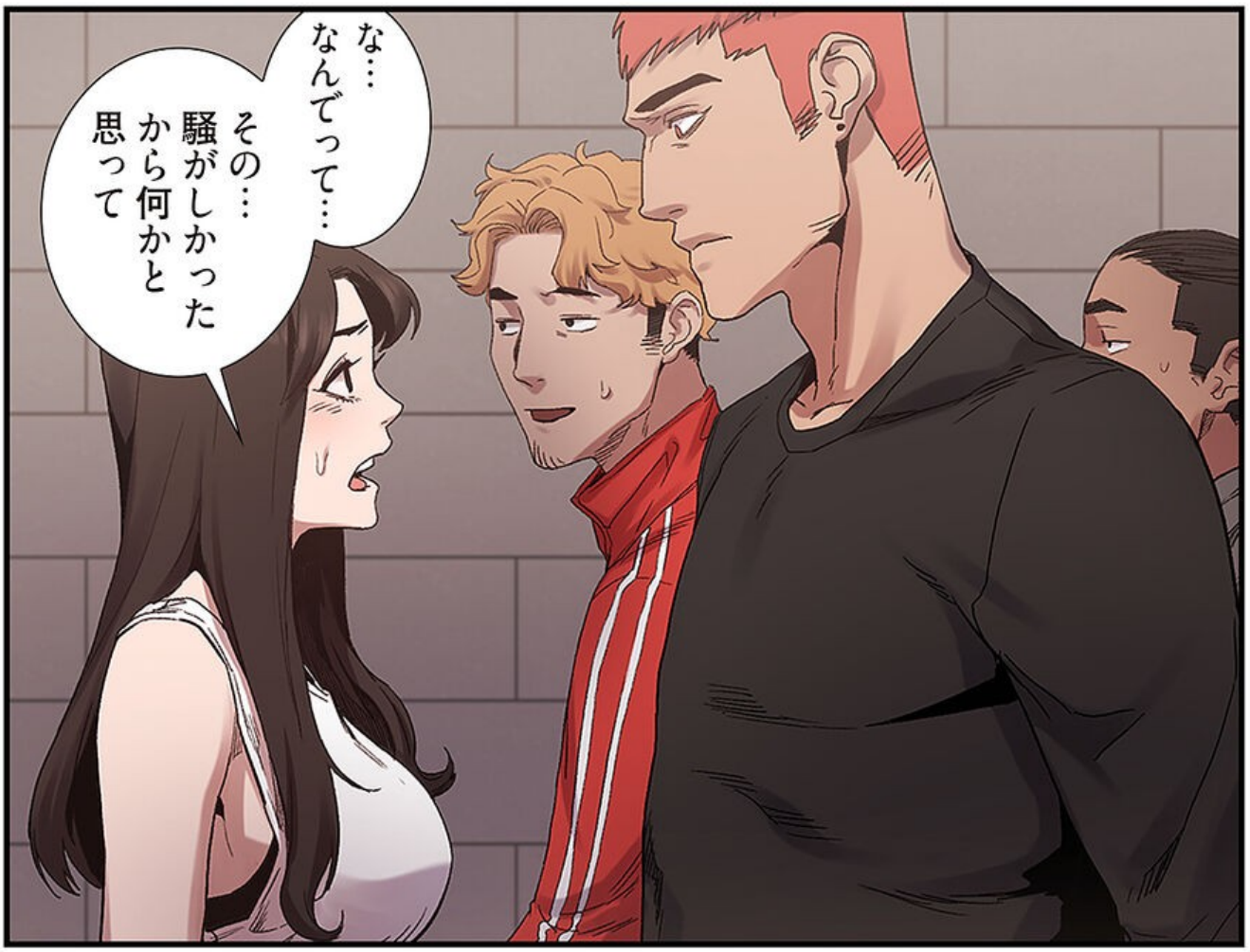
生残賭博

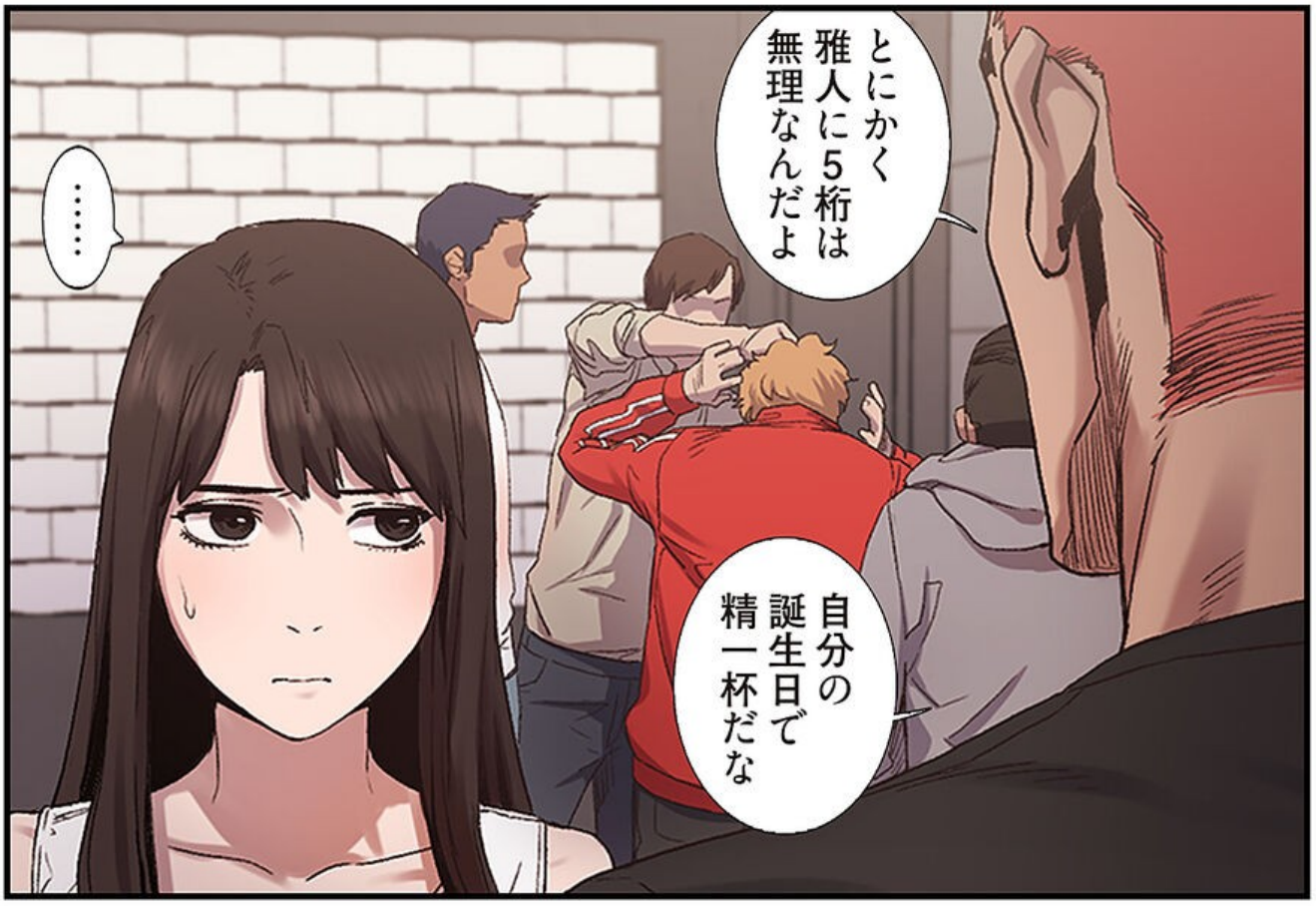
生残賭博


……


あれ…
第4話
男はあんただけじゃない


なんだよ…なんでドアの前にいるんだ？


な…
なんでって…
その…
騒がしかった
から何かと
思って


とにかく
雅人に5桁は
無理なんだよ
……
自分の
誕生日で
精一杯だな

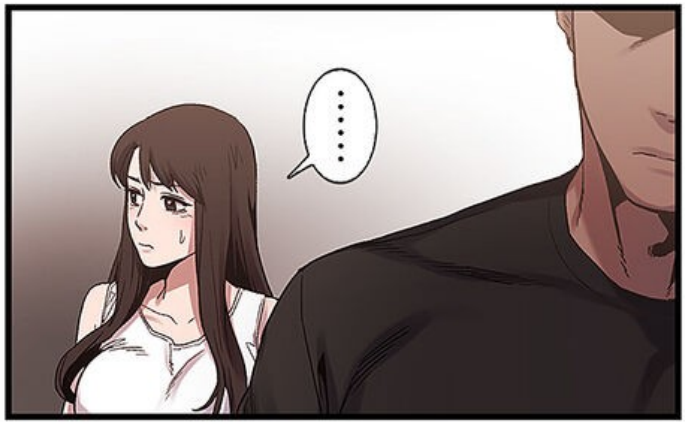
なんで早く帰ってきたの？

ゴクッ

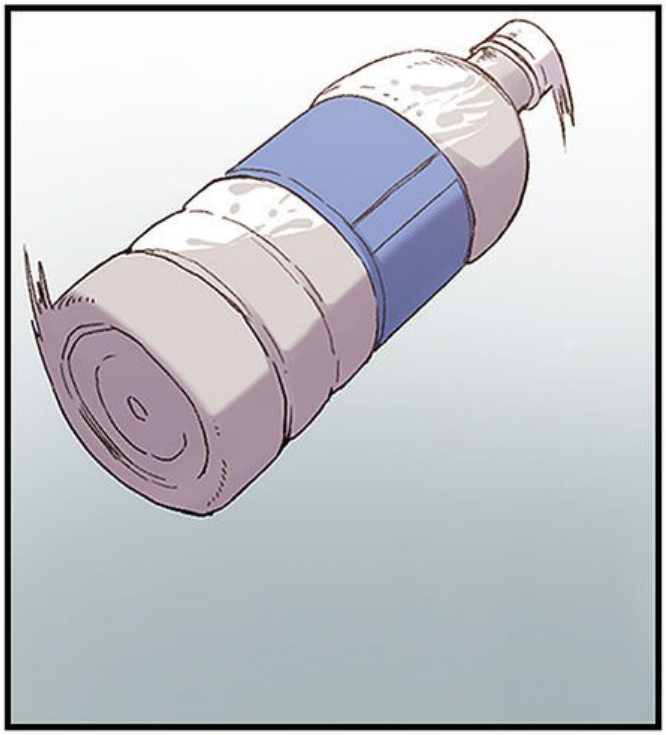
来い 話がある

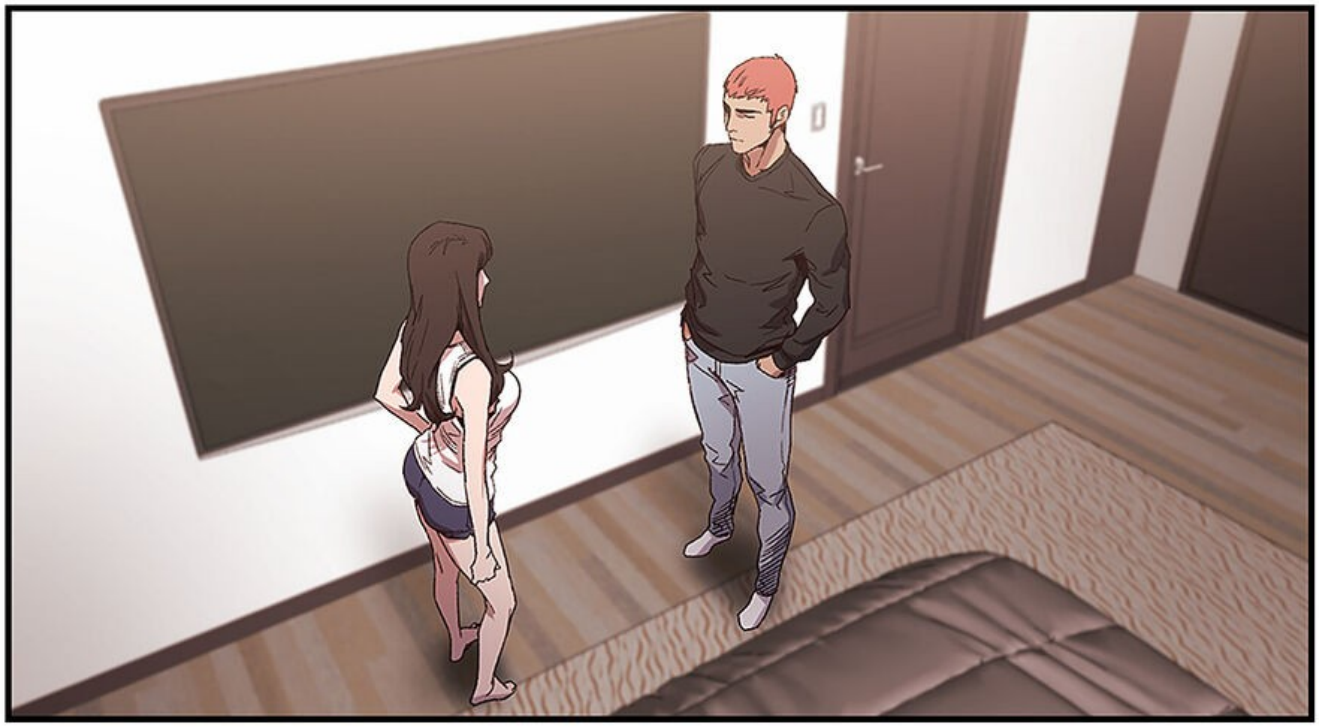
どこいくのよ！

ここで話せばいいじゃない！

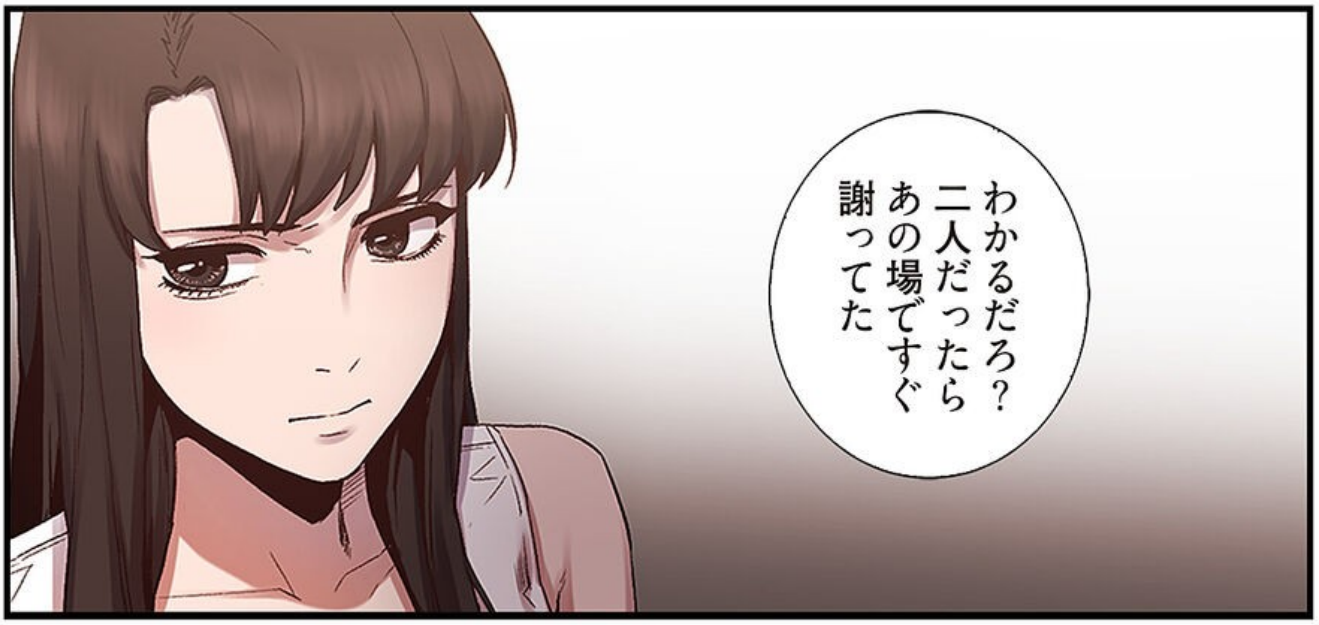

……

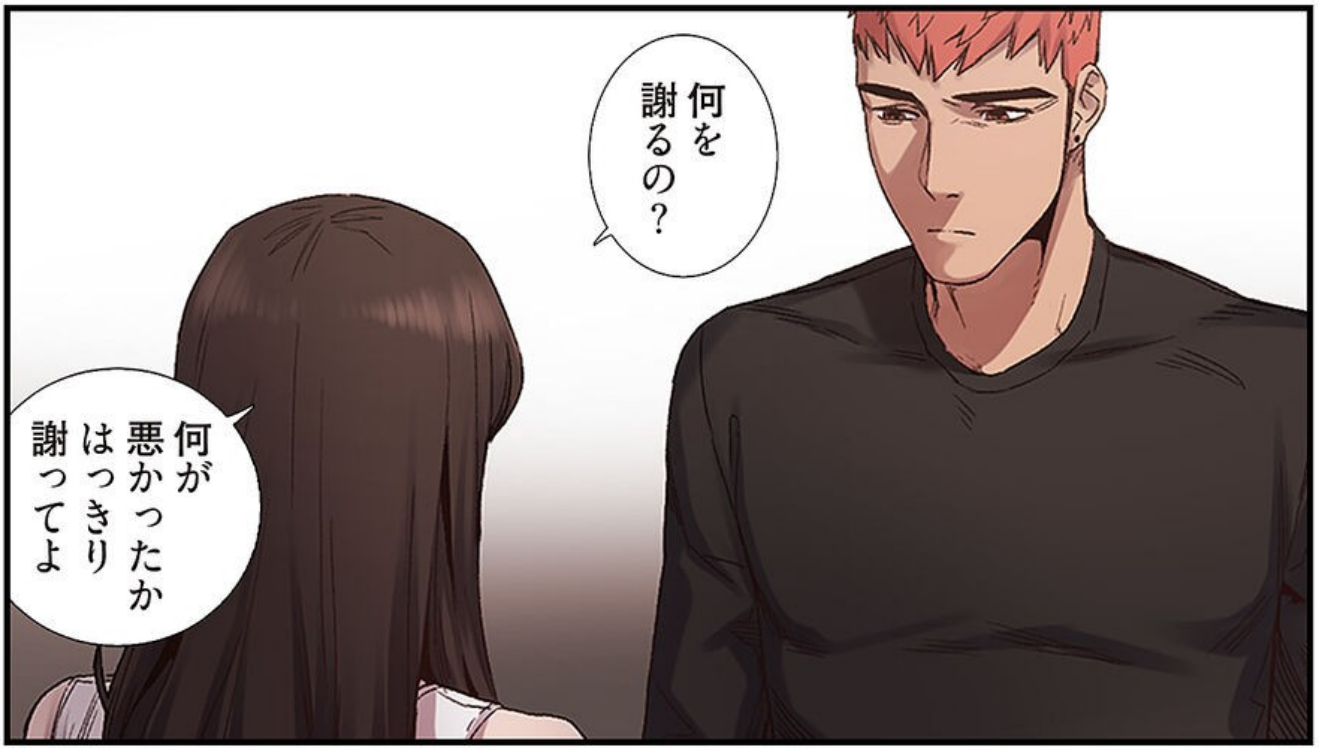
あいつらの前で話せねぇだろ
早く来い





悪かった
謝る
さっきは
あいつらの
手前
言えなかった


わかるだろ？
二人だったら
あの場ですぐ
謝ってた


何を
謝るの？
何が
悪かったか
はっきり
謝ってよ

……
ごめん
昼間のこと
昼間のこと
って何？
本当に悪いと
思ってるの？
哲矢
よく聞いて
自分は特別な
人間だから
勝手が許される
なんて
思わないで

哲矢が他の女と付き合うなら私も他の男と付き合うし

哲矢が他の女とセックスするなら私も他の男とセックスするわ

関係っていうのは常に対等なものでしょ？

だから哲矢がいないところで哲矢には見えないところで

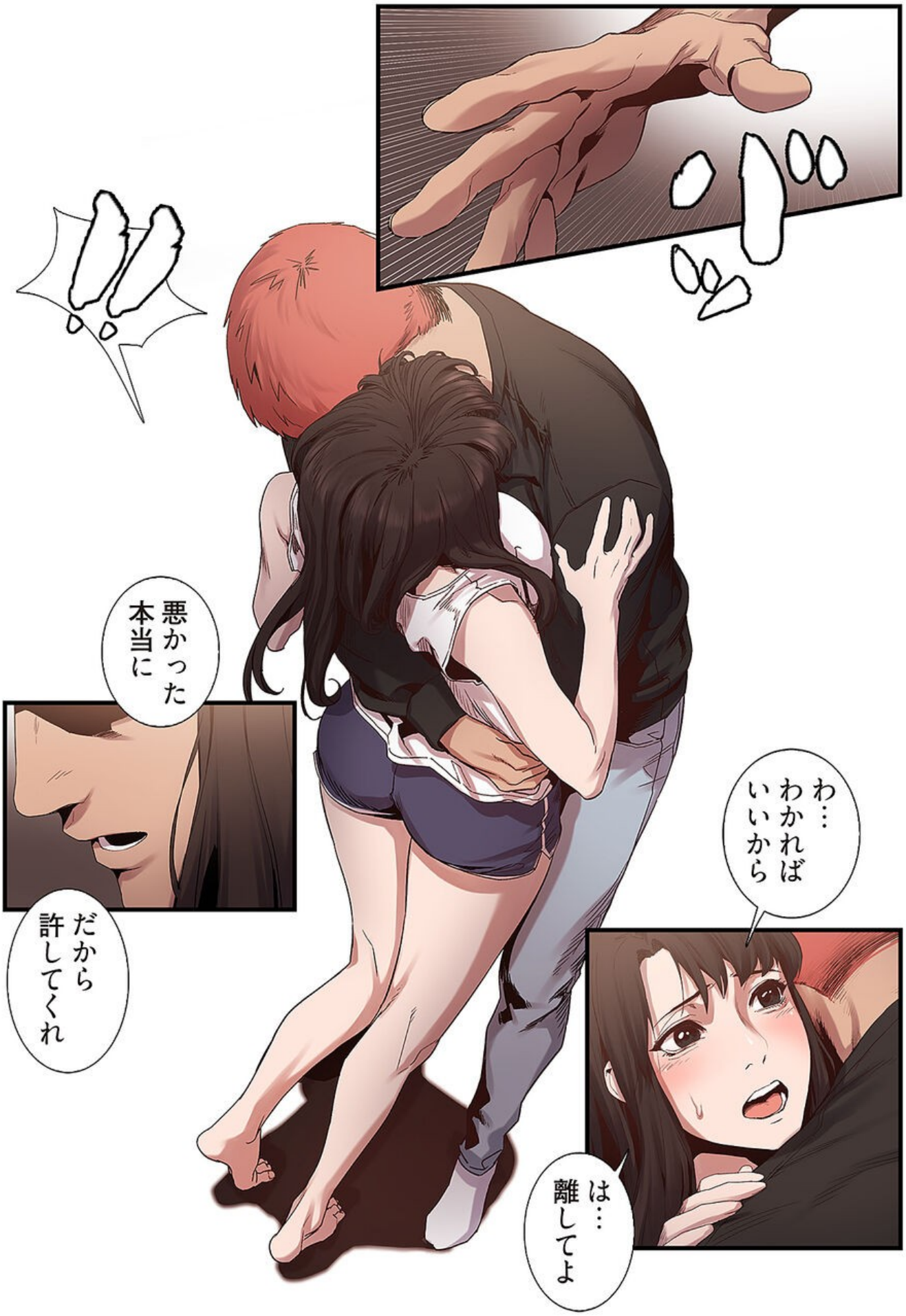
私も他の男とHなことするから

他の男？お前に他の男がいるってのか？

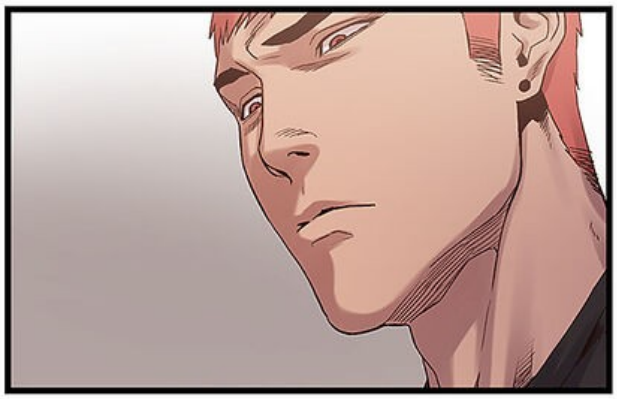
それは秘密よ

この世に男は

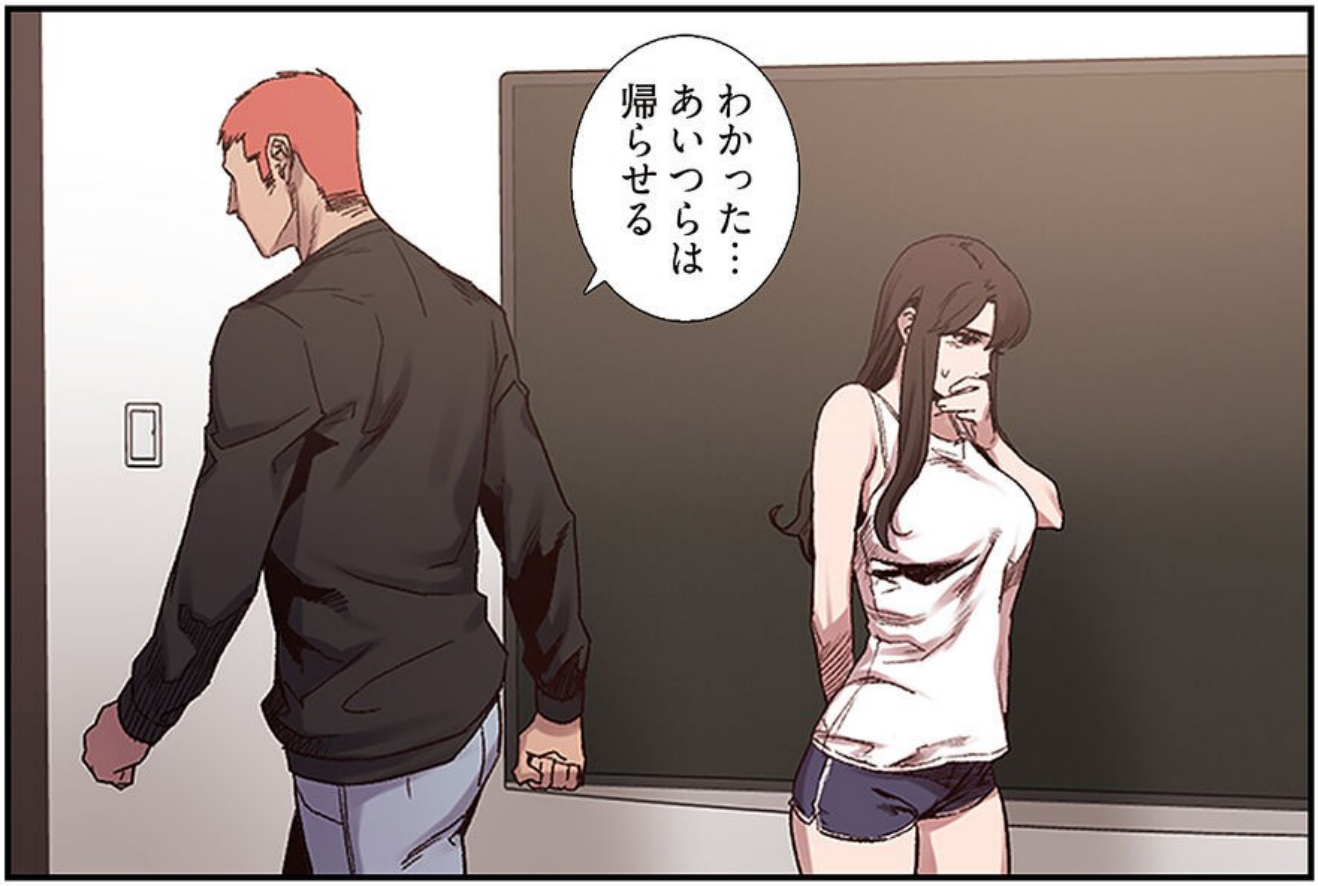
あんただけじゃない

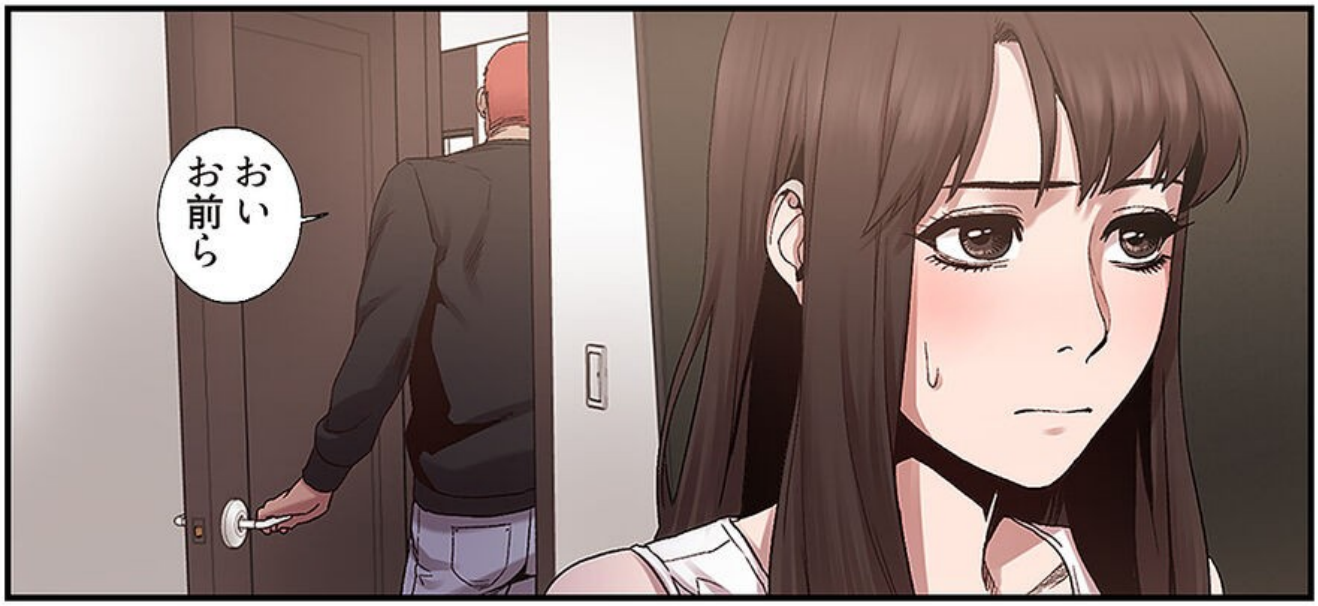

悪かった本当に
だから許してくれ
わ…わかればいいから
は…離してよ

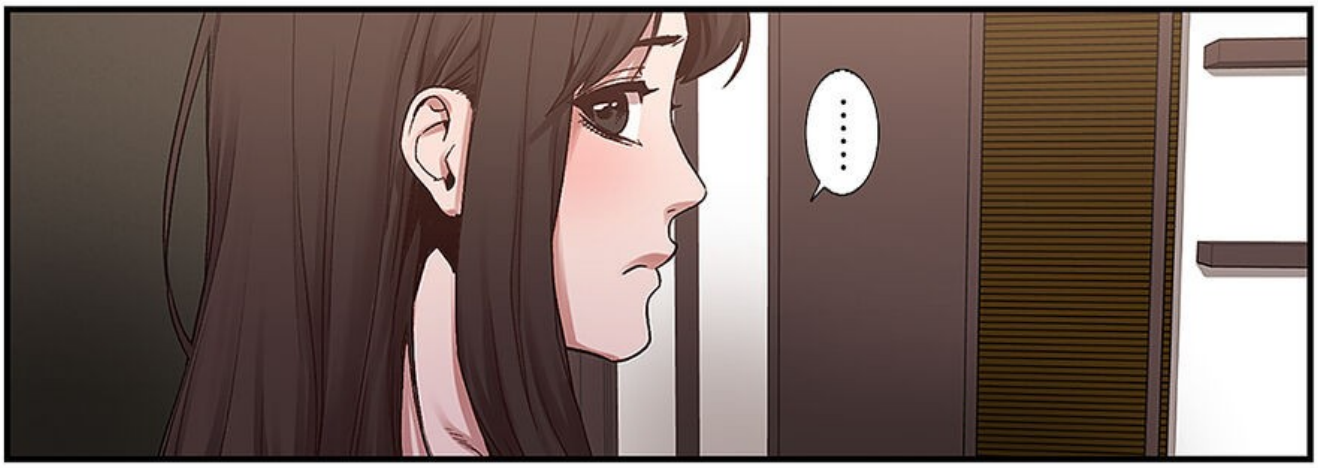
ガ
じゃあ仲直りはすんだってことで…
な…
チュッ
やめて…！みんなのいるところではダメ！
ガッ
私をさっきの女みたいに扱わないで！



あんたが私を大事に思ってること…
みんなに証明して

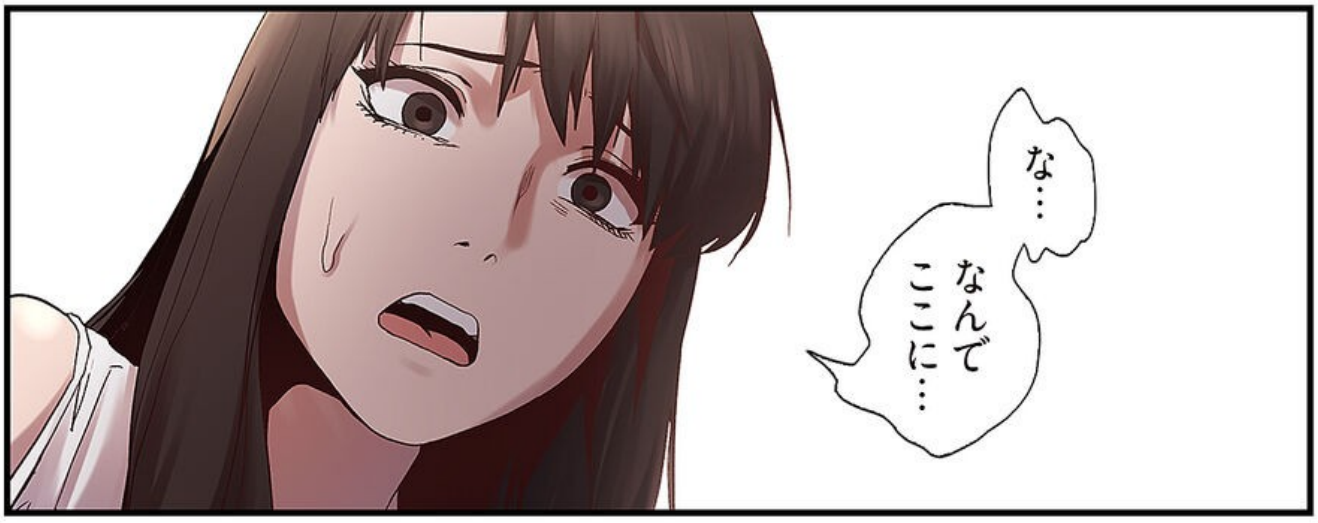

わかった…あいつらは帰らせる


おいお前ら


……

ひ…
日菜子…

カラカラ


な…
なんで
ここに…

ほら
これで先にやってろ
了解
じゃあ美穂とレイナも呼ぶぞ？
ああ俺もすぐいく
日菜子とうまく仲直りしろよ
ああ後でな
ガチャ
あいつらいったぞ
ちょ…ちょっと待って哲矢…

トゥイッ

キャッ！

もう誰もいない

この部屋には俺とお前だけだ

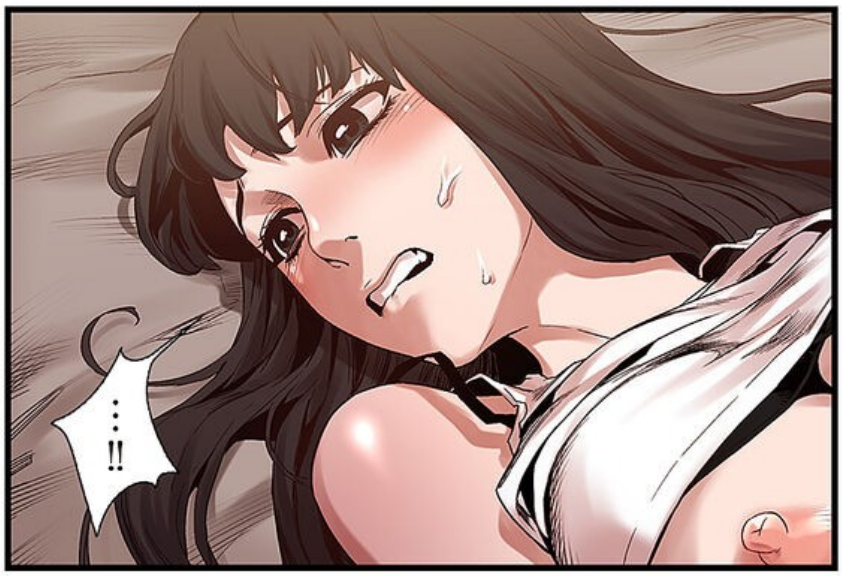
お…降ろして哲矢

ここは…俺たちの国だ

誰の目も気にする必要なんてない
ズッ
俺は今お前とセックスしたい
!!
ダ…
ダメよ…待って！

うっ…！
ダメ！
私たちさっきケンカしたばっかじゃない
ケンカしたらすぐ仲直りするって決めたのはお前だろ
やめて
きょ…今日はダメ…！
いや

お前は今日大丈夫だ
グッ
バッ
う…うっ…
ぺろっ
ふうっ…！



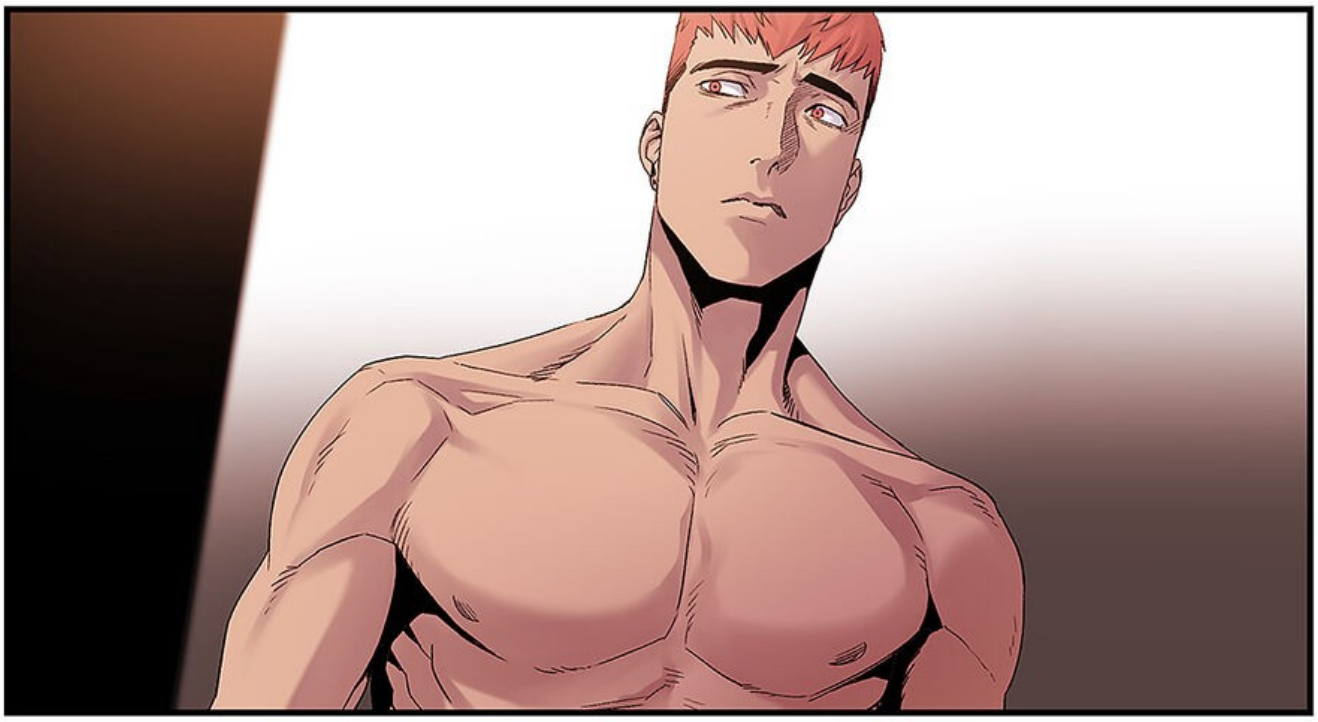
はあ……ダメッ

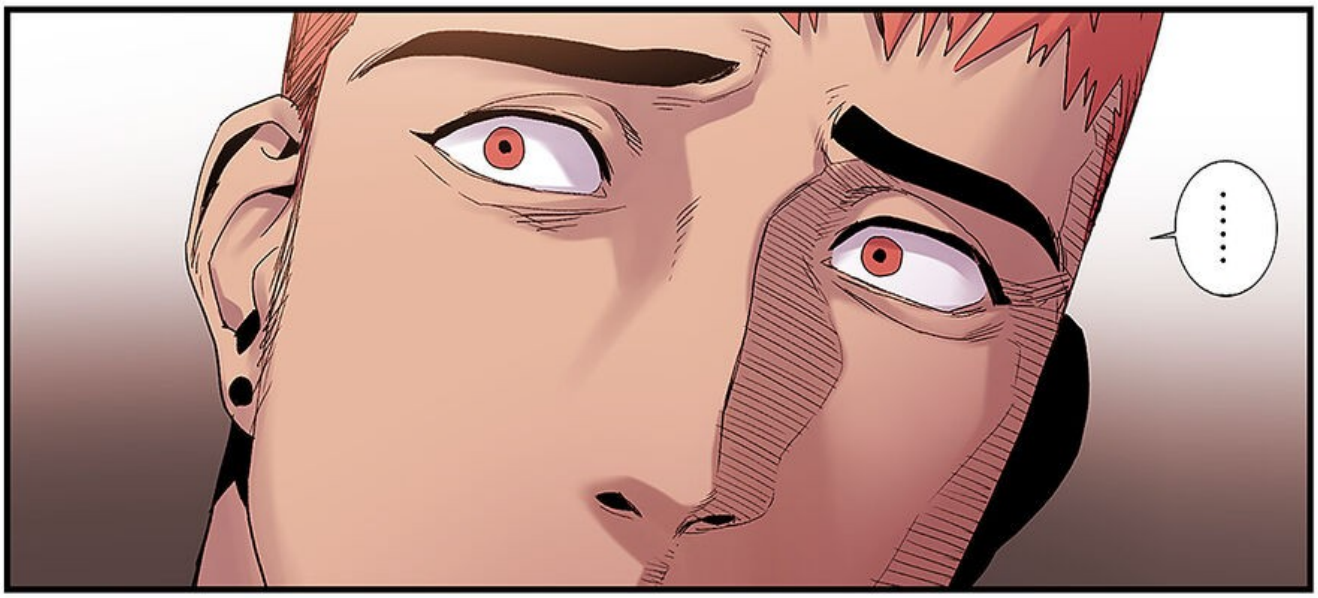
ダメェッ……!

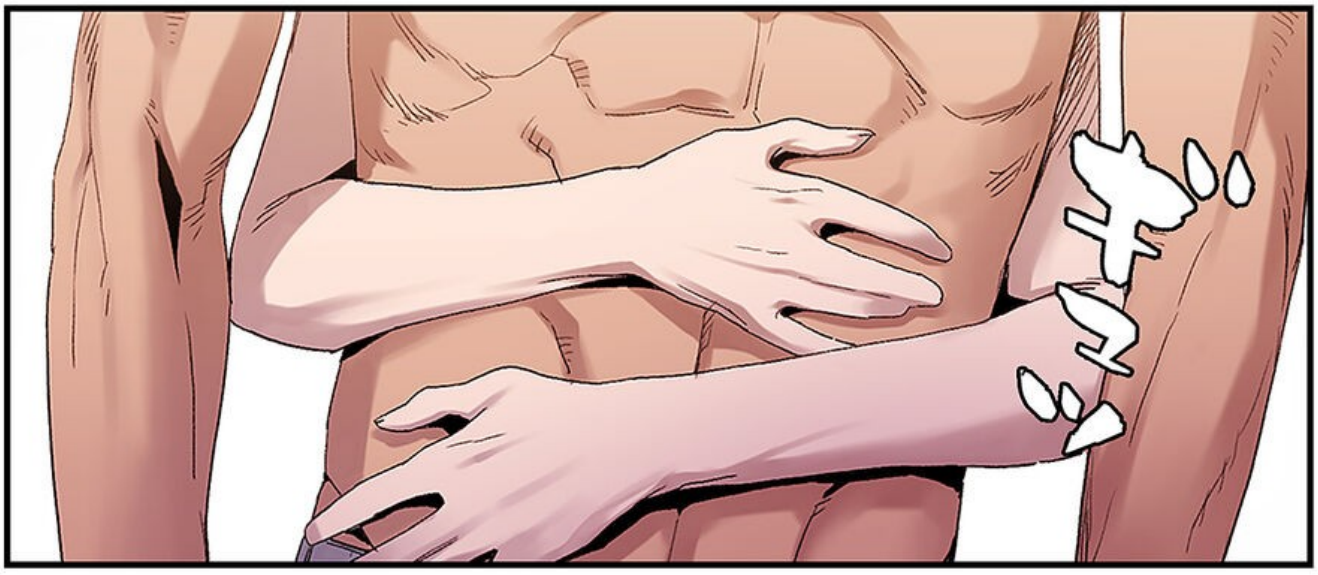
……!!
なんだよ
やけに向こうを
気にしてんな
!!
あ……
あ……!

生残賭博

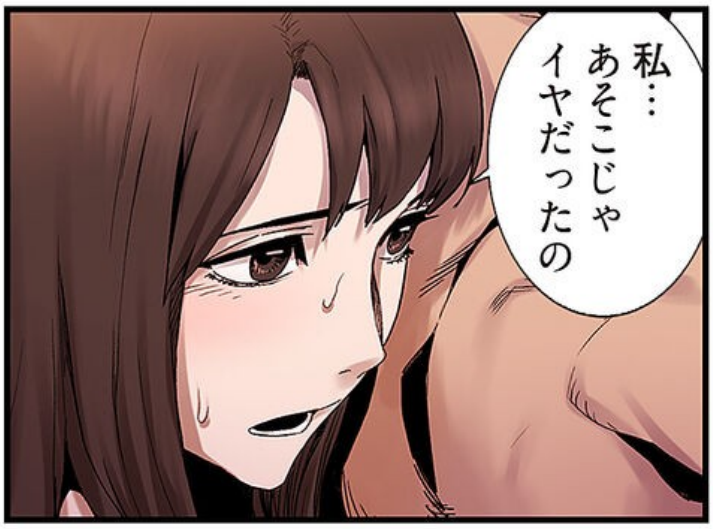
生残賭博

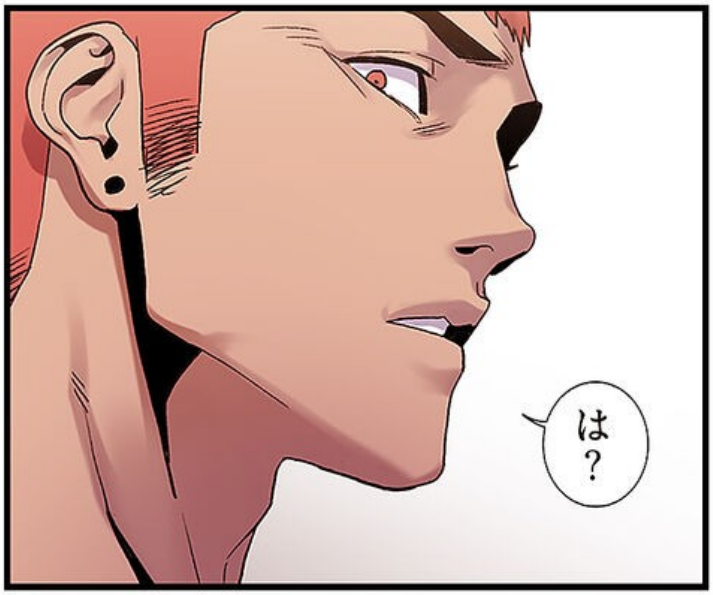


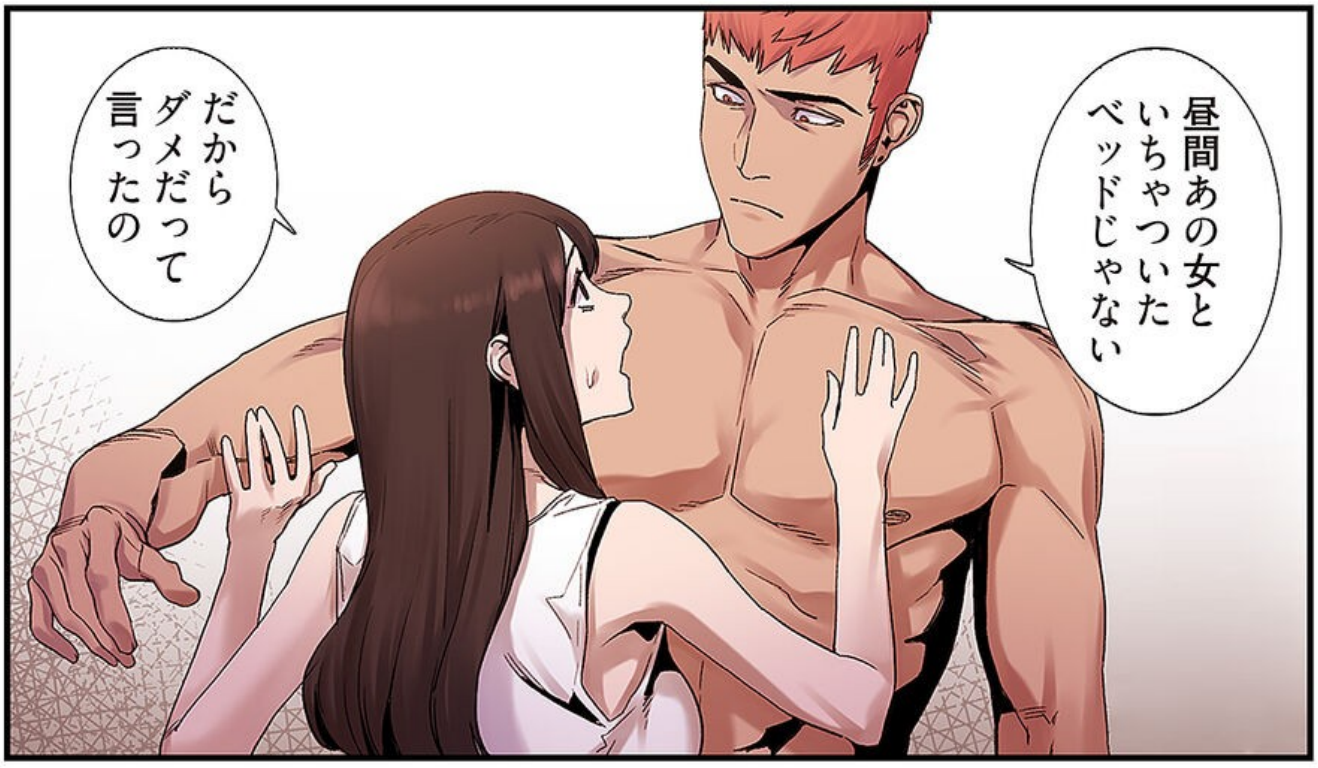

……

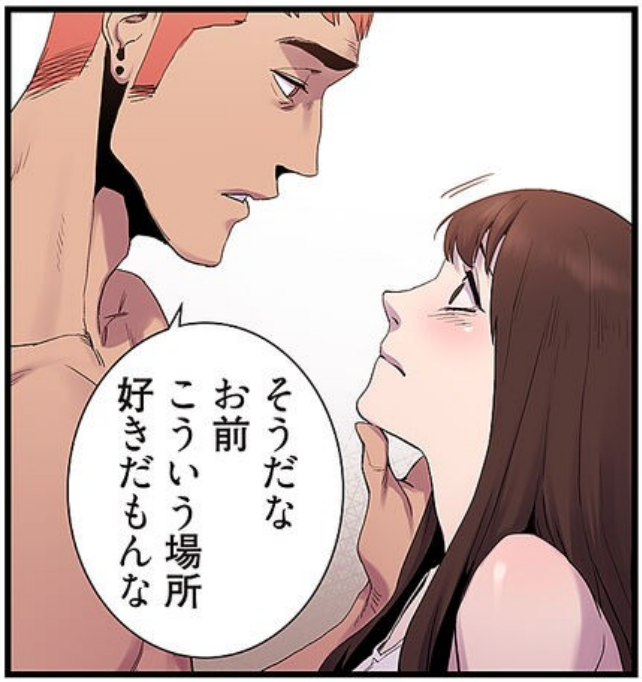

ナデ

!!
哲矢


私…
あそこじゃ
イヤだったの

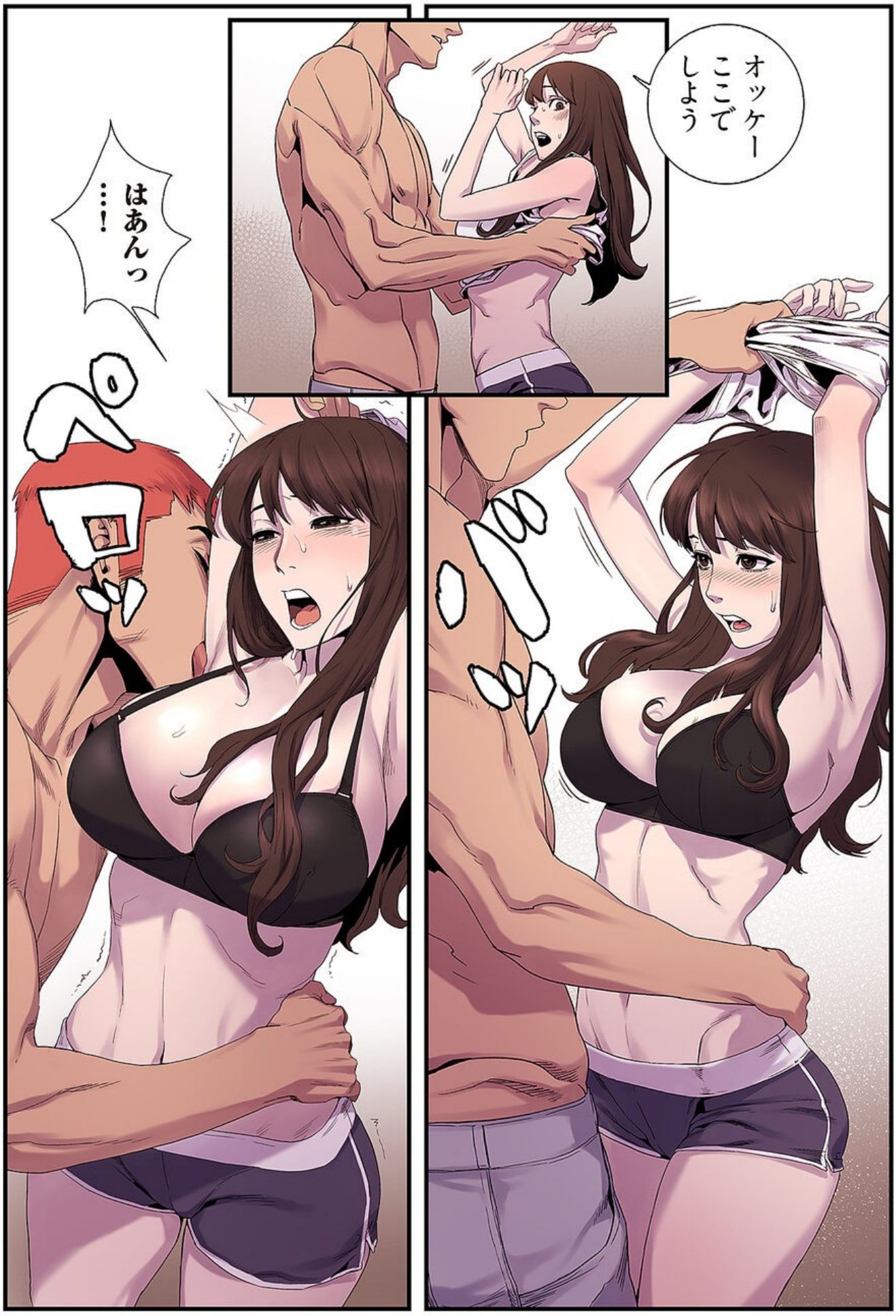

は？


昼間あの女と
いちゃついた
ベッドじゃない
だから
ダメだって
言ったの


そうだな
お前
こういう場所
好きだもんな

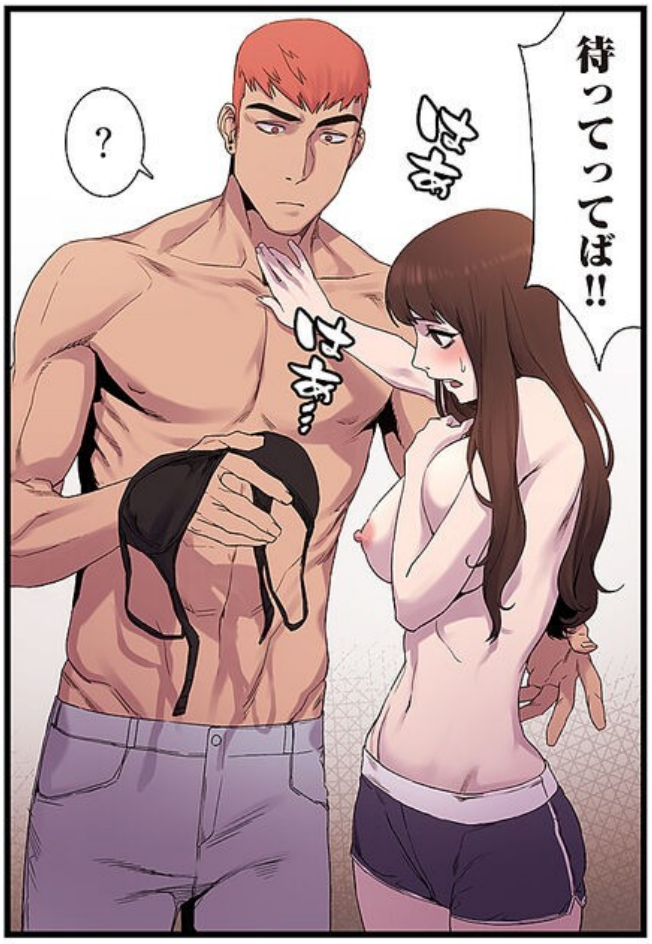
静かで人目に
つかない場所…

するなら
ここで
しましょ
私
ドレスルーム
好きだから


オッケーここでしよう
はあんっ…！
ぺロ

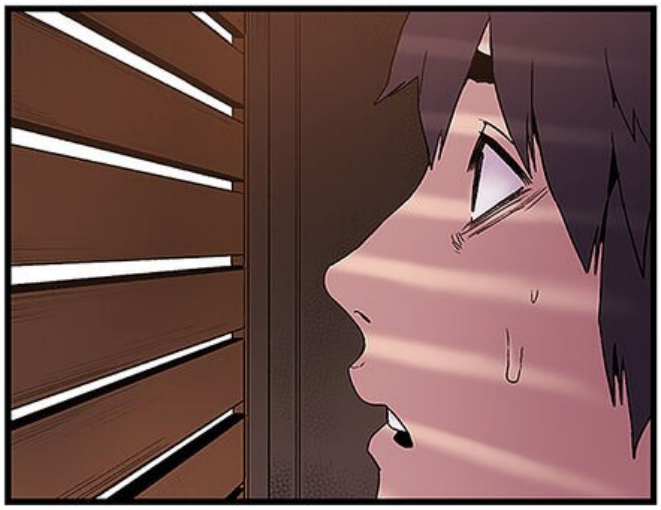
あっ…
そこは…

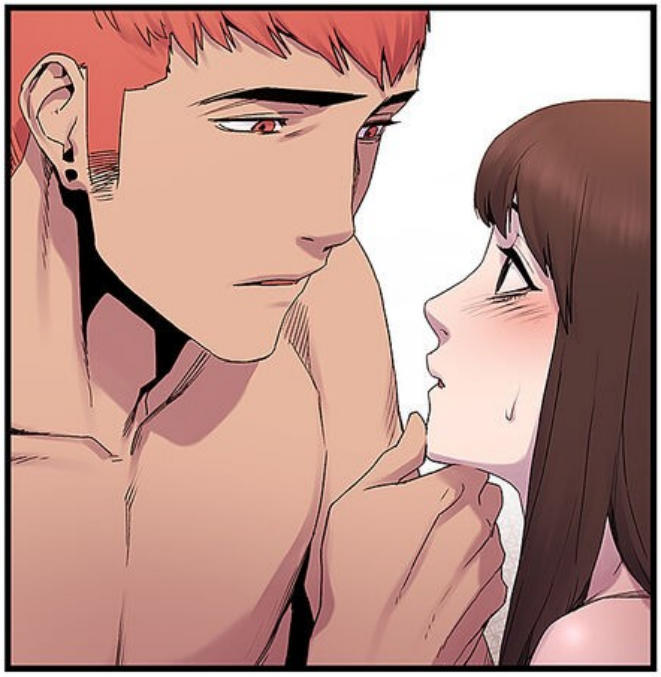
まっ…
待って
…！
チュッ

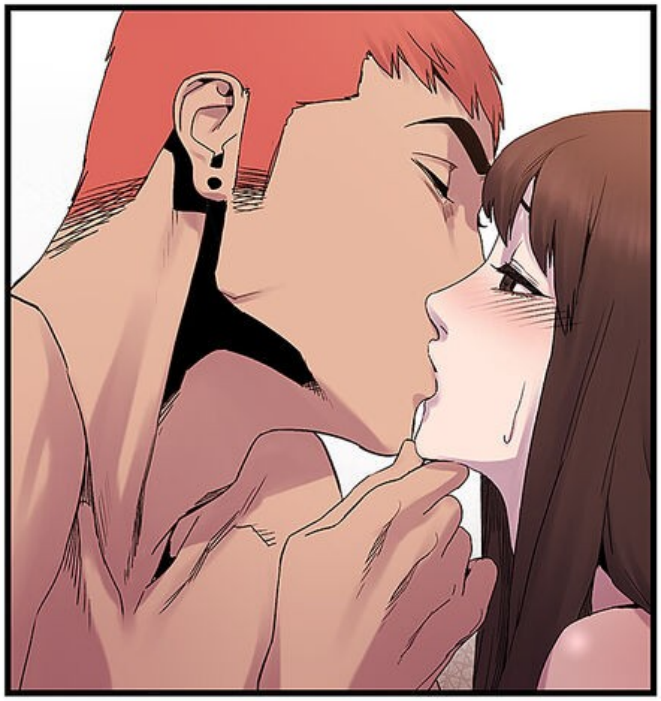

待ってってば!!
ぎゅ
ぎゅ
ぎゅ…
？

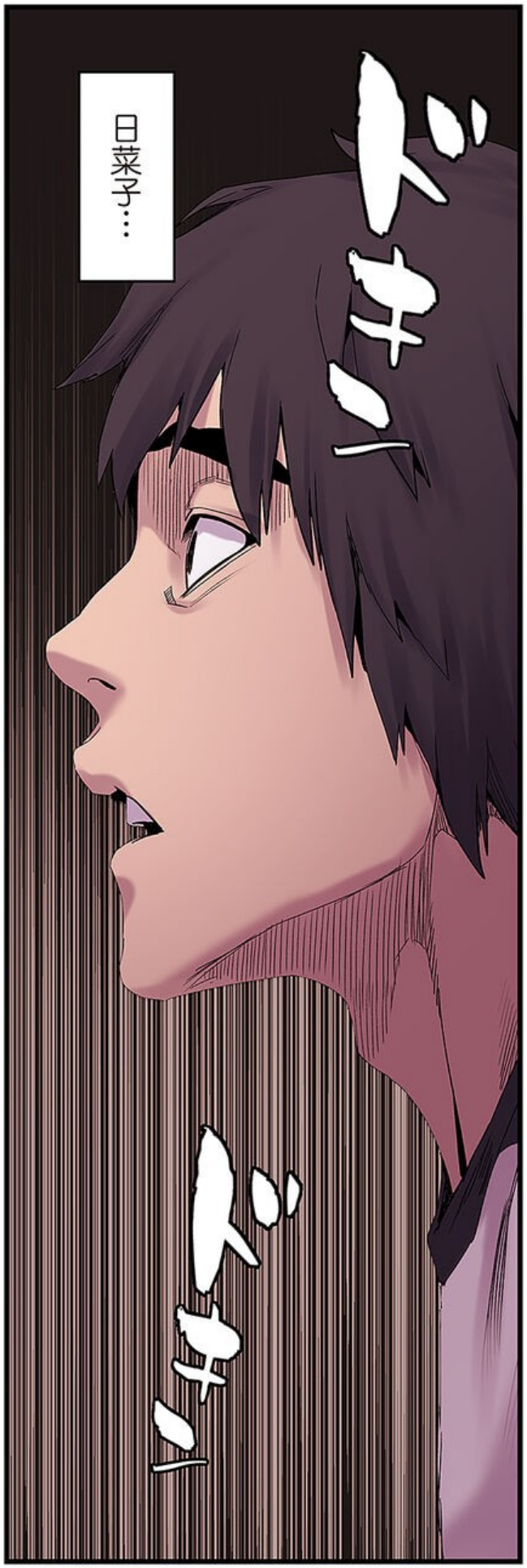
……

なんで隠すんだよキレイなのに



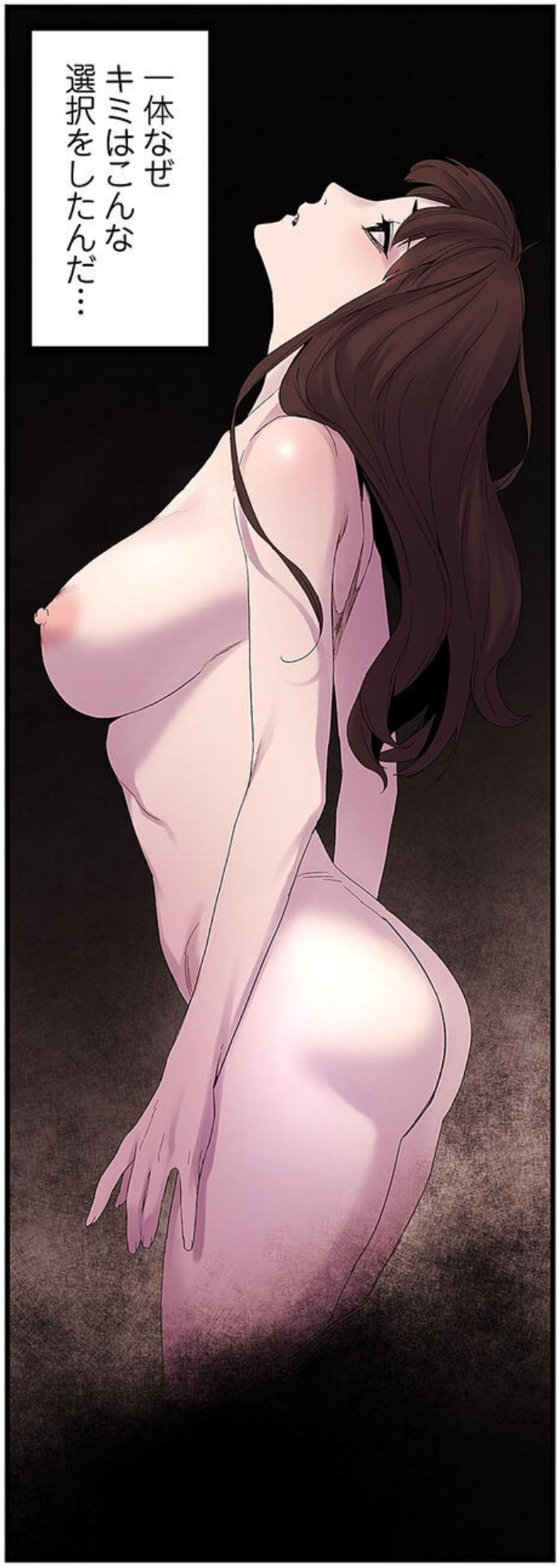





日菜子…
ドキン
ドキン

日菜子…

ズキン!
ズキン!


一体なぜ
キミはこんな
選択をしたんだ…

日菜子が
哲矢に
話しかけた
その瞬間

一番
驚いたのは
日菜子ー
彼女自身
だったのかも
しれない

私

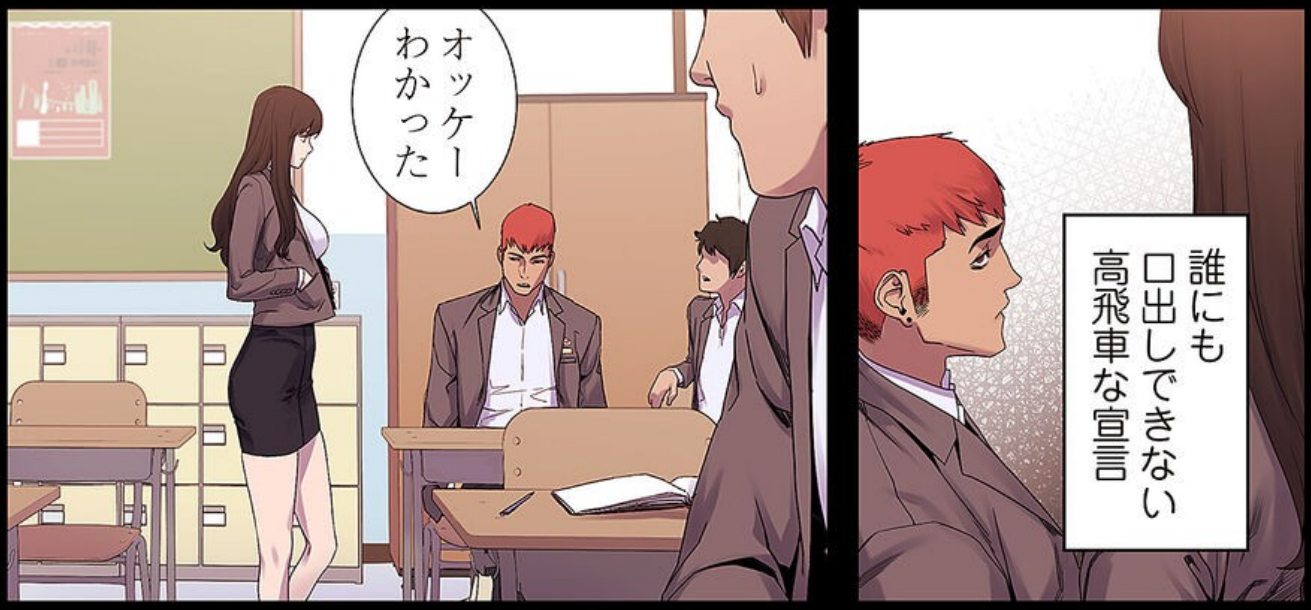
今日から
あなたと
付き合うことに
したから

あなたが遊びで付き合ってる子たちとはもう会わないでほしい

それから私に敬意をもって接してほしい

この二つを守れるならあなたと付き合うわ

それは告白ではなく宣言だった


誰にも口出しできない高飛車な宣言
オッケーわかった

僕の知る限りあの二人が言葉を交わしたのはその時が初めてだった
それまで二人は
互いの存在を無視し完全に別の世界で暮らしていた

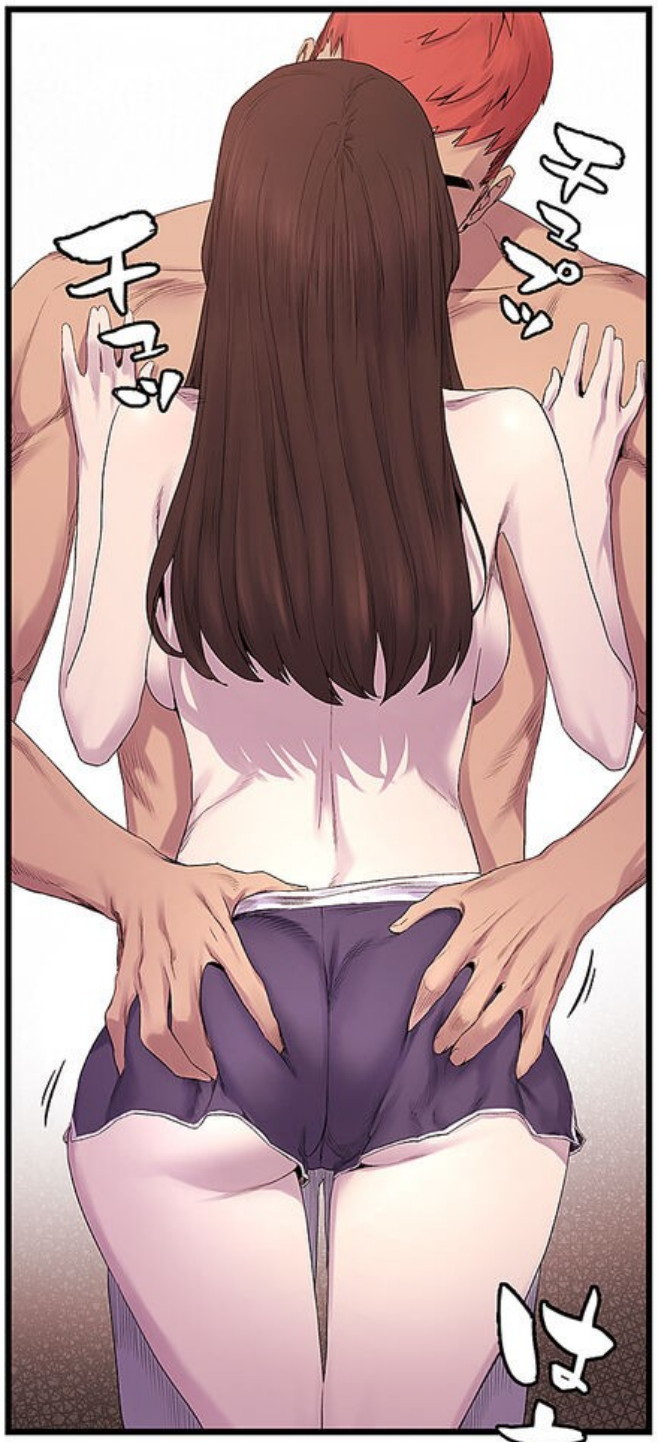
哲矢は暗く邪悪な暴君であり

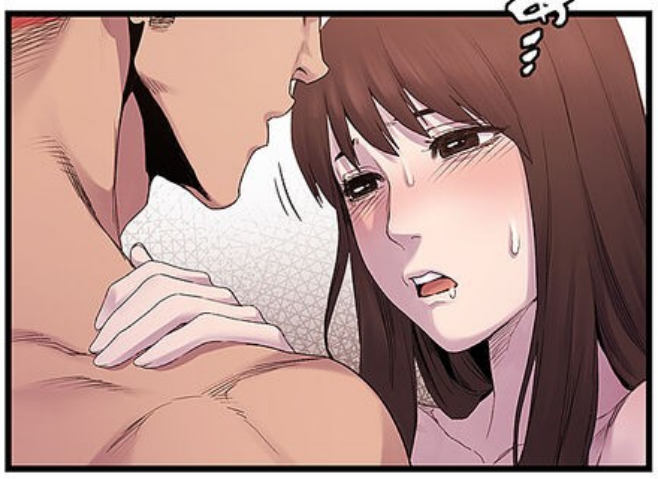
日菜子は明るい世界で皆が注目する女王だった

その二人が関係を築くことになろうとは

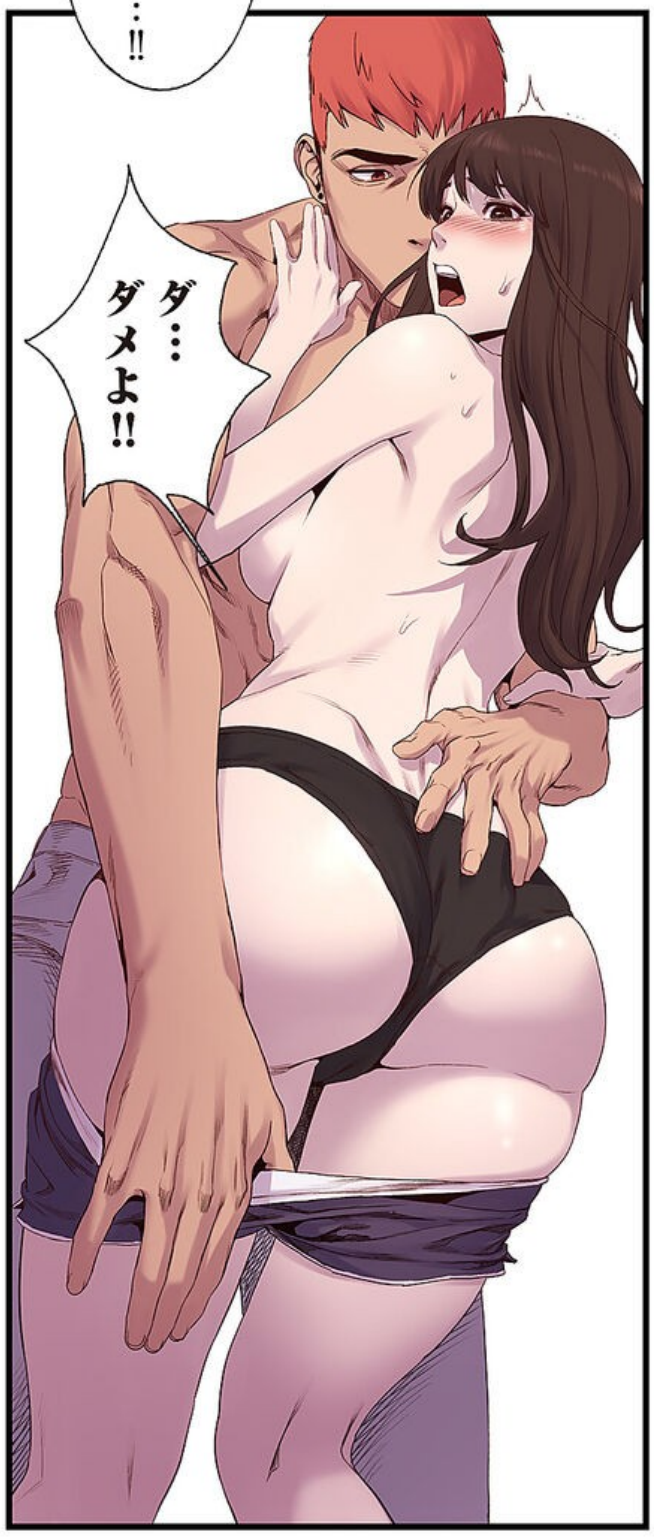
彼らを含め誰も想像していなかったに違いない

一体どうして日菜子…


チュプッ
チュプッ
はぁ…



!!


て…哲矢ちょっと…!!
ダ…ダメよ!!

ググッ

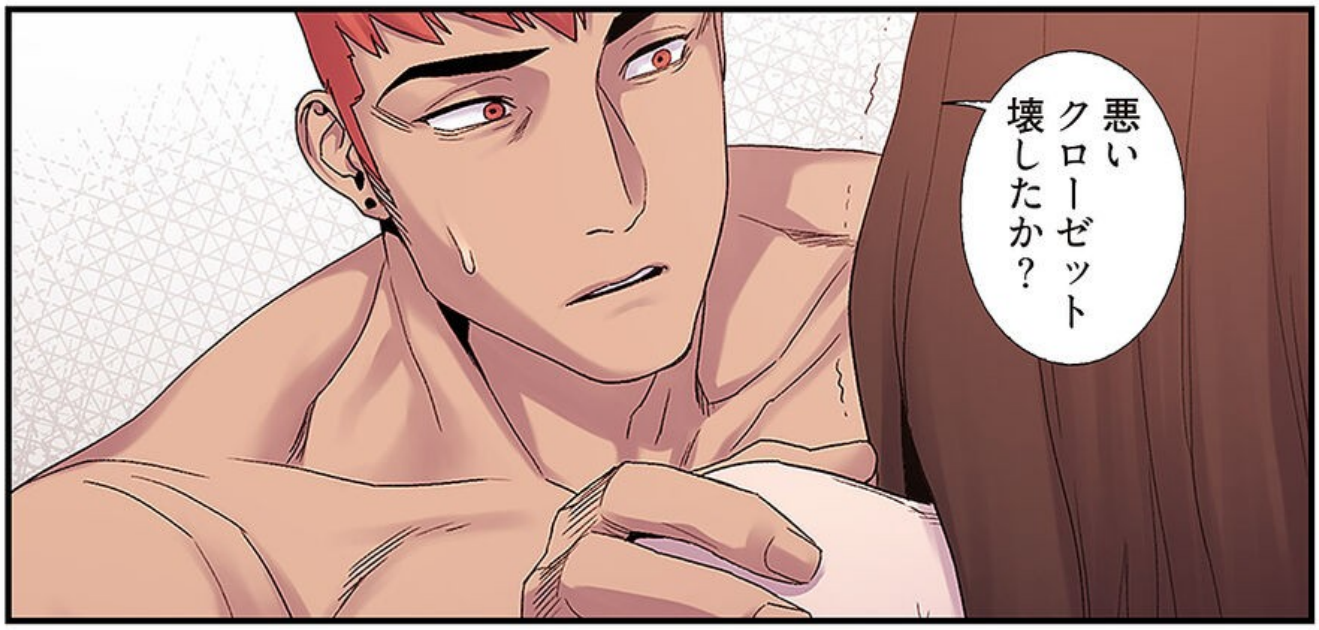
あ…
あっ…
ダメぇ…
グチュッ
グチュッ

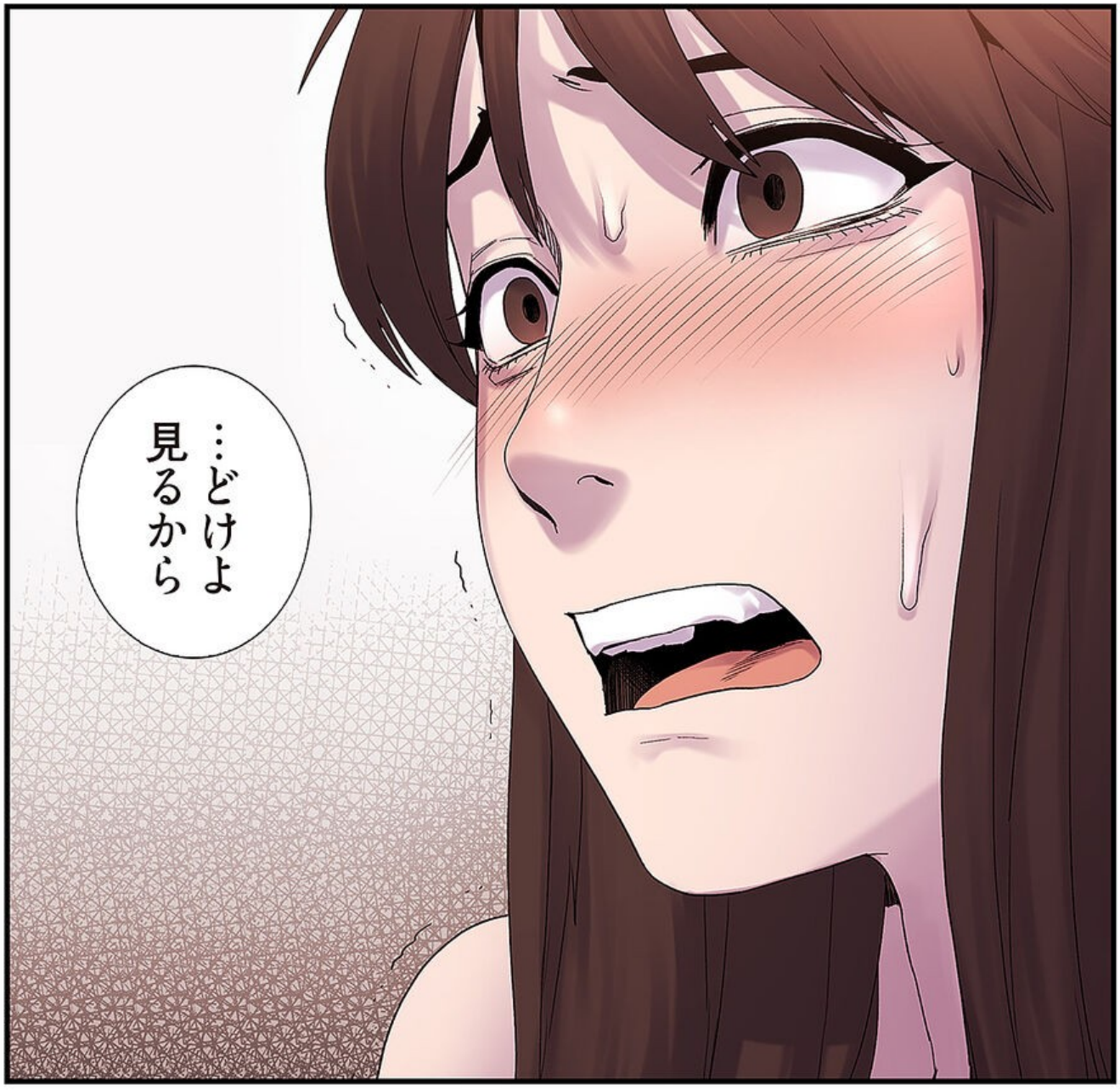
はあっ…
やめて…
なんでだ？
お前ここ
触られるの
好きだろ？
ピクッ
何よぉ…
私がいつ…
やめてっ
たら…

ああああっ!!
!
イヤだね
お前が
グショグショに
なるまで
やめない

なんで
さっきから
避けるんだよ？
ちが…
哲矢
ちょっと
待っ…
きゃっ!!
……

あ…
ビキッ
!?


悪い
クローゼット
壊したか？


…どけよ
見るから